ソラトロボ
Solatorobo
それからCODAへ
ソラトロ本
コンプリートコレクション
Solatorobon Complete Collection
CyberConnect2
ANTHOLOGY PROJECT

ソラトロボ
Solatorobo
それからCODAへ
ソラトロ本
コンプリートコレクション
Solatorobon Complete Collection
CyberConnect2
ANTHOLOGY
PROJECT

お待たせしました！
「ソラトロ本」の集大成！

2010年に発売されたニンテンドーDSソフト『Solatorobo それからCODAへ』は、今もなお多くの方に愛していていただき、関連商品も数多く展開して参りました。
この度、好評により完売していたアンソロジー冊子「ソラトロ本」全6冊を1つにまとめた本書「コンプリートコレクション」を、ご要望にお応えしてお届けします！

本書制作の発表にあたり様々な方から制作決定を喜ぶ嬉しいお言葉を頂戴いたしました。
『Solatorobo それからCODAへ』は本当に本当に皆さまから愛されていると改めて感じ、心より感謝申し上げます！

メルシー
Merci！
(ありがとう)

『Solatorobo それからCODAへ』発売からまもなく10年を迎えます。
これからも「リトルテイルブロンクス」の世界を共に奏でていきましょう！

それでは浮遊大陸の旅をお楽しみください！

CONTENTS

本誌は2013年8月～2015年12月に発売された「ソラトロ本」に収録された内容を一冊にまとめたものです。
内容は発売当時のまま掲載していますが、一部再編集しております。
予めご了承ください。

Illustration by 外竹

WORKFLOW

本誌の表紙用として描き下ろされた
外竹氏によるイラストのワークフローをご紹介！

NEW 本誌描き下ろし

TATOTAKE'S PROFILE

「ソラトロ本」をはじめとした出版物などでお世話になっています。気まぐれで同人活動をかじることも稀にあります。幼い頃からラクガキ帳と共に生活をして中学時代にケモノキャラにハマりました。それ以来ケモ絵が手から離れず、老若男女の全てのケモノを愛する無害な一般市民として現在に至ります。和洋中にファンタジー、そしてＳＦと、あらゆる世界にケモノを配置したい症候群を患っていますので、お仕事でケモノが描けると非常に潤います。

Twitter: @tatotake_mono / Pixiv: 1013663

COMMENT

これまでの「ソラトロ本」のイラストは難しいことを考えずにキャラを盛り込みたい一心で気ままに描いていましたが、今回は原点回帰してみたいという思いつきから、ゲームソフトのジャケットイラストをオマージュするつもりで進めました。久しぶりにがっつりとレッドたちを描くことができて楽しかったです。

STEP 1

ラフ 余白が大きくて少し戸惑いましたが、方向性は決めていたのでガンガン進めました。レッドのポーズは3パターンほど考えました。

STEP 2

線画 線画と同時にベタで下塗りも進めます。これでパーツの狂いも見えやすくなります。メカ絵が入る時には気を遣う部分です。

STEP 3

陰影付け ざっくりと影を付けるのと同時に、彩度明度の調整も行います。RGBで作業をしているのでCMYK変換を念頭に置いて進めます。

STEP 4

着色 ハイライトや照り返しを入れると絵の中の空気に馴染んできます。実はキャラたちが重なって見えない部分もちゃんと描いています。

FINISH

ついに完成!!

本誌描き下ろし NEW

ソラトロ本 メモリアルギャラリー

外竹氏が執筆してきた歴代の「ソラトロ本」表紙ラフイラストと共に、思い出を語っていただきました！

Q これまでの表紙イラスト全体を振り返って印象に残っていることや思い出はありますか？

外竹　まず思うことは、表紙に使っていただいたことへの感謝です。表紙イラストの発注が来ると生活に潤いが出ましたから。全体的に、物語の重さや火花散る緊迫感よりも、レッドの勢いやゲームの楽しい雰囲気を重視して描いていました。レイアウトを考ている時はいつもメルヴェーユさんを配置したい欲求が高ぶっていましたが、とにかく常に頭の中にあったのは「ゲームソフトのジャケットイラスト最高！」ということでした。

2013/08/10発売

外竹　「ソラトロボ ファンブック※」では暴走気味の原稿を描いていたので、「ソラトロ本」では正統派で格好良い絵を描きたいと思っていました。表紙に使いたいと連絡を頂いたときの驚きは今でも忘れていません。

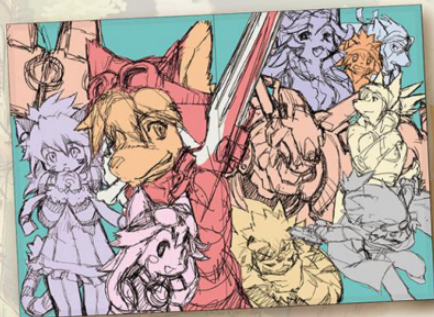
完成イラスト▶P.7

※2011年～2012年に全7巻に渡って発行された『Solatorobo それからCODAへ』のファンブックシリーズ（販売終了）

ソラトロ本2
Solatorobon2

2013/12/29発売

外竹　「ソラトロ本1」の表紙は赤だったので、「ソラトロ本2」は青で。キャラを大きく描いて魅力を見せたいと思うと画面に人数が入らず、どのキャラを入れてどのキャラを切るかで思いっきり悩みました。魅力的な登場キャラが多いですから。

完成イラスト▶P.8-9

2014/08/15発売

外竹　赤青と来たので、「ソラトロ本3」は緑をさし色に進めました。余白を考えずにギュウギュウに描いてますね。とにかくキャラを大きく描きたい熱が高かったので、毎度の事ですがダハーカが窮屈そうです。でも楽しく描けました。

完成イラスト▶P.10-11

2014/12/28発売

外竹　「ソラトロ本4」ではキャラの全身を入れてあげたくて登場人数を絞りました。しかしもっと違う描き方があったかな？と後悔する絵ですね。余白が寂しいのでデフォルメキャラなどを配置したくなります。

完成イラスト▶P.12-13

2015/08/14 発売　2015/12/29 発売

外竹　最初から左右分割で「ソラトロ本 5th Anniversary SUMMER」と「ソラトロ本 5th Anniversary WINTER」の表紙にするという発注でした。お祝い感を出したくて最大級にギュウギュウ詰めです。個人的に、このイラストの彼らの顔が一番好きかもしれません。大事な要素のロボがもうオモチャですねw

完成イラスト▶P.16-17

Illustration by 外竹

Illustration by 外竹
ソラトロ本
COMPLETE COLLECTION
008

Illustration by 外竹
ソラトロ本
COMPLETE COLLECTION
010

Illustration by 外竹

Illustration by 外竹

Illustration by 外竹
ソラトロ本
COMPLETE COLLECTION
016

Illustration by WAKA

Kugloff

WORKFLOW

本誌の為に描き下ろされたWAKAによるイラストのワークフローをご紹介！

NEW 本誌描き下ろし

WAKA'S PROFILE

『Solatorobo それからCODAへ』のディレクター・デザイン原案を担当。

COMMENT

ある夏の夜、マウで夏祭り的な事を催そうとみんな集まった、という設定です。クグロフさんの屋台には空魚料理が。どんな味がするんでしょう？あとエルの持ってる金魚っぽいやつ。あれ相当でかくなるヤツですよ。黒猫団の子猫たちも相変わらず悪さをしているようで……。いろいろ楽しそうじゃないですか？

STEP 1

ラフ ネタに困ったので「ソラトロ本」編集部に泣きついたら、「発売は夏ですし、祭りなんかどうですか？」と助け船を貰う。その後はすらすらとラフが進む！

STEP 2

線画 線画を描き進めながらキャラを増やしたりしてもうちょっとにぎやかになるように調整。線画の作業はメンドいけど想像を膨らませながらだと楽しい。

STEP 3

着色 キャラクターがいっぱいでごちゃごちゃしているので、分かりやすくするためにも、まずは色付け。服は元のコスチュームのイメージで配色。

▲イベント用　購入特典用イラスト

▲イベント用　告知イラスト

▲イベント用　告知イラスト

BlueBlueSky!
Illustration by WAKA
ある夏の日の一コマ
WAKA

Illustration by WAKA

ソラトロボ
Solatorobo
それからCODAへ
Tant que ça se finit bien, c'est ce qui compte ! Pas vrai ?
WACA

DAHAK-CSS
COMMON SYNCHRONIZATION SYSTEM
Illustration by WAKA
ソラトロ本
COMPLETE COLLECTION 026

WORKFLOW

WAKA'S ILLUSTRATION WORKFLOW

開発当時、本作のキャラクター原案およびディレクターを務めた WAKA による本誌のための描き下ろしイラストのワークフローをご紹介！そのレイアウト、ラフから完成までを見てみよう！

今回はレッドたちの5年後の姿をイメージして描きました。
メルヴェーユが脳波でコントロールできるタイプのロボをテストしているシーンです。このロボは何なのか？どうして作られたのか？描き進めることにいろいろな設定が頭に浮かんできて勝手にドラマが生まれてしまいます。あれから5年、レッドたちは元気に冒険しています。皆さんはどうしていますか？

STEP 1

ラフ制作

鉛筆で大雑把なイメージを線画に起こします。
PC に取り込んだ後切り貼り、拡大縮小などしてレイアウト調整を行います。

STEP 2

下塗り

ざっくりと配色をし、影の感じや立体感、レイアウトの確認をします。キャラクターの衣装の色設定もここで調整。

STEP 3

描き込み

今回は線画を作成せずに、②からいきなり描き込みを行って行きます。気の向いたところから部分的に描き込みを進めていきます。

STEP 4

描き込み終了

更にちょこちょこ描いたり消したりしながらディティールを詰め、全体を仕上げます。デザインしながら描き込む工程はとても好きです。

STEP 5

調整

最後に色調整やフィルタをかけたりしてちょっとセピアな感じの渋めなイメージに調整。同時にちょこちょこ細部をいじって完成！

FINISH

ついに完成!!

Still not Spring?
Illustration by WAKA
ソラトロ本
COMPLETE COLLECTION 028

WORKFLOW

WAKA'S ILLUSTRATION WORKFLOW

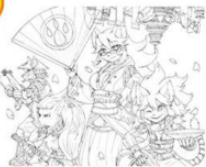
開発当時、本作のキャラクター原案およびディレクターを務めたWAKAによる本誌のための描き下ろしイラストのワークフローをご紹介！そのレイアウト、ラフから完成までを見てみよう！

クーパース3人組のその後、という感じの設定でグレンとカルアはハンターとして成長したイメージ、オペラは経営者としてしっかりやってるイメージで描きました。そしてシーンはある春の日の一コマという感じですね。寒く辛い冬も、必ず終わりがきて、また暖かい春がやってくる。がんばりましょ！

STEP 1

ラフ制作

まずざっくりとキャラのイメージを決めます。ラフは鉛筆で描いてそれをスキャンした後、位置、大きさを調整してレイアウトを決定。

STEP 2

線画

ラフを下敷きに線画を描いていきますが、デザインも同時に考えながら描き進めていきます。インスピレーションが導くまま一発描き。

STEP 3

陰影付け

グレースケールで陰影を付け、キャラに立体感を与えていきます。いわゆるグリザイユ画法ってやつでしょうか。

STEP 4

着色

基本的にオリジナルコスチュームの配色をベースに色を決めながらキャラを着色していきます。そしてここで背景も作画。

FINISH

ついに完成!!

調整

ハイライトでキャラの立体感を強調します。また、キャラを浮き立たせるために背景をモノトーンに。
あとはエフェクトをかけて調整。

ILLUSTRATIONS

Illustration by 電蝶

Illustration by 電蝶

Illustration by デェタ

Illustration by トカク

Illustration by トカク

Illustration by トカク
ソラトロ本
COMPLETE COLLECTION 038

Illustration by トカク

Illustration by トカク

Illustration by トカク

Illustration by 新涼れい

Illustration by 新涼れい

Illustration by 新涼れい

Illustration by 新涼れい

Illustration by BOB

Illustration by BOB

Illustration by BOB

Illustration by BOB

Illustration by DANGAN

えるめりぜ

Illustration by んめ
ソラトロ本
COMPLETE COLLECTION
054

Illustration by んめ

Illustration by しあ

Illustration by 智

Illustration by koto

ショコラちゃん
LOVE
Illustration by koto

Illustration by koto

Illustration by koto

Illustration by ヤドリ

to be continued ...
Illustration by 黒井もやもや

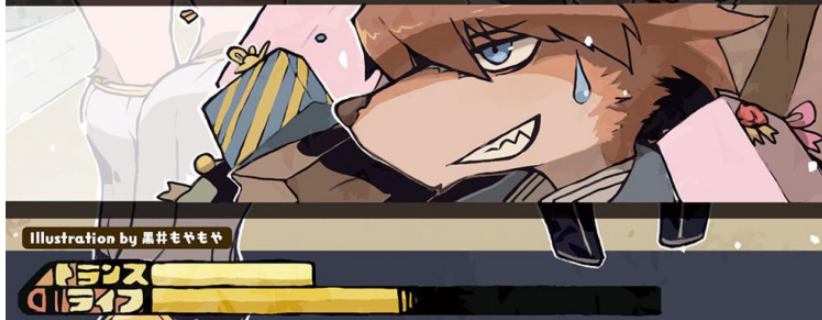



Illustration by 黒井もやもや
トランス
ライフ

!
Illustration by 黒井もやもや

Illustration by 黒井もやもや

Illustration by 黒井もやもや

Illustration by 明香

Illustration by 雨山電信
ソラトロ本
COMPLETE COLLECTION
070

Illustration by のたま
ソラトロ本
COMPLETE COLLECTION
072

Illustration by のたま

The Vacation
Illustration by MASH

Illustration by MASH

Illustration by Nokko

Illustration by 畑

シブめのカラーリング!
ダハーカMk2のVer.up!
Dahak Mk2 Type SX
ダハーカ マークツー タイプエスエックス
まさに最強!! ぜんぶのせ!
全体的にイタそう
Dahak Mk2 Type Ω
ダハーカ マークツー タイプオメガ
町中移動に超べんり!
Mk2のタイプチェンジ!!
スピード重視ダッシュダッシュ!
Dahak Mk2 Type R
ダハーカマークツータイプアール
カラーリングがすごいハデッ!
ダハーカ マークツー タイプアールエックス
Dahak Mk2 Type RX
シートはけっこうセマイ.
でっかい手がチャームポイント!
カワイイまんまるボディー
ふむふむ
ダハーカ
言わずと知れたレッドの愛機!
でっかい両手でぶんなげる!
正式名称は「DAHAK-AZ103」
あつまれ!
ダハーカ大図鑑
DAHAK
The Visual Dictionary
Illustrated by Makoto Miyoshi

DAHAK The Visual Dictionary
Salut!
ウデは けっこうスッキリ!
手はさらに デカく、ゴツく!
壊れたダハーカを メルヴェーユが大改修! 赤から白へイメチェン完了!
Dahak Mk2 Type S
ダハーカ マークツー タイプエス
ウデがびよーんとのびる! キャッチのカンジがGOOD!
パワー重視のたよれるヤツ! ガードして回復もGOOD!
ダハーカ マークツー タイプシー
Dahak Mk2 Type C
ダハーカ マークツー タイプジー
Dahak Mk2 Type G
Mk2の タイプ チェンジ!!
赤から黄色へチェンジ!
カラーだけじゃない パワーもUP!
ダハーカ マークツー タイプシーエックス
Dahak Mk2 Type CX
ダハーカ マークツー タイプジーエックス
Dahak Mk2 Type GX

Elh Melizée
Red Savarin
Solatorobo
Illustration by ミヨシ
LITTLE TAIL BRONX

4
1
6
2
5
7
3
DAHAK Mk2
MAIN GAUCHE
SEVEN
7
CHILDREN!
Illustration by ミヨシ
BLANCK
NERO
ROSÉ
VERMILION
ROUGE
CARMINE
RED SAVARIN

MERVEILLE
BÉLUGA
FLO
Salut!
RED
DAHAK
Illustration by ミヨシ
ソラトロ本 COMPLETE COLLECTION 082

BRUNO
OPÉRA
GREN
CALUA
ちっちゃい
ソラトロボ
solatorobo
それからのCODAへ
CHOCOLAT
ELH
Kikou!!

Illustration by ミヨシ

男のロマン
胸キャノン!
ドンッ!
両手のリボルバーで
チマチマかと思いきや
胸キャノン（バスターキャノン）でハデに決める!
SALAMANDER//009
サラマンデル
合体!?
サラマンデルはここ。
サラマンデルを
そのまま収納
できる高速艇
SMERG スメーグ
このローラーで
高速移動できる。
位置固定のアンカーも。
MEPHISTO TA
メフィスト
クーバース・グレン
のロボ。
ファウストの
カスタマイズ
カラーはブルー
カタナとクナイ!
まさに
侍と忍者のコラボスタイル!
機体カラーはパープル
TIAMAT-FL
ティアマト
オペラのロボ。
かなり大型で
遠距離戦が
得意だ!
機雷で攻める!
胸部からビーム!
ビームはこの世界では
ロストテクノロジー。
実は防御力低い。
イカス名ワキ役ロボ!
それが汎用ロボ!
機体カラーは、グリーン、ブルー、レッド、イエロー
標識が
チャームポイント。
あふれる
量産感!
ガルド用
の
アタッチメント
ツメ!
チェーンソー!
GALD ガルド
民間で広く使われているロボ。
元々は作業用で
戦闘用ではないが
「クロー」や「ブレード」などの
アタッチメントのせいか
やたら強そう。
クーバースの
愛すべき
ザコロボ!
たち!
鉄球だね。
レヴィア
LEVIA
ヤンカシュ
YANKAS
ドリルイイね!
くるくるー
ミズチ（コマロボ）
MIZUCHI
オロチ
OROCHI
（忍者ロボ）
ハッ!
ヴィヴル
VOIVRE
（砲台ロボ）
まつり本っぽい
ブーン
小型偵察機
D-FLY
子機
（電気ロボ）
バリバリ!
LIND
ボッ!
うおー!
（火炎放射ロボ）
LIND-F

Illustration by ミヨシ

Solatorobo 5th Anniversary
Illustration by Makoto Miyoshi

Illustration by ミヨシ

Illustration by ヒガシ

Illustration by ヒガシ

Solatorobo
Winter

Illustration by ヒガシ

093 ソラトロ本 COMPLETE COLLECTION
Illustration by ヒガシ

Illustration by ヒガシ

ソラトロボ
Solatorobo
それからCODAへ
5th Anniversary
2015
SUMMER

Solatorobo
5th Anniversary

Illustration by ヒガシ

MONTHLY FASHION MAGAZINE
SOLAMODE
BONUS: BONE PATTERN HANDKERCHIEF
WINTER 2013
RED HUNTER
TIPS
FLY IN STYLE!
WHITE
HOLIDAY!
IS YOUR WARDROBE READY?
Illustration by ヒダヤト・リアンティ
WINTER
STYLE
3 FAMOUS FIGURE TO WATCH
1 986730 88741

2014 winter まめ助
Illustration by まめ助

Illustration by まめ助

Solatorobo
2013 Summer
MameSuke

Thank You!!!
MERVEILLE
OPÉRA
CALUA
ELH
GREN.
RED
CHOCOLAT
Fromage.
BÉLUGA.
Solatorobo
5th Anniversary
2016 winter mamesuke
Illustration by まめ助

WORKFLOW

MAMESUKE'S ILLUSTRATION WORKFLOW

まめ助による本誌のための描き下ろしイラストのワークフローをご紹介！

ありがとうの気持ちを込め、パーティ風のイラストに仕上げました。メインメンバーの中にフロマージュさんがいるのは、メイドさん風の服がお菓子にぴったり！という理由です（笑）

STEP 1

5周年記念イラストということでパーティ風にしよう！ケーキの浮島！というイメージでラフを描きました。

STEP 2

ラフを元に線画をおこします。ちなみに、フロマージュはどうしてもしっぽを描きたかったのでお尻を向けてます。
次に、線に強弱をつけていきます。
この線を太く調整する作業が一番好きな工程だったりします。

STEP 3

着色

ひたすらキャラに色をのせます。べた塗ですが、白いハイライトを所々に入れ、立体感と情報量を増やしています。

STEP 4

背景

ショートケーキとマカロンの浮島／主役はキャラなので前に出過ぎないように線画は外しました。

STEP 5

紙吹雪を追加しパーティ感をアップ／色味をパステルカラー寄りに調整をしています。柔らかいお菓子の雰囲気が出てたらいいな。

FINISH

ついに完成!!

Illustration by 星樹

Illustration by 吉岡克朗

Illustration by cham

Illustration by 熊本秀基

Illustration by 熊本秀基

Illustration by 熊本秀基

Illustration by 熊本秀基

Illustration by 熊本秀基

Illustration by 大財強平

Illustration by あんさいくん

Illustration by マシュー

Illustration by マシュー

Illustration by 後藤千尋

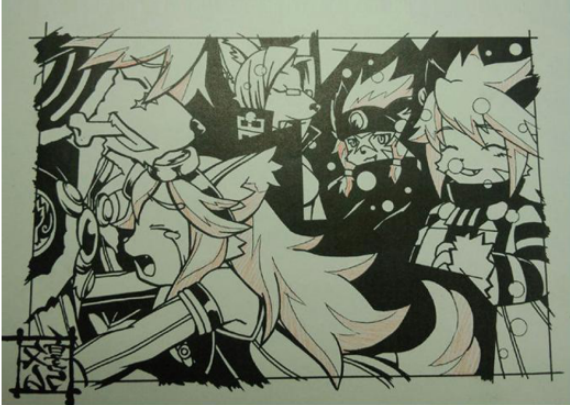
Illustration by ミケ

Made by Atsuhiro Sato / HP: http://kirieatsu.blog.fc2.com

Making a Paper Cutout

オリジナルの切り絵を制作している佐藤敦弘氏より、「Solatorobo それからCODAへ」の第1部エンディングイラストの切り絵が届きました。切り絵が完成するまでのメイキングをご紹介します！

STEP 01
まずは素材となるイラストを決めます。
今回は第1部のエンディングイラストをベースにしました。

STEP 02
元の絵を再構築しました。
同じように見えて、手前と奥のキャラクターでサイズを変えています。
「メルヴェーユ」の胸も隠れていたので描き足していました。

STEP 03

切り絵のこの部分と切り絵用の下書きを比較。「エル」の鼻と口がそのままだと切れてしまっているので、シャボン玉で絵がつながるように、修正しています。

STEP 05

今回の切り絵では、「影の表現」にチャレンジしています。
普通は「黒と白」といったパキッとした絵になりがちです。
そこで、ドットを使って「スクリーントーンの様な影」の表現を再現してみました。

STEP 04

切り絵のこの部分と切り絵用の下書きを比較。「ショコラ」の目は涙でつなげました。

STEP 07

⑤で赤く色付けした部分を大小の丸で切ります。
小さい丸は直径１mm以下です。

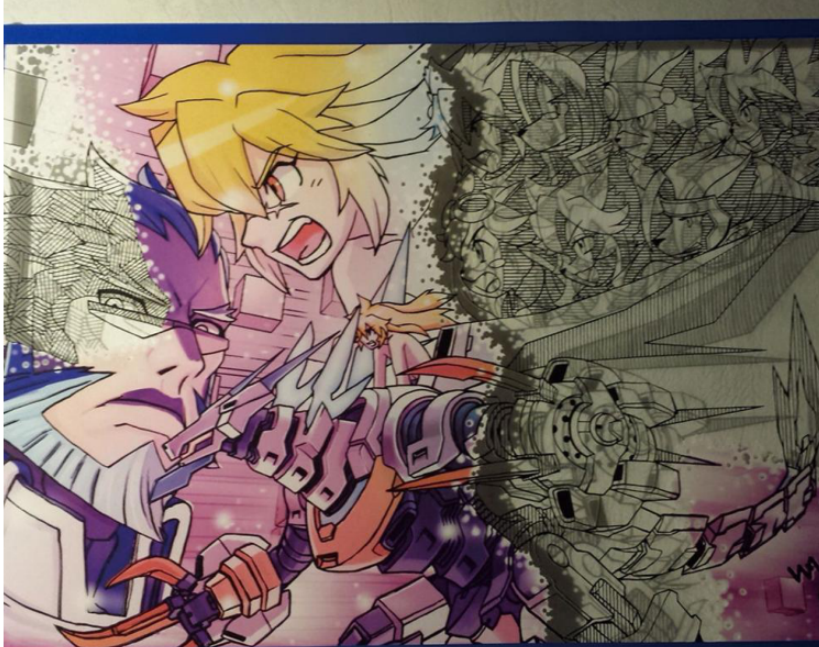
STEP 06

切り終わりです。

STEP 08

サイズ比較。
今回の作品は手のひらサイズです。

FINISH!

完成です。
背景に薄い青を使い、爽やかさを演出しました。

Making a Paper Cutout

オリジナルの切り絵を制作している切り絵作家の佐藤敦弘氏より、「Solatorobo それからCODAへ」完全設定資料集Vol.2-Daybreak-に掲載された特典イラスト（WAKA）の切り絵が届きました。切り絵が完成するまでのメイキングをご紹介します！

STEP 01 元になるイラストを、切り絵作品としてどう演出したら良いのか考えます。

STEP 02 主線だけをトレースして切り絵用に書き直します。

STEP 05 こんなに細かく切り抜いています。

STEP 03 そして、元のイラストのように着色していきます。
切る部分は、白のままにしておきます。

STEP 04 紙のサイズはA4と普段よりも大きめですが、
かけ編みを切るのは大変でした。

FINISH!

これで完成です！
この作品で目指したのは、カラーイラストと切り絵との「共存」です。

カラー部分と切り絵部分のコントラストが面白い作品に仕上がったと
思います。

Making a Paper Cutout

オリジナルの切り絵を制作している切り絵作家の佐藤敦弘氏より、イラストレーターのしょこさんとコラボした切り絵が届きました。切り絵が完成するまでのメイキングをご紹介します。

Made by Atsuhiro Sato
HP: http://kirieatsu.blog.fc2.com

STEP 02 色を入れてイラストの完成。独特の世界観が大好きです♪

STEP 01 今回はイラストレーターのしょこさんとのコラボ作品です。まずは、しょこさんにラフを描いてもらいました。

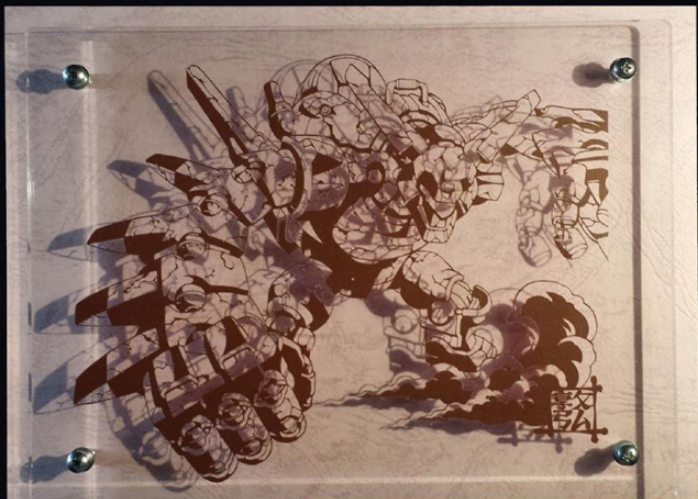
STEP 05 しょこさんのイラストと差別化するため、色やデザインをアレンジしました。

STEP 03 ただ切るだけでは面白くないので、切り絵を演出として使いました。どこを切るかアタリをつけ、緑で切る場所を書いています。

STEP 04 細かいところまで丁寧に切っていきます。米粒や5円玉と比べたらこのくらいの大きさ。

FINISH!

アクリル板で挟み、仕上げにネイルストーンで飾り付けて完成です。

STEP 06 裏はこんな感じになっています。

Made by Atsuhiro Sato / HP: http://kirieatsu.blog.fc2.com

Making a Paper Cutout

オリジナルの切り絵を制作している切り絵作家の佐藤敦弘氏より、レッドの愛機であるダハーカの切り絵が届きました。このコーナーでは切り絵が完成するまでのメイキングをご紹介します！

『「Solatorobo それからCODAへ」完全設定資料集 Vol.1 -BlueSky-』から、抜粋したイラストを元に主線だけ描き出し、
このままでは寂しいので、ダメージ仕上げにしました。名前を繋げるために煙も描きました。
ダメージを入れすぎて、太古の発掘マシーン感が出てしまったかもですね(笑)。それとも整備し忘れたかな？

STEP 02

絵を反転し折り紙の裏に印刷、これで切ります。
赤色で印刷する理由は、切り出す時カッターや手の影と同化するのを避けるためです。赤いと影との違いがわかりやすので。

STEP 03

サイズ比較です。

STEP 04

少しづつ端から丁寧に切っていきます。
今回も線が細いんです。切るときは慎重に。
細い線の場所は、ひっぱりながら切るとちぎれやすいので、
上から押すように切ります。そのためどうしても時間はかかります。

STEP 05

トレースをするとき、どこの線を残してどこを描かないか、光の方向を再構成して、ベタを追加したりして、立体感を出していきます。そして、それが切り絵になるように常に考えます。ただのトレースでも残す先によってセンスが問われるので慎重になります。

STEP 06

完成です。
メカをメインで描く人が少ないのでダハーカを選びました。まだたくさんあるので、メカシリーズをやりたいですね。

COMICS

レッドさん達、
年末の例のアレに行くの巻
作:DANGAN
レッドさん一行は年の瀬にメルヴェーユからの極秘依頼を受けてニポン国へとやってきたのだった…
わ~~~~すっごい人出!
メルヴェーユも人使い荒いよな~こんなところから本を探して買ってこいだなんて引き受けるんじゃなかったぜ…
ごみ
ごみ
ごみ
しょうがないよアスモデウスの整備をむこう半年やってくれるっていうんだから…
ん、そういえばエルのやつはどこ行ったんだ?
あ~…それがね~
あ、わたし個人的に用がありますので別行動します
キリッ
けっして後をつけたりしないように!!

キ
あんにゃろめ～
あら、奇遇ねェ あんたたち
お前らは…
バーーーン
クーバース!!
なんで お前らが ここに!?
うふふ… これからの クーバースは 国際的多角経営を こころざすからね…
サークル 入場口
ドーン☆
手始めにこの人がい～っぱい集まる催しで商売の取っ掛かりを掴んじゃうわよォ!!
どこ見てるの?
なんかー CC2?って会社の ケモノ本?ってのを 売る おてつだい するのよォ
アッハイ
※ステマではありません ごあんしんください
ちょうど いいわ～ あんたたちも 列整理とか 手伝って いきなさいよ
えっ

なんで俺たちが手伝わなきゃならないんだよ!?
あらァん つれないこと言うじゃなァい?
グレン! ちょっと『手荒にお願い』しちゃってくれるゥ?
ユラリ…
レッドォォォォォォ
わ～～ なんだよなんだよ
レッドたのむ… 搬入やら設営やらで三日寝てないんだ…
しっかり寝た
そんな事言われても俺たちにも依頼ってものがな…
かわりと言ってはなんだが…

秘蔵の××な本を進呈させていただこうかと…
ゲットしておいたのだ
イヤンバカン 12
やろう！友よ!!
おっ、お前もイケるクチだったか～～
いやいやまあそこはお互いさまってヤツでな～～
ぞ～～～
ゴゴゴゴ
と、いうわけでだ…
ギク
売り子の確保じゃぁあああ!!
い～～～～～～～～～～～やぁ～～～～～～～～～～～ッ
新刊 おひとりさま一部限定でーす。
おわり。

──その年は…記録的な酷暑であった!!
あまりの暑さに住民はみな冷房をフル回転させ燃料用クリステルが一時的に不足する事態となってしまった
それを受けシェパルド政府はクリステルの節約を呼びかけた
住人たちは休暇をとって避暑に向かったり冷房なしで過ごす工夫をするのだった
そしてレッド達はというと…
きっとなつのせいね
作:DANGAN
第一回 チキチキ!! 男だらけのガマン大会!!
ドドン
男らしくしのごうではないか!!
ドォーン
ええ~!? なんでだよ…
そこは普通女子と一緒に水着で泳ぎに行くとかだろ~…
それはだめだ
その…女子の水着ネタはCARMINEとソラトロ本1でやっちゃったから…
今回はひねっていかないと…
メタネタはやめろ!!

まあちょっと落ち着いて考えてみろよ…
ガマン大会…ってことは着込むだけじゃなく熱いもの食べたり暖房つけたりもするだろ？

まあ…するな
そーいうのにもクリステルは使うわけだろ？

そうだな…
ゴゴゴゴゴゴ
クリステルは節約しなくちゃいけないんだからこれじゃあ意味…無いよな？
うーーーん…

…やめとくか！
オッケイ♥

ザッ…
いやーわかってくれると思ってたぜ
いやいやスマンかった

たのもおおおおお!!

!?
ぜり
ぜり

…！
なにか…
ドドドド
…
セイヤッ
外から…
ハッ
ドドド
えおい
聞こえて…
Wasshoooooi
Fooooo!!!
ドド
おっしゃオラーッッ
ガマン大会と聞いて我慢できずに駆けつけたぞぉーッ!!
パリハー
ドォオー…
俺たちの筋肉の真髄を明日の朝まで…
たっぷり魅せてやるからな♥
いい～～～
やあ～～～
オレのきんにくを見てくれェェ
そうれっバルクアップバルクアップ
ナイスポーズでェす
あぁ～…
トロピカルフラッペできましたよ～♥

はーい♥
んー…っ おいしー…っ
レッドさんたちも来ればよかったのに…
カチッ。

…では次のニュースです エアデールでクーバースが開催したガマン大会にて参加者が熱射病で病院に搬送されるという事故がありました
いずれも命に別条はないということですが政府はこれを受けて改めて熱射病に注意するように市民に呼びかけて…
ごく…
ぷはっ
夏ねぇ…
ふー…っ
END.

流れ星に願う事。
koto
わぁぁ！
今日は星がよく見えるね―♪
――えぇ…
そうですね！
空気が澄んでいるからでしょうか…

こんな日は～
流れ星がいっぱい
流れそう！
ねぇ
エルさん！
くるっ
あっ！
？
そうだー!!
折角だから…
何か一緒にお願い事
してみない？
えっ…？
お願い事って…
ふふっ♪
そうだね～
例えば――…

お兄ちゃんが…
今まで以上にがっぽり私達の生活費を稼いで来てくれますように～♪
……
……とか？
うわぁぁ…
――ショ…ショコラさん…
それはちょっと…
レッドさんが可哀想な気がするんですが…
お～
!?
いいいい～ッ!!
ハッ
!?
…そこ！
ザッ
聞こえてっぞ…!!
あっ…
あはっ…
レッドさん…
今の話…聞いてたのね…
お兄ちゃん…
アスモデウスのメンテ終わったぞ～
はぁぁ
――ったく…!
…ヒトを何だと思ってるんだ…

――…俺…
あはははは…
何が不満だ？ショコラ…
結構真面目に働いてると思うんだけどなぁ～…
――さぁ…
なぁ！
エルもそう思うだろ？
！
ふふっ…
それはどうでしょうか？
があぁんッ！？
え…
エルまでッ！？
ずぅ～ん…
ねぇねぇ！
お兄ちゃんはほっといても大丈夫だから～
エルさんは？
エルさんは結局何をお願いする？
……
――…私…は…
……

――私の願いは…
出来る事なら…
この…先も――
ずっと一緒に…
――…旅を…
エルさん…？
！
――いえ…
それはもう…
十分過ぎるほど…
叶っている願い…
ですよね…

──でも…
それでも…
レッドさんと…
ショコラさんと
一緒に…
…私も…
まだ見た事のない
この世界の色々な
場所を…
──…
三人で見て回れたら…
凄く…嬉しいと思います!
…そうか!
──だって…
お兄ちゃん!
──そして…
家族の様に…
ずっと一緒にいられたら
素敵…ですよね…
よしっ!
へへっ♪
エル!
そういう事なら…
星に祈らずとも
いくらでも俺が
連れて行ってやるよ!
──そうだな…まずは…
アスモデウスで夜の浮島
スターウォッチング★とか
どうだー?
わぁあっ♪
いいねそれ
賛成ー♪
おわり★

ぼくのわたしの
リトロボ
ちゃんちゃらマンガ
爆裂日常編
作・画：デェタ
第回
買い出し中
雪がこんなに降るなんて珍しいですね
はじめて見たかも
ん？ああそうだな
はーーっ
レッドさんはイヌヒトなのに雪があんまり好きじゃないんですか？
てっきりイヌヒトの人たちはみんな雪好きかと
ぶるるっ
へっ！
バカ何言ってやがる
ぐっ
イヌヒトだからって雪なんかで喜んでるようじゃ腕利きハンター失格ってなもんよ
はっ
ふーん……
だいたい一流のハンターってもんはよー
ぱたぱた
まあでも身体は正直みたいですけどね
ちなみにショコラさんは…
がたたっ
雪!?好き好き大好き!!
帰船後
おしまい

あ〜〜〜
SUN
SUN
う〜〜〜
ぼくのわたしの
ソラトロボ
ちゃんちゃらマンガ
あの夏の白い雲編
作・画：デェタ
だら
だら
だら
あぢい〜〜〜
どよ〜〜ん…
なんですか 二人そろって みっともない
ぐで〜〜…
んなこと 言っても この暑さ じゃよ〜…
扉を開けて 風を入れれば 少しは涼しく なりますよ
だらしのない
ズビー
自分だって めずらしく 薄着してる くせに…
自分があついんじゃないの?
がちゃっ
だいたい レッドさん は……
〜〜っ!!
ばばっ
がたっ
……夏よ… オレは 誤解 していた
きゃっ!?
ブーッ
ぐっ
オレ… お前のこと キライじゃ ないぜ
プル プル プル
○×❖▲□ ♨☆◇〠● ──っ!!
どがしゃーんっ
お兄 ちゃーん!?
おしまい

飛べ！オレ!!
ゆるゆるハンター日記
智 とも Tomo
あの島までひとっ飛びだ！
ひゃっほーーい
バシュ
…って…もう少しなのにブーストゲージが…！
くそ…！
ブースト
こうなりゃ自力で…！
ばっさ ばっさ
フンッ フンッ
わーー!! 手離しちまった!!
ぴゅー
お兄ちゃんって時々わかんない…

いたずらなパズル

エルの恩返し

おしまい

ゆるゆるハンター日記
winter
マフラーの行方
マフラー編んでるの?
お兄ちゃんに?
ドキ…
ち…違います!
これは…そのっ
あの…っ
にや にや
いつも寒そうでしたので!
けっしてレッドのために作ったわけでは!
くわえづらい…
骨が
スナオじゃないなぁ…
おしまい

やすらぎ効果～ただしレッドに限る～
ゆるゆるハンター日記
2014★SUMMER
いつもくわえてる骨を無くした！
おちつかねー!!
葉っぱでもくわえてみる？
細すぎてダメだ
う～…
じゃあ枝？
おい…
わっさ～
こういう時は逆転の発想ですよ
けらけら
レッドがダハーカにくわえられる
引っかけてるだけですが
意外とおちつく！
そうなの!?
おしまい

雪の日ハンター
雪だ～
わ～♥
雪か…苦手なんだよなー…
えー？なんで？
ふー
寒いから？
足元が滑るから？
あちこちに雪だるまが作られてダハーカが身動きできないんだ…！
みっちり…
ひーっ
くっ…
壊れたら子供たち泣くし！
おしまい
ゆるゆるハンター日記
2014 WINTER

雪の日の恐怖
ゆるゆるハンター日記
2016winter
智 とも Tomo
すごい雪ですぅ
さすがに今日はハンターさんも仕事を受けには
…え？
もそ
もそっ
もっもっ
きゃー！雪のおばけー!!
あんまり寒いもんで布団かぶって来ちまったぜ
ガチガチ
仕事あるか？
ほー！
レッドさん休んでくださぁい
おしまい

アイアムナンバーワン!
作.山崎けい
さむがりナンバーワン
クエスト終わった!
さむいさむいさむ
さむいさむいさむ
ただいま!!
ドドド
ふとんふとんふとん
何コレ
あったかい!
バサ
キャイン!?
ゴロゴロゴロ
エルか!!エルだな!?
自分の部屋で寝ろ〜
コラー!!さむいー!!
あけてー!!
ZZZ

Illustration by 新涼れい

メルヴェーユ
入るぜー
用事ってな
にー…
ドドドド
ガシャマシーン まめ助
なんだこれ!?
デカッ!
どーん
なにコレー?
来たわね
ちょうどよかった
何このでかいの!
それは「ガシャマシーン」
カーニープレイス地方の知人から
話を聞いて
興味深かったから
作って見たの
作ったの?!

へーおもしろそう
何の機械？
くじびきみたいなものよ。ためしにレバーを引いてみて
レバーでかっ！
こういうときは…
ザッ
ダハーカMk2！
！レッドさん！
やさしくゆっくりですよ？！
うおおりゃあぁ
メキメキ
バキッ
とれた
てへ
いわんこっちゃない〜

!レッドさん
うしろ!
ガガ
へ?
ドーン
コレはなにー?
それはね…
ぷっ
プス
プス
もそもそー
フワフワー
ぴょこん
にゃはっ!こっちにも
面白そうなのがあるにゃー♪
リイル~
そろそろ帰ろうよ~
キラー
おしまい

あたたかい服
ソラトロボ
4コマ
作まめ助
はっくしゅん
今日は一段と冷えますね…
ネコヒトは寒がりだなー
ブルッ…
ショコラさんはいつも薄着で元気ですね…
ぱた
ぱた
す…
あの服、実はヒーター付きのスーツで胸のメーターで温度管理をしてるんだぜ
スーツのおんどかんり
うそでしょ?!
おんど
しつど
あったか〜い
うそです

温度差
お兄ちゃん外みて！雪だよ雪！
うおー！ホントだスゲー！
積もったら雪合戦しよう！
わく
そりはどうだ？
わくわくわく
シロップ持ってかき氷を食うとかは？
しかたないわね場所のリサーチは任せて
もりあがってきたー!!
へ〜〜〜イイデスネ〜〜
ぬくぬくっ
外出る気ゼロ！
わるぎはない
寒がりのネコヒトでも遊べるゲーム考えたぜ
キリッ
えっ！
レッドさん…私に気を使ってくれて…
きゅん
その名も我慢大会！
は？
あっつ〜い部屋での暑さの我慢比べ！
あっつ
たんばおり
サウナ
あっつ〜いホットな勝負をしようぜっ
ビタ
ぎゅんっ
極端すぎます！
あっつ！
ゆたんぽ
おしまい

ソラトロボ
4コマ
クーバースの夏休み
2015 Summer まめ助
花火
花火？
ニポン国では夏は花火であそぶのが風習カモー
へぇ〜
花？
火？
火薬を筒につめて空にうちあげるのもあるカモー
どっかーんっ
砲？？？
戦でもはじめる気か!?
カモー？
おもしろいから だまっていよう…
花火を知らない
出番これだけ!?
主人公なのにっ

作ってみた
花火を作ってほしいって?
フフ…
いいわよ
数時間後…
ゴトッ
できたわ
!!?
ちょっとー何で兵器みたいなのを作ってんのよーっ
あなた達に言われたとおり作っただけよ?
ーっていない!!
カラッ
試用に行ったのかしら
はっ
うちあげ
よーし ためしうちかもー
花火の威力をみせてもらおう
かしてみなさいっ
あっ あぶないですよ…
ぱしっ
ぱーんっ
カモー
おおっ!!
おお
敵襲か!?
ガバーッ
ビクッ
おしまい

闇よりも黒く、マグマよりも熱く
DANGAN
DOGS
COFFEE
時は冬
ところは
スタードッグス…
どーーーん
カフェラテ1
キャラマキ2
オーダー
入りまーす
へーい
……って
おかしくね？
店員さんが
カゼひいたからって
オレらに店番の依頼
来るの変じゃね？
文句言わないで
キリキリ働く！
アスモデウスも
ダハーカも
オーバーホールに
出しちゃってる
るんだから
しょうがないでしょ！
そーでした…

こういう時こそ しっかり稼いで おかないと…
カラーン。。
あ、いらっしゃいませ〜❤
メルヴェーユさん！
本日のコーヒーを ホットの トールサイズで
ひそ
メルヴェーユも こんな店に 来るんだな…
ひそ
うん… って言うか 研究室の 外で会うの すっごい レアだよね…
ひそ
おまたせ しました〜
く。。。
実に安直な コーヒーね…
!?
豆はいいのに 挽き方も 淹れ方も なってない…
ブレンドも 適当すぎるわね 目分量では マニュアルの 意味がないわ
臨時の 店員とはいえ これではもう コーヒーに対する 侮辱といって いいわね…？
ぐさ
ぐさ
ぐさ

お…お客様…
失礼しました…ただいま代わりのコーヒーをお持ちいたしますので…少々お待ちください…
ゴゴ

…ってお兄ちゃんそんなおいしいコーヒー淹れられるの?

そんなわけないだろ?逆にめちゃくちゃマズいコーヒー飲ませてギャフンと言わせてやるんだよ!!
んもう…後でどうなってもしらないからね~?
COFFEE
ええいうるさい!俺はこの一瞬のきらめきに…全力を尽くす!!
105 Pt
クル
クル
一見かっこいいけどかなりダメなせりふだなあ…
ガ
できたぞ…
必殺のコーヒーが!!
お兄ちゃんそれ主人公がしちゃいけない表情!!
ギギギ
お待たせしました…こちらメチャマズ…もといスペシャルブレンドでございます
ぐいっ
のんだ
!?

なにこれおいしい❤
嘘っ!?
おう兄ちゃん 俺らにも そのブレンド 飲ませてくれ
えっ いやっ ちょっ
こっちにも くれ! グランデだ!!
わ～
後日…
ごぶさたで～す カゼもすっかり 治ったし 今日からまた 出勤よ❤
よかったよかった 臨時の店員さんも 頑張ってたけど やっぱり スタードッグスは お姉さんがバリスタ じゃないとね
あはは ありがと❤
こちら カフェラテ トールサイズ になります❤
ズー
あれ… なんか…普通で ものたりない…
…普通で いいんだよ…
おわり

ハローサマー、グッドバイ

作:DANGAN

クーバースの幹部である私がこうして街をぶらついていても問題は無い…わけで…

いや…やっぱり問題大有りですよオペラ様…

あらァ?グレンってばいまさら何言ってるのォ

今日一日は一切仕事しない!って前々から決めてあったでしょ?

そうなんですが…いやそういうことではなく!

どうして私と
オペラ様が
こうして二人で…
ふ、ふたりきりで…
歩いているのかと…
何よォ
いくら変装
してるからって
クーバースの首領を
一人歩きさせる気ィ？
いえ…そういう
わけでは
ありませんが…
だったら
黙って
ついてくる！
上司の一人
エスコート
できない
ようじゃ
クーバース
失格よォ？
は、はあ…

あ…ほら
ねェグレン?
あそこのアイス
買ってくれるゥ?
いいですけど…
オペラ様
私より給料高い
ですよね…?
そういう
野暮なこと
言うんじゃ
ないの!
メルシー
ボクー
おいしい
あ、オペラ様
?
ほっぺた…
アイス
ついてます
ときどき
思う——

オペラ様は…
ふふ…
ん？
ん…グレンの手って意外と大きいのよねって…
いろいろあってクーバースの首領なんてやってはいるけど…

本来なら彼氏とデートして…

キスなんかしたりする普通の女の子で…

はっ!?

すすすいません
弾み…
つい弾みで…
…気にしなくて
いいわよォ
あたしも気にしないから
あたしもあんたもプロだし
こんなことしたからって
普段の仕事に影響出さない…
こういうのは…休暇中
だけのことだって
割り切れるわよねェ
ああ――
そうだよ…な
そうだ
これはあくまでも
非日常の出来事…
なんだよな…
ところで、
グレン…
あたしたちの有給休暇…
まだたっぷり
残ってるの知ってたァ?
ニッ!
どうやら…
夏が終わっても
冬が来ても…
非日常は
定期的に
訪れそうだ
おしまい。

ゆき
ゆき
ずうっと ゆきねえ
滑るから 気をつけて ……
ああ… そうだな
Q.E.P.D.
作:DANGAN
ズル
立てるか? ほら、手を…
ス…
ドサ!
いいよ
おれ もう こどもじゃ ないんだぜ

そうか
そうだな
ザ…
なあ おれたち どこに むかって あるいてるんだ？
暖かい ところさ…
あたたかい？
そう もうすぐ 着くぞ… ほら
…あとは あの人に ついて いくんだ
さあ、 行きなさい

私は―
私はここで人を待たなくちゃいけないからな…
ね
バイオンはいかないの?
うん、わかった
ばいばい…おとうさん
ああ…
元気でな

もし彼らに次の機会があるのなら…
どうか幸あれと願うのは…虫のいい話だろうか
…さてここで待っていれば…彼女もいずれ来るだろう
戯れに道行く人を数えて…
数千、数万を数えたときふいに自問自答する
私はなぜ彼女を待っているのか…彼女に会ってどうしたいのか…
…一言だけ詫びたいんだ

…馬鹿ね
私は私の意志で行き先を決めた
後悔は…正直 しているけれど… 私のものよ あなたにはあげない
ああ そうだな
だから 私は こう 言うのだ

…ありがとう
おわり

光の中に積もる雪。 koto
ぼすっ!
やったーっ!命中~~~♪
うおっ!?
ぎょっ!?
!?
こぉら…
ヒトに向かってイキナリ何すんだッ!!!
お前等ーッ!!
後ろからとか卑怯だぞーっ!!!
わーい♪
出来た~!
皆…
ーったく…
あぁ…
大丈夫ですか?レッド…
雪が降って嬉しそうですね…

ちょっと…
雪を見るとわくわくする気持ちはわかりますけど…
冷え込んで寒いですけど…
!
!
……
まぁな…
!
ぎゅっ…
ん…
!?
えっ…
みゃっ!!?
はッ!!?
ちょ…ちょっとッ!
ななっ!?
れ…レレレッド…!?
な…んですか!?いッ…イキナリこんなッ!!
さ…寒いって…
だからって…
何故私に抱き付くんですか～ッ!!?
あぁ～…ぬくい…♪
カァァァ…!
いやぁ～♪
雪降ってスゲェ寒いから…
つい…
!!?
ぼふっ!?
あ～♪お兄ちゃんがお姉ちゃんにぎゅうしてる♥
いいなぁ～!
じぃ～～…
きゃーッ!!?
ちっ…違うんです!これはッ!!
…ラブですね…これは…

私もぎゅうした～い♪
あっ！
じゃあ僕もーっ!!
オレもーーッ!!!
混ーぜろーッ♪
どーーん
ほ…
混ぜて混ぜて～♥
ボクも…
!?
あ…
くえぇえっ!!?
きゃははははっ！
あったかーい♪
おしくらまんじゅう～♥
……
はぁ…？
何やってんだか…
…そうね…
アイツ等…

……
ブランク…
本当は…
混ざりたいんじゃないの…？
ギくっ!?
はっ!?
何言ってんだネロ…
誰がッ!!?
冗談キツイぜ…
くすくす
はっ…
戦うならまだしも一緒に遊ぶとか…
──今更…慣れ合うとか…
ゴメンだね…
ふふっ♪無理しちゃって…
無理なんてしてないッ!!
どうせ…
アイツ等には俺達の事…見えてないんだしさ…
この体じゃ何も出来ないだろ…
──それに…
……
──うん…
そう…ね…
──…
こうして…
でも…
いいじゃない…？
──…！
見ているだけでも全然飽きない奴等なんだから…
もう少しだけ…近くに居て…楽しもうじゃない…
──…ヒトってどんなものなのか…少しはわかるかもしれないわ…
おわり

エル、どうした？

スピノーにて

やっぱりやめます

ハァ!?

ほら
…？どうしましたレッドさん？
おぶってやるって言ってんだよ！
もー！遅いと思ったらこんなところで寝てる！
FIN...

ふぇっ…
へっくしっ!!
ビクッ
うおっ!?

風邪かー?
ぶる
ぶる
すみません。
私、ちょっと寒いのが苦手で…

ネコヒトって、寒がりが多いのか?
あー
全部ってわけじゃないと思うんですがネコヒトは寒がりさんが多いですね。
そういえばエルも寒がりだな…
ふーん。
デュエルシップで見かけるネコヒトなんかは、この季節でも半袖だったりするしあんまり意識してなかったぜ。
デュエルシップといえば、あそこのレフェリーさん。
彼も相当寒がりって話ですよ～。

えー…では。
レッド・サハラン選手 VS クレープ&作業員
ドゴオオオオオ
今時分は、こんな感じじゃなかったですか？
WOW
BOW
試合も少なかったし
って。
そういや、観客もほぼイヌヒトだったような気がするな。
寒いとネコヒトの入りが悪いですからね。
ぬくぬく
へぇ――
んだ？
ちょっと待てよ…？
ワァァァ

READY Go!!
なにかが、引っかかる
ワァァァァァ
そうだ、あいつらの服装ー…

※試合後半の
圧倒的な半袖率
寒がりではないだろ！
ワァアアアアー
試合が熱いと寒さも忘れちゃうんですね～。
ガッ！
わ！そろそろ準備にいかないとっ
司
ビシッ!!
ではまた会場でレッド選手
デュエルシップ同様、寒さも吹き飛ばす
熱い展開を期待しております！是非、頑張って下さいね～！
おうっ！
END

必需品と本能。
バイオンどこ行ったんだよ？
ちょっと出るって言ってたけど随分経つわよね
今帰った
ユラ。。
遅えよ！すっかりハラへりだ…
ニポンまで行ってきたのでな
ドサ
!?
ス。。。

今 超無意識だった!!
バッ
な…なんだこれは!?
オーダーのように逆らえない…!!
…吸い寄せられる…!
いやぁぁぁ
あ…あああ…
もうだめぇ はぁぁん…
ふむ…
ぬくい…
この世は失敗作ばかりだがこれだけは良いものだ…
350年以上見てて
だらぁ
シェパルドは暫く平和です
END.

NOVELS

Re-CODA

これから生きる大切な時間…

監修
松山　洋
Hiroshi Matsuyama
著
？？？
Hatena Hatena Hatena
挿絵
たからっきょ
Takarakkyo
題字
ヒガシ
Higashi

「……ル……い……うぶ……」
　無線から私を呼びかける声が聞こえる。
　呪術を使いすぎ身動きが取れなかったが必死に手を伸ばし無線に答えた。
「聞こえてますよ……生きてます……」
「エルか!?　おい返事しやがれ!!」
「聞こえてます……よ……生きてます……なんとかね……ちょっと……動けないですけど……ふふ……ははは……」
　なぜか心配する彼の声を聞いたとき安心して笑ってしまった。
「笑ってる場合かよ！」
「だって最後に笑っている者が勝ち……なんでしょう？　あなたをそこへ届けられた……だから私は勝ったのね……？　笑ってもいいんだよね……？」
「お前……」
「エルさんは私がオペラさん達と一緒に迎えに行くよ」
「ありがとう……お願いします……」

　私のやるべき事は終わった。
　後は全てを望みに賭けるしかない。
　そう思ってると、メルヴェーユさんから通信で、通信が出来なくなる知らせが来た。
　無事に帰ってきて欲しい。
　最後の力を振り絞り、彼に約束を交わした。
「今度はあなたの笑顔……見せてくれるよね？」
「ヘッ……誰に向かって言ってんだ？　ここから先はこの俺が……バシッと決めてやるぜ!!」
　いつものような元気でやる気のある声を発すると、そのまま無線が切れてしまった。
　その声を聞き、そのまま意識が遠くなった。
　これが、この日最後に聞いた彼の言葉だった。

「……ル……さ……エ……さん……エルさん！　しっかりして！　エルさん！」
　自分を呼びかける声を聞き、目を開けると、目の前にショコラさんがいた。
「大丈夫か!?」
「しっかりする、かも」
「あの後、必死に呼びかけてもあなたからの連絡が無かったから心配したわ」
　周りには心配そうに見つめるみんながいた。
「すみません……気絶してしまったみたいで……」
　この時、体の様子がいつもと少し違う感覚がした。
「良かった無事で……あっ！　エルさん、手に怪我してるよ！　ちょっと待ってて、すぐに手当てするから」
　右手を見ると、吹き飛ばされた時に擦り剥いたのか、ちょっと大きい擦り傷があった。
「大丈夫ですよ……この程度の傷ならすぐに……」
　普段ならメダリオンの呪いである不老不死の力で、ほんのちょっとの時間で治るのに、なぜか治る気配がしない。
「治らない……？」
「準備できたよ、沁みるけど我慢してね」
　傷口に消毒液がかけられると、痛いような冷たいような感覚があった。
「うっ……沁みます……」
　消毒し終わるとすぐに包帯を巻き傷口を保護してくれた。
　手当てをした直後、レムレス内に大きい揺れが起こった。
「なっ、何!?」
「なんかやばい、かも!?」
「みんな急いでここから脱出するぞ！」
　ショコラさんの肩を借り、レムレスから脱出し、ゴールデンロアに戻ると、空間に穴が開き、タルタロスがそこに消えていくのが見えた。
　私たちは戦いには勝った。
　だが、いくら待っても彼は帰ってこなかった。
　本当にこれは勝ったと言えるのか。
　最後に笑ってる者が勝ち。
　だけど笑う気にはなれなかった。
　彼の口癖が私を苦しめる。

翌日、
ベルーガと一緒にメルヴェーユさんにメダリオンを解析してもらうと、中にある不老不死を司る機関が呪術の使いすぎにより破損している事が解った。
　永遠の命が無くなり、止まっていた時が動いたのだ。
　もう私たちは契約者の一族でもなんでもない、どこにでもいる人に戻った。
　ゴールデンロアのデッキで、これからをベルーガとメダリオンをお互いに見つめながら語りあう。
「ねぇベルーガ、もう私たちは二度とオハシラの儀なんてしなくていいんだね」
「ああ亡くなった里のみんなも姉さんも今までオハシラにされた人々も、きっと浮かばれるだろう」
「これからベルーガはどうするの?」
「俺はここに残って働く事にする。守りたい、いや、死んだ姉さんみたいに失いたくない人が出来たからな」

　失いたくない人。
　彼は一体どこに行ってしまったんだろう。

「お前はこれからどうするんだ?」
「え……私は……」
　里が滅ぼされ、それからずっと契約者の一族の使命だけ考えて生きてきた。
　人の目を避け、自分を偽り、気づいたら心に硬い鎖が何重にも巻かれ、誰かと接して不幸にするのを恐れ、感情も偽ったものしか出来なくなり、永遠という苦しみが付きまとう。
　そう思っていたが、彼に出会い全てが変わりだし、一緒に過ごし少しずつだが鎖が千切れ、あの日完全に開放されたのだが、これから何をしてどう過ごすのか解らない。
　契約者の一族以外の生きる道。
　それは未知の領域であり一歩が踏み出せない。

「まぁ、すぐには考えられないだろうな。三百年生きてきたが、それはあくまで時が止められていた期間だから、まだ俺は十九歳お前は十四歳だ。ゆっくり考えても罰は当たらないだろう」
　そこにメルヴェーユさんが近づく。
「ベルーガ、仕事が入ったわ」
「ああ、解った。じゃあな、エル」
　そう言うとベルーガは何処かへ向かって歩いた。
　これからの時間を楽しむかのように、生き生きとした表情を浮かべていた。
　それに比べて私は暗く悲しい表情になっている。
　これからを何一つ思いつかないし考えられない。
　肝心な新しい一歩が踏み出せない臆病者。
　私がしたい事って何?
　何所でどう過ごせばいいの?
　助けて! 誰か答えを教えて!
「これから」という答えの無い問題の壁で、立ち止まり、悩み喚くしかなかった。

　タルタロスが消滅して数日。
　右手の怪我は治り、包帯も取れている。
　だけどこれからという問題の答えがまだ見つからない。
　でも、この日なぜだか解らないが行きたい場所があった。
「ショコラさん、エアデールに散歩しに行きませんか?」
　そう言うとショコラさんは少し驚き答えを返した。
「エルさんも? 実は私もエアデールに行きたいと思ってたんだ」
「それじゃあ行きますか?」
「行こう!」
　私たちはすぐにエアデールに向かった。
　エアデールに着いて見たものは普通に生活する人々。
　まるで何事も無かったように過し暮す。
　約三ケ月前にジェイドの大群に襲われ被害を受けた地区も元通りになってきている。
「やっぱ変わらないね」
「みんな、たくましいですね」
「どういう事?」
「だってつい最近まで世界が消滅するかもしれなかったんですよ。でもみんな、

まるで何も無かったように過ごしているじゃないですか」
「当たり前だよ。だって平和になったんだよ。だから安心して普通に過ごせるんだよ」
「安心ですか……」
　里が滅ぼされ旅に出た後、歴史に残る様々な戦争や争いに巻き込まれた。
　戦いに怯え隠れた日々。
　もしかしたら私は安心を求めているかもしれない。
　そう思いながら歩いていると広い原っぱに着いた。
「いい天気ですね」
「うん。お日様も気持ちいいね」
　ショコラさんが空を見上げると、表情が変わり指を指す。
「あれ何だろう？」
　見上げるとなにやら竜のようなものがこちらに向かって飛んできている。
　いや竜じゃない。
　あれはロボだ。
　コックピットに誰かが乗っている。
　あれは……まさか……。
「お～い！」
　ショコラさんが手を振っていると声がしてきた。
　間違いないあの人の声だ。
　でもその声はかなり焦っている。
「……い……れ……どい……くれ……退いてくれ～!!　墜落する～!!」
　私達は急いでその場を離れると、さっきまで立っていた場所に墜落し、ワンバウンドした後大地を削り、土煙を巻き上げながら転がり続け、そして岩に激突しようやく止まった。
　何が起きたのか解らず二人で呆然と見ていると、土煙が晴れ中から咳をしながら一人の青年が出てきた。
「ゲホ！　ゴホ！　あ～死ぬかと思ったぜ」
　あの姿に鼻の傷。
　間違いない彼だ。
　服はぼろぼろ、毛並みはぼさぼさで、体は傷だらけ。
　そんな彼は私たちを見るとすぐに駆け寄り声をかける。
「よぉ、久しぶりだな」
「人が心配してたのに、何たまたま会ったような感覚で言ってるんですか！」
　私は怒った。
「何が久しぶりですか!!」
「巻き込まれるところだったじゃない!!」
「ちょっと!?　ようやく苦労して帰って来たのにいきなり説教かよ!?」
「当たり前ですよ!!　本当にあなたって人は馬鹿なんですから!!」
「はぁ、タルタロスから脱出したと思ったら何故か遠く離れた国にいるし、無線は壊れて使えないし、ようやく帰ってきたと思ったら燃料切れて墜落するし、そして説教はくらうし……俺、最近ついてないな……」
「言い訳しないの!!　お小遣い減らすよ!!」
「それは勘弁してくれ！」
「あなたは本当に……本当に……」
　もう堪えられなかった。
　溜まっていた寂しさや悲しみが涙に変わり溢れる。
「本当に何所に行ってたんですか！」
「そうだよ！　みんな……みんな……心配したんだからね！」
　私達は泣きじゃくり、涙で顔がくしゃくしゃになる
「ごめんな……すぐに帰れなくて……」
　その言葉を聴いて感じた。
　彼も不安だったのだ。
　本当に世界を救ったのかどうか。
　私達と会えるかどうか。
「なぁ、あの時お前と約束したよな。笑顔を見せてくれって、お前達が泣いてると俺、笑顔なんて出来ないぜ。約束を守りたいから泣くのを止めてくれよ？」
　私は涙を拭ったが何故か止まらない。
　止まらない理由は解った。
　嬉しいんだ。
　彼が帰ってきて心から嬉しさが溢れているんだ。
「早く泣き止んでくれよ。いつまで泣いてるんだ？」
「そういうあなたも泣いてるじゃないですか」
　彼も静かに泣いて一筋の雫が顔から零れる。

「こっ、これはさっきの土煙が目に入っただけで……」
「もう、こんな時も素直じゃないんだから」
「でもそういう事にしておきます」
　心の中で迷っている私に彼が近づき、新しい道へ手を引いてくれた。
　私はハンターとしてこれからこの人たちと共に今みたいに怒って泣いて笑って過ごすんだ。
「そういえばまだ大切な事言ってなかったね」
「そうですね」
　私達は彼に抱きついて笑顔を見せる。
「レッドさん」
「お兄ちゃん」
『お帰りなさい！』
「二人とも、ただいま！」
　子供の様な無邪気な笑顔で私達に答えた。

　私は忘れない。
　この奇跡を。
　この涙を。

　そして彼の温もりと笑顔を絶対に……。

（おしまい）

※本作は「Solatorobo それからCODAへ」を元にした二次創作小説です。

諸刃の剣

DOUBLE-EDGED SWORD

監修　松山 洋　Hiroshi Matsuyama
著　？？？　Hatena Hatena Hatena
題字・挿絵　ミヨシ　Miyoshi

昇ってきた太陽がこの日の始まりを告げる。
ゴールデンロアは朝日を浴び黄金のボディがより一層輝き、その船内のある机に光が差し込む。
机の上には書類が山積みに置かれ今にも崩れそうになっている。
「また朝になってしまった……」
その机はグレンの席であり、この日も徹夜で書類を片付けていた。
この書類は彼の仕事の物ではなく、オペラとカルアの物。
サボった仕事を無理やり押し付けられたり、後始末を勝手に任せられたりして、ここまで膨れ上がっていた。
グレンは最近ほとんど寝ておらず、頬がかなり痩せこけ、目もかなり赤くなっていた。目の下にはペンキで塗ったような黒くて濃い隈ができ、尻尾にも力が入っていない。
そんな彼を尻目にオペラが仕事場に入ってきた。
「オペラ様、おはようございます」
「おはようグレン、あなた仕事始めるの早いわねェ～」
「昨日の夜からずっとあなたがやるはずの仕事をやっていました。終わったものはあなたの机に置いています」
「あら、やってくれてありがとねェ～♪」
彼女の罪悪感の無い軽い返事にイライラするが、その怒りを押さえ込むと胃がキリキリと痛み出す。
「おはよう……、かも……」
カルアが寝起きで頭が回らない中、欠伸をしてふらふらと入ってくる。
服装も身だしなみもかなりだらしない。
「お前は身だしなみをきちんとしろ。それと、この前の報告書は書いてきたか？」
「それなんだっけ……、かも……」
これは絶対やっていない。
「あれだけ言ってまだやってないのか！　それにまた昨日も依頼をさぼって遊んでいただろ。あの後の処理は大変だったんだぞ」

手に爪が食い込むぐらい強く拳を握り、感情をコントロールする。
この二人はどうしたら真面目に仕事をしてくれるのだろうと、ふっと思った。
しかしグレンの事など考えずにオペラとカルアは机の上に書類の束を追加する。
「今日は外回りで色々回るからこの書類よろしくねェ～」
「おれのもよろしく、かも～」
二人はそのまま部屋を出ようとする。
この行動がグレンの逆鱗に触れてしまった。
バァン!!
机を力いっぱい殴り書類が崩れる。
音に驚いたオペラとカルアが振り向くと、はらわたが煮え繰り、堪忍袋も弾け完全に怒りに満ちたグレンの姿がそこにあった。
グレンは机をひっくり返し大量の書類が宙を舞うなか、今まで溜め込んでいた不満を爆発させる。
「オペラ様!!　いい加減にして下さい!!　これは私の仕事ではなくあなたの仕事です!!　私たちが特務室だった頃とは違うんですよ!!　あなたはシェパルド最大のハンターギルド、クーパースのギルドマスターなんです!!　その自覚が分かっているんですか!!」
今まで聴いたことの無い大声で叫ぶグレンに、オペラは固まる。
カルアはこっそり逃げようとするがそれもグレンは見逃さない。
「お前もだカルア!!　いつも頼んだ仕事をやらずに!!　誰がその後始末をやっていると思っているんだ!!　お前より一般兵のほうが真面目に働いているんだぞ!!　それをどう思っているんだ!!　それはオペラ様も同じです!!　お前たち真面目に仕事しろ～!!」
息を切らしハァハァ言いながら、グレンは白目を向き糸が切れた人形のようにその場に崩れた。
「グレン……？」
「どうした……かも？」
二人はゆっくりとグレンに近づく。
カルアが額に手を触れると、額当て越しでも分かるぐらい熱がでており、焼けるように熱い。
「熱っ!!　ひどい熱、かも!!」
「グレン！　しっかりおし！　目を覚ますのよォ！　グレン！」
悲痛な叫びが船内に響き渡る。

「グレン……大丈夫かしらァ……」
「凄く心配、かも……」
グレンの自室の前で二人は心配していた。
すると部屋の扉が開きメルヴェーユが一通り治療をして出てくる。

「グレンの様子は!?」
「どうなってる、かも!?」
　メルヴェーユは少し黙った後、口を開く。
「オペラ、カルア君、少しいいかしら」
　なんだろうと思う間もなく、メルヴェーユはオペラとカルアの頬を一発引っ叩いた。
　あまり痛くはなかったが何かが心に突き刺さった。
「あなたたちはグレン君がこうなるまで何をしていたの。彼の容態はかなり酷いわ」
　メルヴェーユの静かで激しい怒りに二人は小さくなる。
「疲労、寝不足、ストレス等、彼が倒れたのは全てあなたたちが原因よ。かなりの高熱だし今まで倒れなかったほうが不思議だわ」
　返す言葉もなく黙り込んでいると、扉からグレンがふらふらと今にも倒れそうな足取りで出てきた。
　腕には点滴が繋がれており頭に大きな氷嚢が乗っかっている。
「グレン!」
「オペラ様……。先ほどの……暴言はすみません……すぐに……」
「駄目! あなたは動ける状況じゃないわ!」
　メルヴェーユの警告を無視して部屋の外に出ようとするが、足に力が入らず再び倒れてしまう。
「……ぐっ!」
　グレンはそれでも立ち上がり現場に向かおうとする。
「駄目、かも! 休んで体を良くしたほうがいい、かも!」
　カルアが止めようとするが、グレンはその手を払いのけた。
　そこにベルーガが現れる。
「ベルーガ! グレン君を止めて!」
　ベルーガはグレンに近づき腹部を力一杯殴る。
「ぐはぁ!」
　気を失いベルーガに寄りかかりながら倒れたグレンを、そのまま部屋に運ぶ。
　熱にうなされ苦しそうに息を切らしている彼を、ただ見守るしかなかった。
「今みたいに、グレン君はあなたたちがしっかりしないから、替わりにクーバースの未来の為にああやって苦労しているわ。だから自分の体を壊してまでも頑張ろうとしているのよ。あなたたちにはグレン君みたいに必死に仕事をやっているの?」
　二人は再び黙り込んでしまう。
「あなたたちには罰を与えます。これからそれが終わるまで、グレン君には一切会わせないわ。」
「そんな!」
「それはない、かも!」

　子供の頃から三人はいつも一緒だった。
　オペラとカルアにとってグレンに会えないということだけでもかなりきつい罰である。
「あなたたちが蒔いた種よ。それに終わればちゃんとグレン君には会わせてあげるわ。尻尾にかけて約束する」
「……罰ってなによ?」
　メルヴェーユの口から罰が言い渡される。
「今からあなたたち二人だけで、グレン君がやるはずだった全ての仕事を終わらせること。簡単でしょ? もちろん、あなたたちが彼に頼んだ仕事も全てね」
　山のように積み上げられた書類の山を思い出しゾッとするが、自分たちがサボった仕事であるからしかたがない。
「分かったわ。全て終わらせればいいのね」
「やってやる、かも!」
「頼んだわよ」
　オペラとカルアはグレンの為にも、急いで仕事場に向かった。
「さて、私も彼の治療に専念しないと」
　メルヴェーユはグレンの治療と看病を行うため、部屋の中に入っていった。

　二人は山ほどある書類を片付けだした。
　机の上にあった物を二つに分けているが、それでもかなりの量で一日や二日では終わらないほどだ。
「なんか凄く多い……かも～」
「それでも頑張らなきゃならないわねェ」
　二人は手当たりしだい仕事にとりかかった。
　山ほどある書類は伊達ではなく、とにかく目を通しミスが無いかを確かめながら進めていくが、なかなか減らない。
　クエストに行かなければならない時は、バインダーにできるだけ多くの書類を挟み込み、移動や待っているちょっと空いた時に片付けていく。
　少しでも早く終わらせグレンに会うため必死だった。
　それに加えて、自分たちの仕事もあるので、

両立させるために仕事の時間が終わっても仕事場に残り、夜遅くまで作業を続けた。
「なかなか減らないわねェ……」
「早くグレンに会いたい、かも～」
　少し愚痴をこぼしながら作業を続ける。
　翌日、終わった分の書類をメルヴェーユに見せて報告する。
「なにこれ？　内容が滅茶苦茶じゃない。やり直し」
　呆れた顔でつき返された書類を受け取ったオペラはあることを聞く。
「ねえ？　グレンは……」
「彼の事については何も答えないわ」
　氷のように冷たく鋭い言葉を言い、そのまま行ってしまった。

　メルヴェーユは、自分で調合した薬を持ってグレンの部屋に入る。
「ベルーガ、グレン君の調子はどう？」
　ニポン国風の質素で、落ち着いた雰囲気のある畳の部屋の真ん中に敷かれた布団に、グレンは横たわり、その近くでベルーガは正座をして様子を見ていた。
　グレンは白い寝巻きを纏い髪を解いた状態で、寝込んでおり口に体温計をくわえている。
「特に何も変わってないな、熱も高いままだ」
　そういってベルーガはグレンから体温計を取り、メルヴェーユに渡す。
「熱が下がらない、あまり良くないわね」
　体温を確認しているとグレンはうっすらと目を開けた。
「うぅ……メルヴェーユ様……」
「まだ起きないほうがいいわ。　それにあなたの仕事については何も問題ないから安心して」
　腕の点滴を取り替えながら会話をする。
「しかし……心配なんです……。オペラ様とカルアの事が……」
「あなたの為にしっかり働いているわ。滅茶苦茶でやり直しだったけど、やり終えた書類は持ってきたしね。それに、そもそもあの二人にはグレン君がいかに大変な思いをしているか体験させようと考えていたところだったから、ちょうどよかったわ」
「……はっ？」
　思いがけない爆弾発言に思わず固まる。
「そもそもあなたは働きすぎだからしばらくの間、代休を取ってもらおうと思っていたのよ。さすがに倒れたのは想定外だったけど」
　グレンが唖然とした表情のまま固まっているものの、メルヴェーユは話を続ける。
「それにね、あなたはクーパースの事を思って彼女たちのやらなかった仕事をやっていると思うけど、さすがに引き受けすぎているわ。　断るのもちゃんとした仕事よ。
それは覚えといて」
　グレンは考えた。
　彼女たちがサボるのも、自分が仕事を引き受けすぎて甘やかしてしまったからではないかと。
「そうだ、ベルーガ。グレン君に薬を飲ませるから近くにある水差しを取ってくれる？」
　しかしベルーガは動かない。
「どうしたの？」
「すまない、足が痺れて動けなくなった」
「まったく……。　お前は風じゃなくて……空気を読んでくれ」
　グレンは呆れるしかなかった。

　数日後の夜
　山のように溜まっていた書類も少なくなり、後少しといったところまでになったが残業による疲弊で手が動かず、寝不足で頭も思うように働かない。
「眠い……すごく疲れた……。かも……」
「でも……あと少しよ……頑張りましょォ……」
　机の上には書類だけでなく栄養ドリンクの空きビンが散らかっており、眠気覚まし用の濃いエスプレッソコーヒーの匂いが部屋中に広まっている。
「ねぇ、カルア？」
「室長、何、かも？」
「グレンっていつもこういう時、どう思って仕事をしていたのかしらァ？」
　手がふと止まる。
「分からない、かも。　でもおれたちグレンに任せっぱなしで今まで何もこういうこと考えていなかった、かも」
　二人はグレンの立場になって自分たちがどれだけ頼りすぎていたのか、自身の仕事もやりながら、自分たちの仕事を両立させていたのか。そして体がボロボロになりながらも自分たちの為に体に鞭を打っていたのか。
　それを考えると胸が張り裂けそうになった。
「私たち、今まで何でここまで考えなかったのかしらねェ」
「おれたちがちゃんと仕事をしていればこうなっていなかった、かも」
「ごめんね……グレン」
　涙が書類の上に二、三滴落ちる。
　すぐに涙を拭い、再び手を動かす。
「早くグレンに謝りに行かなきゃ」
「おれも、かも」

こうして夜は更けて、朝となった。
メルヴェーユが仕事場に入ると二人は仕事が終わって疲れたのか、机に伏せた状態で寝ていた。
机の上の書類を手に取り内容を確かめる。
「ちゃんとやればできるじゃない」
そう言って持ってきた毛布を静かに優しくかける。
「二人ともお疲れ様。約束通り、グレン君に会わせてあげるわ。」
メルヴェーユは置手紙を残し、仕事場を出て行った。

その日の昼頃
グレンの熱は平温よりまだ少し高いが、容体はかなり良くなり点滴は外され体を無理なく起き上がらせるようになった。
本を読んでいるとオペラとカルアが入ってきた。
「オペラ様、カルア」
「ごめんなさい！」
入ってすぐ二人はグレンに謝った。
「あなたが色々と大変な思いをしているのにようやく気づいたの」
「おれたちが真面目に仕事をしていれば、グレンだってこうはならなかった、かも」
言葉や表情にも反省の色が見える。
「大切な仲間の事を考えずに色々と仕事を体を壊すまでやらせるなんて。私……社長失格かしら」
「おれも、ハンター失格かも」
かなり落ち込んでいる二人に、グレンは言葉をかけた。
「いえ、二人ともちゃんと仕事を終わらせることが出来ました。それはオペラ様、あなたの力です。決して社長失格という事はありません。カルアも真面目にやったからきちんと仕事を終えることが出来たんだろ？　だったら大丈夫だ」
頷く二人にグレンは続けて言う。
「それに、そもそも私も二人の事を甘やかしてしまいました。これからは厳しく仕事をしていきますからね」
「だったら、おれたちと約束して欲しい事がある、かも。」
「お願い。辛い時は辛いって言って、その時は必ず力になるから」
「わかりました。尻尾にかけて誓います」
「ありがとう」
三人はこの約束を誓った時、部屋の外から何か会話が聞こえてきた。
「そんじゃあ二人とも、しばらくこのおば……痛ててて！」
「このお姉さんとお兄さんの言うことをちゃんと聞いてくださいね」
「お願いしま～す」
誰が来たのかすぐに分かった。
「まったく、騒がしいのが来たか」
三人が扉の方を見ると、レッドたちがお見舞いに入ってくる。
レッドの右頬には抓られた跡があった。
「よぉグレン。この前ぶっ倒れたんだってな。今の調子はどうだ？」
「やっぱり君たちか。しかし、なぜ私が倒れたのを知っているんだ？」
「俺が教えた」
レッドたちの後ろからゲペックが現れる。
「ゲペック殿!?　なぜここに!?」
「昨日の夕方、クエスト屋の前でたまたまカルアに会って全て聞かせてもらったぞ」
「余計なことを……」
「悪い、おっちゃんには伝えないとな～って思ってついつい喋り過ぎた、かも」
「まあいいじゃない。旦那も心配してたみたいだし」
「オペラ様もそういう考えは止めて下さい」
そう言いながらもグレンの顔は笑っていた。
「なぁ、あいつらに何かあったのか？」
レッドはゲペックに話しかける。
「さぁな、そこまでは知らん」
「それだったら聞いてみようぜ」
何があったのか聞こうとすると、エルとショコラに止められる。
「レッドさん、多分ですけど聞かないほうがいいと思いますよ」
「何でだよ？」
「世の中には聞くのも野暮って事もあるんだよ」
「まあ、そう言う事だ」
その後グレンの体調は完全に回復し、また仕事に励みだした。
オペラとカルアも以前より真面目に働いている。
お互い助け合いながら。
尻尾にかけた約束と共に。

（おしまい）

※本作は「Solatorobo それからCODAへ」を元にした二次創作です。

ソラトロボ異聞

シェパルド学園の夏

監修　松山　洋
Hiroshi Matsuyama
著・挿絵　ケモノグチ博士
Kemonoguchihakase
題字　三好　誠
Makoto Miyoshi

パアァーンッ！

今日も『シェパルド学園』の夏の朝は、恒例のけたたましく爽やかな破裂音で始まった。

その破裂音と共に、学ランを肘までまくった青年が、頭を両手でかかえ、うずくまる。

頭の後ろで結んだ茶色の髪と尻尾がワナワナと震えている。

「いってぇえ！　グレン、テメェ何しやがる!?」

「貴様がいつもオペラ生徒会長の手を煩わせるからだ、レッド」

竹刀を正眼に構え、残心の姿勢を崩さずにグレンと呼ばれた青年は冷ややかに返す。

朝から剣道の道着を着ているが、剣道部というより、武士という雰囲気の似合う青年だった。

道着の袖には〈風紀委員〉の腕章がある。

「俺様がいつ、あの女の手をわずらわせてるってぇ？」

竹刀で打ち込まれた頭をさすりながら、レッドは噛みつくように猛抗議した。

若干、涙目だ。

「フン、貴様……今どこから神聖なる学舎に入り込もうとした？」

「入り込もうとした、とは失礼なヤツだな。俺はここの生徒だ」

「正門ではなく、壁を乗り越えて来るような輩を、一般ではそう言うのだ、痴れ者が」

「ここから入るのが近道なんだから、しょうがねえだ……るおっ!?」

レッドが言い終わる前にグレンが再び竹刀を打ち込んできたが、レッドは鼻先をかすめつつもそれを避けた。

「ム……今のを避けるか。逃げ足だけは一流だな」

「あぶねぇだろ！　暴力反対！」

たまらずレッドは逃げ出すように校舎の入り口へ向かって走り出す。

「貴様の様な輩が、伝統ある我が校の風紀を乱すのだ！」

グレンが竹刀を右脇に構えながら追いかける。

流石に騒ぎが大きくなって来たのか、人が集まり始めた。

レッドは器用に人と人の間をひょいひょいと縫う様に逃げる。
グレンは竹刀と道着が仇となったか、段々レッドとの距離が引き離されていく。
「へへッ！　ごくろうさん－！」
勝利を確信してニヤリと笑みを浮かべた瞬間、突然レッドの体が宙に舞った。
「なっ!?」
レッドは地面に叩きつけられる寸前、首根っこを太い腕に掴み上げられ、ぶらんぶらんと揺れていた。
「よぉ、小僧。毎日朝から飽きねぇ奴だな」
「くそっ！　離せよ、おっさん！」
ガッハッハと豪快に笑う「おっさん」が、腕を高く上げ、急にレッドの首から手を離した。
不意をつかれたレッドは、当然の様に尻から着地させられる。
「いでっ！」
「教師に向かっておっさんとは許せんな。ゲペック先生と呼べ」
ゲペックは体育教師らしいたくましい体をジャージに包み、尻もちをついたレッドをニヤニヤと見下ろしている。
そこへドタドタと数名の者が走り込んできた。
「もう、お兄ちゃん！　また遅刻ギリギリなの？」
レッドの妹、ショコラであった。
そしてもう一人のおとなしそうな少女がペコリとゲペックに頭を下げる。
その少女の腕には、グレンと同じ〈風紀委員〉の腕章がつけられていた。
「先生、お手数をおかけして申し訳御座いません」
「おう、ショコラにエル。お前たちもいつも大変だな」
「本当だよ、お兄ちゃん！　あれだけ起こしても、全然起きてこないんだから……ねぇ、エルさん？」
「ええ、もっと確実に起きる手段を考えないといけないようですね」
凍りつくような冷ややかな瞳で、エルはレッドを一瞥する。
「そんなおっかない顔を向けるなよ……そもそも俺は遅刻なんてしてねえし」
ブツブツと文句を言いながら、レッドはよろよろと立ち上がる。
そこへグレンが遅れて辿り着いた。
と、同時に始業五分前のチャイムが鳴る。
「御苦労だったな、エル君。レッド……後で指導室へ来てもらうぞ！」
竹刀の切っ先をレッドに向け、一睨みすると、グレンは去って行った。
後には仏頂面のレッドと、あきれ顔のショコラ、そしてエルが残された。

放課後、指導室でエルに引きずられる様に連れてこられたレッド達を待っていたのは、生徒会長のオペラと、風紀委員のグレン、カルアの三名であった。
「やっと来たわねェ、コイヌちゃん♪」
オペラが愛用の扇をパチンと閉じる。
「ま～た、グレンを怒らせちゃったのォ？　懲りないわねェ♪」
「俺は別に、何にもしちゃいねーけど？」
レッドは悪びれる様子もなく、そっぽを向いて知らぬ存ぜぬを決め込んだ。
グレンがそんな反応は承知している、というように淡々とオペラに報告する。
「こいつは、またも正門以外の場所から、我が校へ侵入致しました。今学期に入ってひと月で十二回は、風紀的に問題かと」
「あらあら、元気ねェ～、また壁越えなのォ？」
オペラはあきれた声だが、どこか面白がっているようにも見える。オペラの横ではカルアもニヤニヤしていた。
「まぁ、それだけ元気があるなら大丈夫、かも～♪」
「あぁ？　何の事だよ」
レッドがいぶかしむと、何故かグレンがため息をつく。
「会長……本気ですか？」
フフン、とオペラが鼻を鳴らす。
「素行が悪くても、体力的には我が校でもピカイチだし、問題ないでしょォ？」

レッドがイライラしながら怒鳴る。

「だから、何の話だよ！　勝手に話を進めるんじゃねー！」

　その時、突然指導室の扉が勢いよく開いた。

「それは、このわしから説明してやろう……」

「ゲッ！　学園長!?」

　指導室へズカズカと入ってきたのは、シェパルド学園、学園長のブルーノであった。

「恒例となっている『タルタロス学院』との伝統ある『対抗戦』の選手として、貴様を任命する。光栄に思うが良いぞ」

「やだね。学園のためなんかに汗水流すなんざ、面倒だぜ」

「レッド！　何て事を言うんですか!?」

　エルが慌ててレッドの腕を引く。

「話は終わりかよ？　じゃあ、俺は行くぜ」

　エルの手を払って指導室を出ようとするレッドに、ブルーノが勿体ぶって声をかける。

「ならば、仕方ないのう……これまで犯してきた規則違反の数々、全て反省文を書いてもらうしかないが」

　レッドの足が止まる。

「はあ!?　何で今さらそんなもん、書かなきゃいけねーんだよ！」

「監督不行き届き、という事で妹のショコラ君と、隣に住んでいるエル君にも同じく反省文を書いてもらうしかないな……」

「な、なんでショコラやエルまで……そんな事されたら、俺がもっと絶対ヒデェ目に……」

　レッドがガタガタと震えだす。

「分かっているなら、覚悟を決めて『対抗戦』に出るしかないですよ……いえ、出ないと許しませんから」

　エルの瞳が冷たく燃え上がる。

レッドはがくりとうなだれた。
「アハン、期待してるわァ♪」

◆◆◆

そして、『対抗戦』の当日──

『タルタロス学院』の面々が、シェパルド学園に到着した。
先頭を歩く、学院長のバイオンは余裕たっぷりな表情である。
「これはバイオン殿、御無沙汰でしたな」
正門をくぐったバイオンを大仰に迎えるプルーノに対し、バイオンも同様に余裕を崩さない。
「貴公も変わりないな……今回も楽しませてもらおうか」
お互いに様々な感情のこもった握手を交わすと、バイオンは付け加える様に言った。
「この『対抗戦』が、最後の『対抗戦』になるのだからな……フッフッフ」
「思った通りにはいかんものだよ、バイオン殿……フッフッフ」
二人の間には、どす黒い空気が淀んでいた。
「まあ良い、今日という日が終わる時、全ては決しているだろう……今年の『対抗戦』は、予定通りの種目で行われるのか？」
「お伝えした通りだ、バイオン殿。今年のテーマは──」

パーン、パパーンと爆竹が青空に響き渡る。
「さあ、みなさん始まりました！　伝統の『対抗戦』！　今年のテーマは……『ドキッ☆　ケダモノだらけの水泳大会』！　私もドキドキしてまいりました！　紹介が遅れましたが、本日司会進行を務めさせていただきます、うぐいすアンコで〜す☆」
司会のうぐいすアンコがキュートな水着姿で手を振った。
オオオー！　と、野太い男子生徒達の声が響く。
「……なんで今年のテーマはこんな事になっているんでしょうか？」
学園指定の紺色のスクール水着を着たエルが、プールサイドにビーチパラソルを立て、その影でくつろぐオペラにたずねた。
何故かオペラは胸元からへそまで切れ込んだ、紫の大胆な水着である。生徒会長よ、風紀はいいのか？
「どうせなら、楽しい方が良いじゃないのォ♪」
「やはり、会長の仕込みだったんですね……」
オペラの傍らでは、諦め顔のグレンと、楽しそうなカルアが大きなうちわでオペラを扇いでいた。

「大会の開催にあたり、救護班のメルヴェーユ先生から注意があるので、お聞きください☆」
マイクの前に白衣姿のメルヴェーユが立つ。
前を開けた白衣の下には、真っ赤なビキニがちらりと見える。
「プールに入る前に、入念に準備体操を行う様にね……気分が悪くなったり、ケガをしたりした者は、速やかに私のところに来るように……いいかしら？」
再び男子生徒の野太い声が、ウオオー！　と響く。

大会は互いの学園から選抜された選手同士による、自由形、平泳ぎなどの競技的な種目が滞りなく行われていった。
学園のアイドル、ココナによるミニコンサートが行われる中、選手達にとっては最後の休憩時間となった。
最後の競技を残したところで、スコアはタルタロス学院側が、ほんのわずかだが優勢な状況である。
特にタルタロス学院の選手、ネロとフランクの生徒会コンビの活躍が目覚ましい。

「くっそー、負けてたまるかよ！」
　レッドは一人気を吐いていた。
　確かに、これまでタルタロス学院に何とか引き離されずに済んでいるのも、レッドによる活躍が大きかったのである。
「お兄ちゃん、大丈夫？　疲れてない？」
　ショコラが心配そうに声をかける。
「おう、どうって事ないぜ！」
　レッドの目はメラメラと闘争心に燃えており、決して強がっている訳ではないように見えた。
「でも、次に行われる最後の種目で勝った方が、この『対抗戦』を制する事になりそうですね」
　エルも心配になったのか、レッドの様子を見に来ていた。
「そうだな……で、最後の種目はなんだっけ？　やっぱ混合リレーか？」
「ちょっと待って下さい……えぇと、『騎馬戦』となってますね……」
　そこへタルタロスの生徒会長ブランクと、副会長ネロがそろってやってきた。
「シェパルドも、なかなかしぶといじゃないか……特にお前。レッド、とか言ったよな？」
「最後の種目……私達も出場するの。そこで決着をつけてあげるわね？」
「上等だぜ、かかってきやがれ！」
　ブランクはニヤリと笑う。
「この勝負が終わった時、シェパルド学園も終わる……せいぜい足掻いてみな。クックック……」
「なに？　どういう事だ！」
　ブランクとネロはレッドの問いには答えず、笑いながら去って行った。
「……この『対抗戦』の勝者が、この学園の『秘宝』を手にする……」
　突然茂みからささやくような声が聞こえてきた。
「わっ!?　……なんだ、ベルーガ先輩かよ……」
「どういう事ですか、ベルーガ先輩!?」
　茂みからしめこみ姿のベルーガが姿を現す。
「この形を変えながら代々行われた『対抗戦』は、今回で101回目を迎える……これまでは互いに譲らず50勝50敗……今回遂にその争いに決着をつけ、勝者はこの学園の地下に眠る『秘宝』を手にするという話だ……」
　レッドもエルも口をぽかんと開け、その言葉の意味をなんとか飲み込もうとした。
「つまり……この『騎馬戦』に勝たないと、この学園の存在が無くなるかもしれない、ようです……」
　エルが何とか噛み砕いてレッドに伝えた。
「えぇと、つまり勝ちゃいいんだな!?」
「そうだ……健闘を風に祈る……3秒……」
　そういうと、ベルーガは風のように姿を消した。
　余談だが、弓道部の部長をしているらしい。
「よし……こうなったらエル、お前も騎馬戦に出ろ！」
「えぇっ!?　なんで私が……無理です！」
「つべこべ言うな！　勝たなきゃいけねーんだ、出ろ！」
　勢いに負け、エルは渋々頷いた。
「わ、わかりました……ハァ……」
　そんな裏事情があってか、騎馬戦は想像以上の壮絶な戦いとなった。
　クールかつ素早く相手騎手の鉢巻きを奪って行くネロの騎馬と、気合でぶつかって敵を騎馬ごと潰して行くレッドの騎馬による、異なるタイプの潰し合いとなっていた。
　そして最後まで善戦していたオペラが、ネロとの鋭い組み手の結果、ネロの手がオペラの水着の肩ひもをちぎってしまう。ウオオオ！　と、盛り上がるケダモノたちの雄叫びの中、見えてはいけないものがポロリとなるところを、騎馬の頭に

なっていたグレンの英断により騎馬は自滅。オペラを水に落とす事で（グレンにとっては）事なきを得た（もちろん会場からは大ブーイングだった）が、残す騎馬はレッド＆エルの騎馬と、ネロ＆ブランクの騎馬のみとなった。
「あーっと、遂に残りの騎馬が、お互いに一騎ずつになってしまったーっ！　タルタロス側はネロ副生徒会長を乗せたブランク生徒会長の騎馬！　そしてシェパルド側は、エル風紀委員を乗せたレッドさんの騎馬！　どちらも大将の騎馬による一騎打ちだぞーっ☆」
「来やがれ！」
「さあ、レッド……舞台は整ったぜ？　決着をつけてやる！」
　ブランクの騎馬は、突然スピードを上げ、レッドの騎馬を翻弄し始めた。ネロのテクニックに任せ、序盤はブランクの力を温存していたのだ。
「アハハ！　さあ、鉢巻きを頂いちゃうからね！」
　ネロは嬉々としてエルに挑みかかる。
「クッ……速い！」
　エルはネロの手の動きと、騎馬の動きについていけず、焦っていた。
「大丈夫だ！　エル、俺を信じて鉢巻きをしっかり持ってろ！」
「は、はい！」
　レッドは、一緒に騎馬を作っていた二人を突然置いてけぼりにし、エルを肩車するようにしてブランクに突っ込んで行った。
「ウオオオオオッ！」
「なにっ!?　こちらの騎馬を体当たりで潰すつもりか！」
「こっちの騎馬は、三人なんだよ！　力勝負なら負けないよ！　アハハハ！」
　ネロ＆ブランクの騎馬も、レッドに向かって突っ込んでいく。
「気合、だあーーーガボガボッ！」
　レッドはエルを肩車したまま、スッと腰を落とし、足の筋肉に力を込めた。
「ダアアアアッ！」
　レッドは信じられない事に、エルを肩車したまま、水面の上までジャンプしたのだ。
「なにっ!?」
　そのままレッドの騎馬はネロとブランクに上から体当たりした。
　ネロとブランクは、咄嗟の事に対処する事が出来ず、ついに騎馬が崩壊してしまった。
　だが、レッドとエルは？
　レッドはしっかりとエルを肩車したまま、プールの底へしっかりと足を踏ん張り、着地していた。
「なんという結末でしょう！　騎馬レッドの捨て身の特攻で、戦いに終止符が打たれました！　勝者、シェパルド学園！」
　ウオオオオオオッ！と、全生徒の雄叫びが轟いた。
「アハン♪　やるじゃない、コイヌちゃん♪」
　オペラが肩ひもの切れた水着を手で胸に押さえながら賞賛した。
「フィィ……肝が冷えたぞ」
　ブルーノが腰の力が抜けたように椅子からずり落ちそうになる。
　バイオンは静かに席を立つと、ブルーノではなく、レッドを見つめながらつぶやいた。
「フッ……今回は引こう。だが、いつかまた決着をつけに戻るぞ」
「お兄ちゃーん！　カッコよかったよーっ♪」
　ショコラがプールサイドでレッドに元気よく手を振っていた。
　騎馬戦の行われていたプールの周りでは、皆がレッドの健闘を称え、未だに拍手が鳴りやんでいなかった。
　レッドはエルを肩車したまま、へらへらとその拍手と声援に向かって手を振って応えている。
「レッド……そういえば、何で私が騎馬戦に出ないといけなかったんですか？」
　レッドはポリポリと鼻の頭をかきながら、小さい声で答えた。
「そりゃあ、俺がお前を落っことすなんて事は、絶対にねーからな」

エルは突然、全生徒の前で肩車され続けている事に気が付き、カァッと顔に血が上ってきた。
「ちょ、もういいですから、降ろして下さい！」
「ヤダね、絶対降ろさねー」
「バカ、バカ！　降ろしてーっ！」
シェパルド学園の夏は、今年も暑くなりそうである。

◆◆◆

一方その頃、シェパルド学園の遥か地下では、地上の盛り上がりが伝わってきたのか、この地に眠っていた『秘宝』が目を覚ましていた。
「はぁ……皆さん、楽しそうですね……」
『秘宝』という名の守護者、ユルルングルは寂しげに呟く。
「この分だと、しばらくは真のＣＯＤＡなんて、どうでも良さそうですね……」
『秘宝』は、クス……と小さく微笑んだ。

（おしまい）

監修
松山　洋
Hiroshi Matsuyama

著・挿絵
ケモノグチ博士
（「Solatorobo それからCODAへ」脚本担当）
Kemonoguchihakase

題字
三好　誠
Makoto Miyoshi

「この度は遠路遥々、シェパルドから二ポン国へ御足労いただき感謝する、メルヴェーユ殿」

簡素な応接室で、レスキューレンジャー隊の制服に身を包んだ、屈強な壮年の男が深々と頭を下げる。

テーブルを挟んだ男の向かい側では、メルヴェーユが穏やかに微笑み返答した。

「いえ、こちらこそ我々の技術を、レスキューレンジャーの救助活動に役立てて頂けるように取り計らって頂き、光栄ですわ……Mr.ヤシマ」

「シェパルドでは『ロボ』があらゆる危険なシチュエーションでそのポテンシャルを発揮し、運用される様を見ることができ、すぐにでもこの『ロボ』を導入するべきだと判断したのです。もちろん『ロボ』の技術力だけでなく、その卓越した操縦技術の持ち主を同時に見る事が出来た事も大きいのですがね」

そういうとヤシマと呼ばれたレスキューレンジャーは、メルヴェーユの後ろに立つ青年を見て、ニヤリと笑う。

「やめてくれよ、まもるの父ちゃん！　照れるじゃねーか」

大きく突き出たマズルをぽりぽりとかいて、青年――レッドは満更でもない顔をする。

「レッドさん、またそんな言葉づかいを……」

レッドの隣に立っていた少女――エルは、レッドの脇腹に肘を軽くお見舞いする。

「構わんよ、お嬢さん。レッドにはあの時、息子を助けてもらって本当に感謝しているんだ。それにこの大胆不敵さが彼の持ち味なのも承知だよ」

最高のレスキューレンジャーの一人であり、まもるの父でもある、Mr.ヤシマこと〈八洲たすく〉は、狼狽するエルに優しく、それでいて力強さが感じられる笑みを浮かべた。

「そうですか、だったらいいのですが……」

なかば呆れたようにエルは返した。

以前、レスキューレンジャーの隊長である〈八洲たすく〉は、息子の〈まもる〉と共にシェパルドを訪れていた。

その際に様々な事件、災害に巻き込まれ、レッドと共に困難に立ち向かったという経緯がある。たすくは、ニポン国には普及していない『ロボ』が、あらゆる局面にて柔軟に対処できる優れた機械である事を目の当たりにしている。
　もちろん、たすくの言った通り、レッドの優れた操縦技術と臨機応変な行動、そして彼の相棒であり、ロボの中でも極めて高性能な『ダハーカ』がそろっていた事も重要なファクターであったが。
「今すぐに彼のレベルでロボを扱える者はそういないだろうが、いずれ使いこなせる者が増えれば、救助活動に大きな力となる……そう考えております」
　たすくは改めてメルヴェーユに向き直る。
「ええ、それは間違いありません。ロボに慣れる程度の訓練で充分にお役にたつはずですわ……まずは試験運用として、クーパースに配備されているロボを救助活動用に改修ののち、納品させていただきましょうか」

◆◆◆

　メルヴェーユとたすくが今後の取引について細部を詰める事になると、特にその席に必要の無いレッドとエルは部屋から外れ、空いた時間でニポン国の視察を行う事にした。
　まぁ、視察とは言っているが、レッドたちにとっては観光と言っても差し支えあるまい。もちろん、まったく見知らぬ地ゆえ、案内役がつく事になっている。
　レスキューレンジャー隊の建物からレッドとエルが出ると、その案内人は既にその場に到着していた。
「お待ちしてました！　おひさしぶり、レッドさん！」
　〈こども消防団〉のハッピを着た、元気な少年が手を振る。
「よお、まもるか！　元気そうだな！」
「ええ、おかげさまで。あっそうだ、ようこそニポン国へ！」
　まもるは小さくお辞儀をする。
「今日はお二人だけ？」
「メルヴェーユはまだお前の父ちゃんと話があるんだとさ。ショコラは今、港に停泊中のアスモデウスでお留守番中だ」
「かなり長距離を飛んできましたから、整備中です……居残りには、とても不満のご様子でしたが」
　レッドとエルが苦笑いする。その表情から、その時のショコラの愚痴が聞こえてきそうであった。
「じゃあ、ショコラさんとは後で合流だね……ところで、レッドさんたちは、お腹空いてない？」
　実のところ、先ほどニポン国に到着してから皆、食事らしい食事は摂っていない。
　まもるに指摘されて、胃袋は自らの存在価値を思い出し、アピールを始めた。

ぐぅ。

「あ」
　レッドは何気なく条件反射的に音の鳴った方に視線を移しながら、しまった、と後悔した。
　エルが羞恥心で毛をざわっと逆立たせながら、素早くレッドの腹に光速のエルボーを撃ち込む。
　レッドの体が「くの字」に折れ、レッドは腹に手を当てうずくまった。
　罪深き音が鳴ってから、僅か一秒足らずの出来事であった。
　まもるの危険察知能力が全力で働き、殺気を——否、空気を読んだ。
「えぇっと、そんなにお腹が空いて

たんだ、『レッド』さん！　じゃあ……ラーメンでも食べに行きますか？」

　ニポン国のフコーカ名物でもあるラーメンは、〈トン〉という食用としても普及している動物の骨から出た、まろやかでコクのあるスープが特徴である。

「クセはあるかもしれないけど、ハッキリ言っておススメだよ！　フコーカに来たら、一度は食べてもらわないとね！」

　まもるは二人を連れて徒歩で移動しながら、たっぷりとラーメンの魅力について説明した。

「待て待て、今これ以上期待させると、また腹の虫が騒ぎ出すから止めてくれ！」

　レッドはチラリとエルの様子をうかがう。

　エルはというと、悟りでも開きそうなほど精神を高めて、自らの煩悩を律しようと集中していた。

　自分の目の前に没頭し、出来るだけ周りの情報を取り込まないようにしているようにも見えたが、突然何かに気付いた様にハッと顔を上げる。

「今……少し地面が揺れたような気がしました」

「えっ、そうか？　俺はよく分からなかったぜ？」

　慎重な表情を浮かべるレッドとエルに、まもるが口を開く。

「ああ、弱い地震じゃないかな。感覚の鋭い人くらいしか分からないような、小さな地震」

「地震って、そんなに頻繁に起きてるのか？」

　まもるがさほど危機感を感じていないのを見て、気になったレッドがたずねた。

「うん、今くらいの地震は、毎日のように起きてるんだ。特に〈大災厄〉の後は、すごく増えた気がする……」

　〈大災厄〉とは、ニポン国を襲った巨大な地震である。

　ニポン国中が混乱し、まもるの父たち〈レスキューレンジャー〉が縦横無尽に働き、人々の救助活動や復興作業を支えた。

「……気になりますね、レッド」

　エルが不安げな顔で呟く。

「そうだな……まさか、とは思うが」

　レッドもエルと同様に思いつめた顔をする。

「どうか……したの？」

　二人の雰囲気が深刻な空気に包まれたのを感じ、まもるもまた不安にかられる。

　レッドとエルは互いに顔を見合わせると、ほぼ同時に小さくうなずき、まもるに向き直って説明を始めた。

「――まもるもシェパルドで見たと思うが、〈ティタノマキナ〉っていう巨像が二体いたのを憶えてるだろ？　あれが出現する前、シェパルドでも地震が続いた事があったんだ」

「えっ⁉」

　まもるが大きな声を上げる。

　エルはぶつぶつと様々な可能性をつぶやきながら、思案していた。

「世界中にティタノマキナが存在しているらしい事は知っていましたが、封印のシステムもシェパルドと同じなの？……だとすれば、『ここ』にも〈契約者の一族〉が……？　そして封印の力が弱まっているとすれば……」

　エルが身震いをする。

　その脳裏には〈オハシラの儀〉がよぎった事だろう。

　それを察したレッドが、エルの思考を止めるようにエルの頭にポンと手を置いて言った。

「何もそうと決まった訳じゃないだろ？」

　エルはハッと我に返る。

「そうですね……すみません、考えすぎたみたいです」

「とはいえ、気には止めておいた方が良いのかもな」

　レッドは出来るだけ深刻な雰囲気は出さないようにサラリと流しながら、頭の片隅にメモをするように何度もうなずく。

　まもるは、雰囲気を変える様に元気な声を上げる。

「それじゃあ、みなさん美味しいラーメン屋さんに――」

そこまで言った時に、突然まもるが耳を塞ぐように頭を押さえた。
「おい、どうしたんだよ、まもる!?」
「……ゴメンなさい、ラーメンはちょっと後になりそう」
エルがまもるの言葉を継ぐように口を開いた。
「今、頭の中に直接響く様に声が届きました――地震で山が一部崩れたため、レンジャー隊に出動がかかるそうです……何ですか、これは!?」
エルの言葉にまもるが驚く。
「エルさんにも今の〈ボウサイメール〉が届いたの!?」
「ボウサイメール?」
「〈大災厄〉の後、緊急情報を全てのヒト達に伝え合うように作られたんだ」
そう言ってまもるは遠くを指さした。
その指し示した先には、巨大なクリスタルの塔がそびえている。
「あのタワーから、緊急情報がみんなの頭に飛ばされるんだ」
「俺には聞こえなかったぞ?」
「さっきのはレスキューレンジャーや、消防団の関係者に向けて飛ばされた連絡だったんだけど……エルさんがどうして聞こえたのかが、分からないんだ」
まもるが首をかしげる。
「私は呪術に関しては皆さんより感度が高いですから……あの塔の情報を飛ばす仕組みが呪術を応用しているとすれば、無制限に情報が聞こえてしまったのかもしれませんね」
エルが得心したように説明した。
「すごいや! ボク、細かい仕組みとかは知らなかったけど、呪術だったんだ、あれ」
まもるがエルを尊敬のまなざしで見つめる。
「感心してるところを悪いが、俺たちもその現場に行かなきゃいけないんじゃないのか?」
レッドがまもるにたずねる。
「あっ、そうだった! ボク、一度お父さんの所に戻るよ!」
まもるはレスキューレンジャー隊の施設に向かって、走り出す。
レッドとエルもそれに続こうと走り出した。
「よし、俺も一緒に――いや、その必要はないかもな」
レッドがふと足を止め、空を見上げる。
空には茜色に輝く機体、アスモデウスがレッド達に向かって近づいてきていた。

◆◆◆

「メルヴェーユさんから、連絡があったんだよ。レスキューレンジャー隊の救助活動に協力するようにって!」
アスモデウスを巧みに操縦しながら、ショコラが説明する。
「なるほどな。で、現場はどこなんだ?」
「もうすぐ到着だよ。お兄ちゃんはダハーカMk2でスタンバイして!」
「了解だぜ! まもる、お前もすぐに来いよ!」
そう言ってレッドはダハーカMk2のハンガーへ続く扉に、体を飛びこませた。
「うん、分かったよ! ボクも飛行艇に乗せてもらって、ありがとう! やっぱり速いね、この飛行艇!」
「えっへへ～♪ ホメて、ホメて～♪」
ショコラは愛機を褒められ、上機嫌でスロットルを開ける。
「ほら、まもるくんもお兄ちゃんの所に行ってくれる? 現場の上空で落としてあげるから、気をつけてね!」
「う、うん。それじゃ……」
上空から落とすと言われ、覚悟と一緒に唾を飲み込む。
「まぁ、俺に任せとけ! 安全運転で現場まで送ってやるからな」
「うん、でもドキドキしてきた……」
「それじゃ、お兄ちゃんそろそろ行くよー!」
ハンガー後部のハッチが開く。
「オーケィ、行きますかっ!」

『は〜い！　カウントダウン開始、10秒前……』
まもるはレッドにしがみつく手に更に力を込めた。
『3、2、1……行ってらっしゃ〜いっ!!』
カタパルトがダハーカMk2をアスモデウスの後方へ射出する。
白銀のロボが、空に舞った。
「うわわっ!?」
「イヤッホォーーーッ!!」

◆◆◆

災害現場では山が崩れ、不安定な地面に転がる大岩がその下にある家を押しつぶそうとしていたが、不幸中の幸いながら、ロボの本領を発揮するのにはまさに相応しい現場であった。
現在のレスキューレンジャー隊の装備では困難な、デコボコで不安定な足場も、レッドとダハーカMk2にとってはまったく問題なく次々とクリアし、大岩をどけるクレーンが届かない場所でも強靭かつしなやかなダハーカMk2の両腕が力を発揮した。
その効率よく作業を進める様に、これまで直にロボの活躍を見た事が無かったレスキューレンジャーの面々も舌を巻くしかなかった。
「これで、最後だっ……と！」
レッドが最後の大岩をどけた時、レスキューレンジャーや現場を見守る住人たちから拍手と歓声が起きた。
「ハハ……どうも、どうも♪」
珍しくレッドは照れ気味にその拍手に応えて手を振った。
その姿をまもるは憧憬の念をこめて見つめている。
「ボクもいつか、レッドさんやお父さんみたいになろう……！」
握った拳に力がこもった。

「さっそく、ロボの導入を進める流れが加速しそうですな」
現場を取り仕切りながら、たすくはメルヴェーユに感嘆を込めて声をかけた。
「ええ、有難うございます。ただ、技術やそれを扱う者の育成について、我々も出来るだけ協力いたしますが、後の運営はそちらへお任せすることになるでしょう……くれぐれもよろしくお願いいたしますわ」
メルヴェーユは念を押すように返答した。
たすくもまた重々しくうなずいて、それに応えた。
「良くも悪くも、扱う者次第、という訳ですな。肝に銘じましょう」

◆◆◆

山崩れの現場を見守る住人の輪より少し離れた高台から、まったく別の感情をもってその現場を見守る者たちがいた。
その中の老人の姿をした者が口を開く。
「今回も〈地の龍〉の奪取はならず、か……やはり〈金ノ印〉が無ければ、先には進めんという事じゃな」
幼い少女がコロコロと鈴の様に笑う。
「封印はコワすよ……コワせば、流れは動く――」
少年がスッと二人の前に歩みを進め、少女の言葉を制する。
「事は慎重に運ばせる……ヤツら以外に力を持つ者が増え、相手にするのは非効率だ。だが……」
少年は軽やかに飛び跳ねるダハーカMk2を見つめながらつぶやいた。
「〈ヤマタ〉の障害として立つのなら、容赦はすまい」
少年の瞳が、冷たい刃のように鋭く光った。

（おしまい?）

ある艦長の最後の冒険

監修
松山　洋
Hiroshi Matsuyama

著・挿絵
ケモノグチ博士
Kemonoguchihakase
（「Solatorobo それからCODAへ」脚本担当）

題字
ヒガシ
Higashi

シェパルド最大のハンターギルド、クーバースが誇る戦艦「ブルズアイ」の艦長席で、わしは満足な気分に浸っていた。
バセットでの「結晶石回収」の任務遂行のついでに、あの小娘を痛い目に合わせているのだ。
小娘の分際で何故かこのわし、ガレット様よりも良い待遇をクーバースで受けている、あの憎ったらしいオペラを！
あわよくば、永遠に目の前から消し去ることも出来るかもしれんが、そうでなくても別に構わん。
これに懲りて許しを乞うなら、助けてやらんでもない。
二度とこのわしを見下すような真似をしないと誓うならばの話だ。
どれ、もう少し小娘の肝が冷えるように、もっとミサイルをぶち込んでおくか……
「ガレット艦長、先ほどから赤いロボの姿が見えませんが」
部下の一人がどうでもいい報告をしてきた。
「どうせ、砲撃で吹き飛んだんだろう……放っておけ！」
「……了解であります」
何だ、その不服そうな顔は……どいつもこいつもわしをどこか小馬鹿にしていやがる。わしにはお見通しだ。
その直後、突然の激しい衝撃が艦橋を襲った。
軋み、つぶれ、火を噴く艦橋と、轟音。
何が起きたのかわしには全く理解できなかったが、いつの間にかわしは艦長席から放り出され、床に突っ伏していた。
「な……なにが、おきた!?」
警報音が艦内を激しく鳴り響く中、船のクルー達がわめきちらし、走り回っている。
「何か巨大な物体が艦橋を直撃し、さらにエンジンも大きなダメージを受けた模様！　誘爆が広がっており、非常に危険な状況であります！」
意味が分からない。
一体何が起きている？　なぜこんな事になった！
「ええい、持ち場を離れるな！　立て直せ！」
わしは副艦長に命じた。
しかし、副艦長はわしの想定外の反応を見せた。
「――何を言ってるんだ、アンタ？　この船はもう沈む。分からないのか!?」
よく見れば副艦長も、ほかのクルー達も脱出用のバルーンベストを着込んでいるではないか。
「勝手な真似をするな！　艦長はわしだ！　このガレットだ！」
わしは艦長としての威厳を保つため、声を張り上げた。
「そうかい、だったら船と運命を共にするんだな！」
副艦長以下、クルーたちは、わしに向かって一瞥をくれると、炎と黒煙が満ちてきた艦橋から次々と出て行った。
「ま、待て！　貴様ら！　わしを置いて逃げる気か！」
だが、わしに返事を返す者は、誰もいなかった。
おのれ、おのれ！
何を呪えばいいのかも分からず悪態をつきながら、艦長席に供えられた

バルーンベストを取ろうと立ち上がった――
　閃光と、爆音。
　浮遊感と体を襲う衝撃。
　それが、その時わしに刻まれた、最後の記憶だった。

「……い。……るか？　死んどるのか」
　なにやら物騒な事を言うじいさんの声が、わしの近くで聞こえた。
「勝手に殺すんじゃない！」
　わしはそう叫んで飛び起きた。
　ぼんやりした頭で見回したその部屋は、廃船の一室を利用して作られた薄暗い部屋だった。
「なんじゃ、生きとるのか……だったら、さっさと起きて仕事を始めんか、ウスノロが」
　じいさんがわしを見下ろしながら、一喝してきた。
　……だんだん思い出してきたぞ。
　わしのブルズアイは「戦艦ヤドカリ」とやらに乗っ取られたそうだが、このコリーじいさんがそのヤドカリを釣り上げたらしい。その時に船の中にいたわしを助けたという訳だ。
　だが、戦艦を一隻失ったわしは、おめおめとクーパースに戻るわけにはいかず、こうしてコリーじいさんの所で仕事を手伝いつつ、厄介になっているという訳だ。
「なにをボンヤリしとるんじゃ、さっさと準備せんか！」
「へ、へい……今すぐに」
　まったく、このガレット様も落ちぶれたものだ……

◆◆◆

「おじちゃん、あまりみないひとだね」
　コリーじいさんの釣り場でジャンク品の片づけをしていた時、5歳くらいの小娘がわしを見上げて話しかけてきた。
「うるさい、わしを誰だと……」
　言いかけてわしは口ごもった。
　ここで、わしの素性がバレるのはマズい。
　わしはこのバセットにミサイルを雨のように打ちこんだ男なのだからな……それにクーパースから追手が差し向けられないとは限らん。あのブルーノならやりかねまい。

「……仕事の邪魔だ、あっちへ行ってろチビ」
「チビじゃないよ、デセールだよ！」
　デセールと名乗ったチビの小娘は、わしにあっかんべぇをして逃げて行った。
　どうも、あらゆる小娘とは相性が悪いらしい。
「なんじゃ、また孤児院の子らが、遊びに来とったのか」
「そのようで……孤児院？」
「このバセットで子供といったら、孤児院の子くらいしかおらんよ……ここは危ないから近づかんように言っておるのだが……」
　そういえば、わしがミサイルを撃ち込んだ時に、何人かガキがいたようだったが……あそこは孤児院だったのか。
　まぁ、このご時世で孤児院のひとつやふたつ、珍しくもあるまい。いちいち気にしたところで、どうなるものでもない。
「おい新入り、今度子供たちが来たら、相手でもしてやれ」
「は？　なんでわしが……」
「どうせお前じゃ、ろくに仕事もこなせんようだし、子供たちをここに近づけんようにしておいた方が、よっぽどいいわい」
　まったく、このガレット様も落ちぶれたものだ……

　翌日、飽きもせずガキどもがまたやってきた。
　今度は男のチビすけと一緒だ。面倒なガキどもめ……
「おじさん、ボクあの船みたことあるよ」
　わしはチビすけの言葉で、バクンと心臓が鳴った。
「は、はは……まぁ似たような船はたくさんあるからな」
　このチビすけ（アル、とか言ったか？）が指差した先には、数日前にコリーじいさんが釣り上げた、『ブルズアイ』があった。まだ解体はされておらず、外に放置されている状態だ。
　ヤドカリは釣った後、すぐ逃げたらしいが。
「あれ、『こじいん』にミサイルをうってきた、わるい船だよ」
　なんて物覚えが良いガキだ。
　だが、さすがにわしの事は覚えてないらしい。
「でもレッド兄ちゃんが、ぶっこわしてくれたんだ！」
　レッド？　聞いたことがあるような、ないような……
　クーパースで聞いたんだろうか？　だが、わしの推測が確かなら、あの赤いロボに乗った、クソ生意気な小僧の事に間違いない。わしが今、こんな

目に遭っているのも、全部そのレッドとかいう小僧のせいだ！
「レッドか……確か赤いロボに乗った、コゾ……ハンターの？」
　チビどもの顔が誰が見ても分かるくらい、パッと明るくなった。
「そうだよ！　おじさん兄ちゃんのことしってるの!?」
「お、おお、わしはこれでも、昔はハンターをだな……」
「へぇー！　おじさん、スゴイじゃん！」
「あぁ……まあな」
　ウソは言ってないが、これ以上は言わぬ方がいいだろう。
　口は災いの元だ。
「ボク、大きくなったらハンターになって、みんなをたすけるんだ！　レッド兄ちゃんみたいに！」
「あたしもー！」
「ふん、ハンターなんぞ、まともな奴がなるもんじゃない……それにガキども、簡単にハンターになれると思ったら大間違いだぞ？」
　腹の中がムカムカして、わしは嫌味っぽく突き放した。
　ガキ相手に、何を言っとるんだ……バカバカしい。
「ふーんだ、だったらもっといろんな冒険して、すぐにハンターになってやるんだ！」
「デセールもぼーけんするー！」
　ガキどもは二人してわしにあかんべぇをして、走り去った。
　なんなんだ、まったく……
　わしはコリーじいさんに怒鳴られる前に、仕事場へ戻ることにした。
　普通にこの状況を受け入れ始めた自分が、嫌になってくる……

◆◆◆

　それから数日間、ガキどもはやたらとブルズアイに興味を持って通い詰めていたが、やっと諦めたのか、それとも飽きたのか、今日は姿を見せなかった。
「ふん、これで仕事が捗るというものだ」
「じゃといいがな」
　また嫌味か……じじいめ。
「あ？　おぬしの事じゃないわい、子供たちの事じゃ」
　どうやら顔に出ていたらしい。
　わしは誤魔化すようにじいさんに返答した。
「ガキ……子供たちが、なにか問題でも？」
「あの子らは廃船で遊ぶのが好きでな、最近はあの船を狙っとるようじゃった……ほれ、おぬしがいた船じゃ」
「……わしに様子を見てこい、と？」
「まあ、念のためにじゃが、そうしてもらおうかの」
　全くあのガキどもめ、仕事を増やしおって！
　とはいえ、ブルズアイの中に入るのも久しぶりか……すっかりこのジャンク屋生活に慣れてしまうところだった。
「ええい、いつかまたのし上がってやるわい……ん？」
　何かグオン、グオンと妙な音が聞こえてきた。
　音はだんだん大きく響いてくる。
「なんだ、この音は……」
「おい新入り、ボサッと突っ立ってるんじゃない！」
「は？」
　コリーじいさんが、姿勢を低くして手すりをつかんでいる。

　ドオォン！

　突然、地面が激しく揺れた。
「うおっ!?」
　わしは地面に突き上げられ、無様に転がった。
「なんだ、いまのは!?」
「戦艦ヤドカリが、島にぶつかって来たんじゃ！」
　そんな事があるなんて、わしは聞いてないぞ！
「釣ったヤドカリが逃げた時、そのヤドにしていた船を取り返しに来る事があるんじゃ、見ろ！」
　じいさんが指差した先で、巨大な戦艦ヤドカリが船に潜りこもうとしているのが見えた。
　おい、冗談じゃないぞ……
　ありゃ、『ブルズアイ』じゃないか！
「うわあぁぁ……！」
　ブルズアイの方から、子供の声が聞こえた。
　聞こえてしまった。
「まさか、あのガキども……!?」
　ブルズアイは今やヤドカリに乗っ取られ、島から離れようとしている。

そのブルズアイが放置されていた場所に、二人の子供が腰を抜かしていた。一人はメガネをかけた、シューとかいうガキと、もう一人は大人しそうなガキだ。確か名前は、ビスコット……だったか？
　わしは怒鳴りながらガキどものところに駆け付けた。
「コラ、ガキども！　ここには来るなと言ってあっただろうが！」
「お、おじさん！　アルとデセールがあの船に……」
　声を震わせながらシューがブルズアイを指差した。
　最悪だ……最悪だ！
　ブルズアイを引きずりながら、ヤドカリは今にも飛び立ちそうだった。
「くそっ！　それは、わしの船だ！　返せ!!」
　勝手に体が動いた。
　船の方に走り出してしまっていたのだ。
　わしは一体、何をするつもりなんだ？
　あと、数mでブルズアイが浮き上がろうという時、わしはブルズアイの空いた装甲に飛び乗っていた。
　おい、何をやっているんだ、わしは！
　その直後、グワッと浮遊感が体を襲い、ブルズアイが再び空を飛んでいることを伝えてきた。
　ただし、戦艦ヤドカリの力によってだが。
「わしは……わしは、一体何をしとるんだ！」
　声に出してはみたが、やはり分からん。
　誰か、教えてくれ！
「コラ！　ガキども！　どこに隠れとるんだ！」
　……どうやら、わしはガキどもを探しているらしい。
　だが、何のために？
　大きく揺れはするものの、ブルズアイの構造は十分に知っている。
　ほどなく子供らが行き着きそうな倉庫で、わしはガキどもを見つけることができた。
「お、おじさん……なにがどうなってるのかボク、ボク……」
「わあーーーん、こわいよーーー」
　アルの方は我慢しているのか泣いてはいないものの、デセールはずっと大泣きだ。
　まぁ、そのおかげですぐに見つけられたんだが。
「うるさいぞ、ガキども！　さっさとここから逃げるんだ！」
　わしは、脱出用のバルーンベストを探した……が、倉庫でそれを見つけることは出来なかった。
「ない……どこにも残っとらんじゃないか！」
　最悪だ。
　おそらく、以前ブルズアイが沈んだ時に、全て脱出に使われてしまったのだろう。
「おじさん、どうやって逃げるの……？」
　不安そうな顔でアルがわしを見つめる。デセールは相変わらず大泣きだ。
　止めろ……泣きたいのはわしの方だ！
「うう……レッド兄ちゃん……助けてよぉ……」
　ふざけるな、今お前らを助けてるのは、レッドとかいう小僧ではなく、このガレット様だぞ！
　忌々しい小僧め……貴様のせいでこの船は沈められたというのに……
ん？　以前、この船が沈んだ時？
「……まだ、あそこに残っとるかもしれん！」
　わしはガキどもを連れ、急いで艦橋に向かった。
　ゆがんだ扉を引き剥がすと、懐かしい艦長席が転がっているのが目に入った。
「頼むぞ……残っとれよ……」
　わしは、祈るような気持ちで艦長席の下にあるエマージェンシーボックスを開けた。
　どうやら神様がいたとしたら、まだわしらを見捨ててはいなかったらしい。
　そこにはわしが使うはずだった、バルーンベストが残っていた！
　これを着て外に飛び出せば、自動的にバルーンが開いて二、三日は空を漂いながら救助を待つことが出来る。少々の非常食も付いている。
　ただし残っていたベストは、ひとつだけだった。
　わしが着けて、ガキどもを抱えればいける……か？
　いや、バルーンのガスは着用者が重いほど早く消費される。

下手したら、二日もたんかもしれん……
　わしは突き出た自分の腹を呪った。
「お、おじさん……どうするの？」
　アルが怯えた顔でわしを見やがる。
　汚れてない、キラキラした瞳で。
　……わしがとっくに無くしたものだ。
　わしは、手早くベストをアルに着せた。
「さあ小娘、早く来い！　……ええい、立てんのか」
　面倒なガキどもめ！
　腰が抜けて立てない小娘を抱えて、アルに抱きつかせる。
　そして艦橋内に垂れ下がった丈夫そうなコードの類を引きちぎり、ガキどもをグルグル巻きにした。
「お、おじさん！　いたいよ！」
「家に帰りたいなら、黙っとれ！」
　ガキどもが顔をひきつらせる。
　艦橋の壁は、以前の爆発のせいで脆くなっており、一蹴りすればすぐに壊れそうだった。
「ふんぬっ！」
　鈍い金属の破壊音が響き、眼前に空が広がった。
　バセットはまだ、そんなに遠くない。
「すぐに助けが来るだろうが……まあ、万が一の時は恨むなよ」
　恨むなら、レッドとやらを恨め。
「うおおおおおおおおおおおおおおお！」
「うわーーーん！」
　わしはガキどもを抱え、空に向かってガキどもを思い切り放り投げた。
「うわああぁぁぁぁ　ぁ　ぁ　ぁ……」
　ガキどもが雲海に向かって落ちて行く。
　ボンッ！
　危険高度に達したバルーンにガスが注入され、自由落下していたガキどもが、ふわふわと上昇していくのが見えた。
「ガキどもは、大丈夫だろうな……」
　お気に入りのヤドを取り戻したヤドカリ野郎は、満足げに島を離れて行く。
　そしてわしも再び、空をブルズアイで飛んでいる……
　ふと、床に落ちていた艦長帽が目に入った。
　ブルズアイが沈む時、わしが落とした物のようだ。
　よれよれの艦長帽を拾い上げ、被り直す。
「艦長として、船と運命を共にするのも悪くなかろうさ」
　壊れた艦長席に腰かけ、わしはひと眠りすることにした。

◆◆◆

　その後——
　助けられたガキどもから話を聞いて、わしを救助しに来たのは憎むべきあの小僧、レッドだった。
　なんという皮肉か……
「あれ？　おっさん、どっかで会った事ある？」
「ない！　断じてないぞ！」
　わしは素早く艦長帽をズボンのポケットにねじ込んだ。
「そ、そうかよ……まぁ、よくあいつらを助けてくれたな！　ありがとよ」
　屈託なく笑いやがる……なんてムカつく小僧だ。
「もう、良いだろ……わしは休ませてもらうぞ！」
「ああ、俺はこいつらを孤児院に連れて帰るぜ……じゃあ、お大事に！　へへッ！」
　小僧はガキどもを連れて、孤児院に向かった。
　ガキどもが振り返って、わしに無邪気に手を振っている。
「おじさん、ありがとーー！」
「ありがとーー！」
「ふん、もう廃船なんかに潜りこむなよ、ガキども！」
　まったくハンターの真似ごとは、もう懲り懲りだ。
　しばらくは、コリーじいさんに怒鳴られながら、この島で暮らすのも悪くないかもしれん。
　わしも、年を取ったということだろうなぁ……

（おしまい）

EXTRAS

MAKING OF ソラトロ本2

1 企画スタート！

デザイン室・宣伝広報室を中心に始動！「間に合わない！！」なんてことにならないよう、最初の段階で商品ごとに細かくスケジュールを立てて進めていきます。

2 コースター制作こぼれ話！

今回は、冊子にコースターとラバーキーホルダーがついたセットを企画。何種類ものラフ案から、最終デザインを決定していきます。ボツになった案は数知れず・・・デザインを担当した三好チーフ、今回もお疲れ様でした！

3 帰ってきたソラノウチの島！

ファンブック BLANCK ぶりに復活した「ソラノウチの島」。何パターンもラフを書くなど、かなり気合が入っていたソラノウチのデスクを隠し撮り！！

4 必見の3周年記念色紙！

早いもので「Solatorobo　それからCODAへ」発売から3周年。WAKA やまめ助に加え、メカニックイラストレーションを担当された谷口欣孝氏にも記念色紙を描いていただきました～
松山の執筆中の眼差しは真剣そのもの！

5 参加作家の作品が集結！さあ！本にするぞー！

今回も参加作家・社内スタッフから集まったイラストや4コマをデザイン室がデザイン・編集。色んな表情のレッドたちを見ることができて、今回も楽しみながら制作できました！

Happy 3rd Anniversary

「Solatorobo それからCODAへ」発売 3 周年を記念してクリエイターから書き下ろしのイラストが届きましたのでご紹介します！

上の色紙は、2012年1月7日(土)に行われた"ミニライブ&トークイベント「ソラトロボ感謝祭 それから2012」"のプレゼント抽選会用に描かれたもの。今回の色紙と対になっている。

たにめそ氏

イラストレーター・メカデザイナー。
「Solatorobo それからCODAへ」では、メカイラストレーションを担当。
代表作品には「スーパーロボット大戦」シリーズ（オリジナルメカデザイン）や、「サモンナイト」シリーズ（召喚獣デザイン）

ラフから入念な線のチェック！

極細のボールペンで丁寧にペン入れが進む！

ベタ面を塗ってついに完成！

松山 洋

サイバーコネクトツーの代表取締役社長。
「Solatorobo それからCODA へ」では制作総指揮を務める。
好きなソラトロボのキャラクターはメルヴェーユだったけど今はカーマイン。

WAKA

サイバーコネクトツーのゲームデザインマネージャー。
「Solatorobo それから CODA へ」ではディレクター・デザイン原案を担当。過去に開催されたイベント「ソラトロボ博物館」ではライブアートを披露し、「ソラトロボ感謝祭」ではトークイベントに登場。

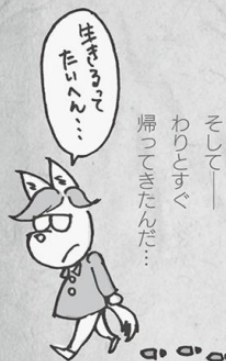
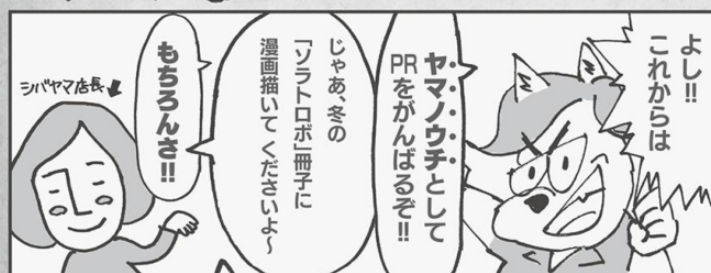
まめ助

サイバーコネクトツーのアーティスト。
「Solatorobo それからCODAへ」では3D背景、2Dイラストを担当。CC2HPで「ソラトロボ4コマ」を担当した他、CC2STOREで販売中のソラトロボグッズのイラストも手がける。

いつも応援ありがとうございます。
3周年をこのような形で
お祝いすることができました。
これも皆さんの応援のおかげです。
今後もこうして皆さんにお会いできるよう
頑張っていきますので、
宜しくお願いします!

すぐ帰ってきたソラノウチ

マンガ：ソラノウチ

※実際には、「ソラノウチ サイン会」は開催されておりません。

全てが終わった瞬間、
私は真っ白になって
あばよ…
CC2ごと引退した――
ワォーーーン
そして――
わりとすぐ
帰ってきたんだ…
生きるって
たいへん…
よし!!
これからは
ヤマノウチとして
PRをがんばるぞ!!
じゃあ、冬の
「ソラトロボ」冊子に
漫画描いてくださいよ～
もちろんさ!!
シバヤマ店長
ひらめいた!!
ソラトロボと
ヤマノウチで
ソラノウチ
でいこう!!!
え…?
ガーン
変わってなくね!!?
つづく
※つづくかどうかは
今後のソラノウチ
しだいです。

一問一答 ～WAKA・まめ助・ケモノグチ博士の場合～

「Solatorobo それからCODAへ」でディレクター・デザイン原案を担当したWAKA、3D背景・2Dイラストを担当したまめ助、シナリオ担当のケモノグチ博士に、開発当時のことや今の仕事のこと、キャラクターのことなどQ&Aを実施いたしました！

Q.「ソラトロボ」開発中の一番楽しかった・嬉しかった思い出は？

W キャラクターや、世界観のデザインイラストを描いている時。妄想は楽しい！

ま 3D背景、キャラクターのグラフィックなど色々な業務に携われたこと。

ケ 「テイルコンチェルト」から、「リトルテイルブロンクス」の世界観がやっと帰ってきた、帰ってこれたということです！

Q.「ソラトロボ」開発中の一番辛かった・困った思い出は？

W 大みそかに一人でテモグラフィックの作画をやってたことでしょうか？ちなみにその後いろいろ変更があってその時の作業、ほとんどボツりました！

ま ぱっとでてこないです。楽しかったことは色々でてきますが……

ケ 思い出せません。そんなのあったのでしょうか……？

Q.「ソラトロボ」開発当時と自分の中で変わったことは？

W 「ソラトロボ」の開発を経てイラストを多く描くようになり、少し筆が早くなったかな？

ま ケモノの描き方。まだまだ試行錯誤中です。

ケ シナリオを色々と任せて頂けるようになりました。精進します！

Q.「ソラトロボ」開発当時と社内で変わったことは？

W ケモナーが増えた？（いや、もともと多かった？）

ま 当時「ソラトロボ」を遊んだお客様がサイバーコネクトツーに入社していること。

ケ 時間が過ぎるのが早くなりました。

Q.「ソラトロボ」のキャラクターで自分がなるとしたら？

W ロッシェか新人君。

ま アメリ。

ケ そりゃあ、もうレッドに決まってます。

ロッシェ　アメリ

Q.その理由は？

W 基本、私はだらしない方なんでそんな感じかと。

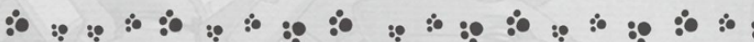
WAKA

サイバーコネクトツーの制作プロデューサー/ディレクター。

「Solatorobo　それからCODAへ」ではディレクター・デザイン原案を担当。現在は、スマートフォンアプリ「リトルテイルストーリー」でディレクターを務める。

まめ助

サイバーコネクトツーのアーティスト。

「Solatorobo　それからCODAへ」では3D背景・2Dイラストや、ユーザーズサイトに掲載された「ソラトロボ4コマ」を担当。現在は、スマートフォンアプリ「リトルテイルストーリー」でキャラクターデザインを務める。

ケモノグチ博士

サイバーコネクトツーのゲームデザイナー。

「Solatorobo　それからCODAへ」ではシナリオのほか、作品の企画全般や工程管理などを担当。

ま フリットと一日中色々な場所を遊びまわりたい!
ケ あんなイケメンにしてしまった責任を取らねば!

レッド

Q.「ソラトロボ」の世界に行ったらまず何をする?

W ココナのライブに行く!
ま ロボに乗る!
ケ あの空を飛んでみたいです。高所恐怖症ですが。

ココナ

Q.誰も知らない「ソラトロボ」の秘密の設定はある?

ケ 人類は 検閲削除 なのです。

Q.イヌヒト、ネコヒト、そのほか描くなら何ヒト?

W ウサヒト、とか? たぶんカワイイ!
ま リュウヒト。毛じゃなく鱗なヒトも描いてみたいです。

Q.イヌヒト、ネコヒト、そのほか登場させるなら何ヒト?

ケ トリヒトですね。浮島世界の覇権を握りそうです。

Q.絵を描くときに参考にしているものはある?

W インターネットで調べた写真などの資料。ネットって便利!

ま ケモノキャラクターを描くときはモチーフになる動物の写真を参考にしています。

Q.シナリオを描くときに参考にしているものはある?

ケ 雑談から広がる妄想でしょうか。一人で考えるよりも閃くことが多いです。

Q.現在、好評配信中のスマートフォンアプリ「リトルテイルストーリー」。ゲーム内にはイヌヒトやネコヒトが登場するが、「ソラトロボ」から影響を受けたところはある?

W どうでしょう?イメージを0から作っているので、そういう所はないかなぁ…。
ま ゲームのコンセプトががらっと違うので特にこれと言ってないと思います。

Q.なぜサイバーコネクトツーの作品はイヌ・ネコが多いの?

W ケモノファンが多いから。
ま 社長がケモノファンだから?
ケ 逆に考えよう……イヌ・ネコが多いからサイバーコネクトツーなのだと。

Q.ケモノのキャラクターを作るうえで大事なことは?

W ケモノのかわいさ。
ま 元となる**動物の特徴**を生かす!
ケ 動物が持つ、本能的な純粋さです。計算しすぎないこと。

Q.ケモノキャラクターが登場する作品で影響を受けたものは?

W アニメ「わんわん三銃士」。
ま 最近だとアニメ「マイリトルポニー」。
ケ ここはあえて、アニメ「獣戦士ガルキーバ」で。

Q.どんなところに影響を受けた?

W 元気でかわいいケモノキャラクターの魅力。
ま キャラクターのしぐさや表情がかわいいところ!
ケ 獣が持つ力強さと、優しさが溢れた作品ですよ!グレイファース!!

Q.読者に一言

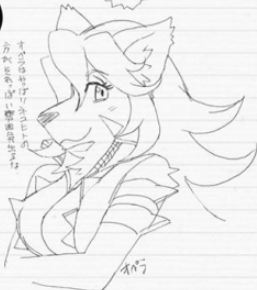
W これからもサイバーコネクトツーに巣くうケモノファン達の活躍にご期待ください!
ま これからも「リトルテイルブロンクス」をよろしくおねがいします!
ケ いつでも皆さんがこの世界に帰ってこられるように、妄想し続けたいと思います!

妄想は力なり!

イヌネコ逆転!? イラスト

**キャラクターデザイン原案のWAKA、
2Dイラストを担当したまめ助によるラクガキコーナー！**

今回のテーマは、「もしもイヌヒト、ネコヒトが逆だったら」！
そんなに印象が変わらないキャラクターから、別もの！？キャラクターまで集合です。

WAKA
イヌヒト→ネコヒト
ホネはサカナのホネに!
レッド・サハラン
なかなかイケメン!?ホネがサカナになるところはなるほど!
ショコラ・ジェラート
ポメラニアンがモデルのショコラはネコヒトでも印象は変わらない?
メルヴェーユ・ミリオン
マズルが長いメルヴェーユも好きだけど、なんだかこれはこれでセクシー?
エル・メリゼ
どこかしらボーイッシュ感が増しましたね。
オペラ・クランツ
なんだか印象が違う…オペラの妖艶さはネコヒトならではだったのですね。
ネコヒト→イヌヒト
ベルーガ・ダミアン
イヌヒトになっても、ベルーガらしさはそのまま。こっちのベルーガもかっこいい!
カルア・ナバージュ
陽気なカルアの印象はイヌヒトになっても変わらず!キャンキャン吠えるかも〜?
ショコラ
メルヴェーユ
エル
ベルーガ
オペラ
カルア

Solatorobo ソラトロボ それからCODAへ

Interview

ソラトロ本 作家インタビュー

「ソラトロ本」シリーズでお馴染みの作家さんに
「Solatorobo それからCODAへ」に出会ったきっかけや
ソラトロボ作品への想い、描き方のコツなどを聞いてみました！

DANGAN【だんがん】
漫画家、イラストレーター。主にソーシャルゲームや成年向漫画で活動している。

Q1 「ソラトロ本」シリーズに参加したきっかけを教えてください。

コミカライズ作家を募集されていたのをTwitterで知って、応募したことがきっかけです。ソラトロ本の前身である「ソラトロボファンブック」シリーズにも参加させていただいています。

Q2 「ソラトロボ」をプレイしたきっかけを教えて下さい。

「テイルコンチェルト」のファンだったので同じ世界観の作品ということでプレイしました。ワッフルやアリシアたちもチョイ役で登場していたので嬉しかったです。

Q3 「ソラトロボ」をプレイして一番印象に残った場面を教えてください。

エルのシャワー…げふんげふん！
えー、気合の入った作画のアニメパートがとても良かったです！ゲームとしてはダブレン群島がプレイしていて楽しかったですね。

Q4 「ソラトロボ」で一番好きなキャラクターは何ですか。

エル、ショコラ、オペラ、メルヴェーユ、フロマージュ。
一番は決めづらいけどあえて選ぶなら…メルヴェーユさんかな？

Q5 「ソラトロボ」の絵を描く時に意識していることはありますか。

「テイルコンチェルト」から通底するリトルテイルブロンクスのコンセプトを（自分なりにですが）読み解き、その文脈から外れないように気をつけています。

Q6 普段、絵を描く時に参考にしている書類や資料はありますか。

いろいろな漫画作品から線の引き方や色の塗り方、あるいは漫画的記号の使い方などを勉強させていただいています。

「ソラトロ本」掲載

ソラトロボファンブック第5号 「ROUGE」掲載

Interview
ソラトロ本 作家インタビュー

外竹【たとたけ】

「たとたけ」と読みます。
胸毛をワシャワシャされた犬が後ろ足をかきかきするのが大好きで、Adobe PhotoshopとComicStudioを動力源として生きています。北海道出身の影響か、イラストに自然を織り込めると幸せを感じます。

Q1 「ソラトロ本」シリーズに参加したきっかけを教えてください。

「ソラトロボファンブック」シリーズに参加させていただいた勢いです。
表紙にまで使っていただいて、もう家宝でございます。

Q2 「ソラトロボ」をプレイしたきっかけを教えて下さい。

CM100連発や月刊ソラシドなどが期待値を高めてくれましたし、キャラクターデザインに結城信輝さんの参加も決定打でございます。予約した「Solatorobo それからCODAへ」のコレクターズエディションを取りに行くときのドキドキは恋のようでしたね。

Q3 「ソラトロボ」をプレイして一番印象に残った場面を教えてください。

OPの盛り上がりです。
OPが良いゲームはやる気スイッチを入れてくれます。
開発側の気合いが感じられる部分でもありますし、第2部にもOPがあって惹き付けてくれるなコンチクショーと思いました。

Q4 「ソラトロボ」で一番好きなキャラクターは何ですか。

レッドとエルのキャラ位置付けが好きです。
でも心はメルヴェーユさんに捧げています。

Q5 自分が「ソラトロボ」の世界に入ったら何がしたいですか。

メルヴェーユさんのお手伝いをッ…いやいや、ロボに乗りたい！

Q6 イヌヒト、ネコヒトになるならどちらがいいですか。また理由はなんですか。

客観的に自分はネコだと思いますが憧れるのはイヌヒトなので、イヌヒトに憧れるネコヒトでしょう。

Q7 「ソラトロボ」の絵を描く時に意識していることはありますか。

どんな時も愛らしさが漂うキャラクターたち、洗練され過ぎないマイルドなメカニック、クリステル機関や呪術のモチーフも大切。

Q8 普段、絵を描く時に参考にしている書類や資料はありますか。

設定資料は書籍を購入しますが、通常はネット情報で済ませます。
あとはケモノが登場するDVD流してテンションを上げればOK。

Q9 あなたにとって「ソラトロボ」とは？

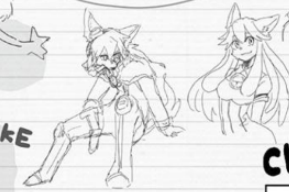
ご褒美です。

「ソラトロ本3」掲載

「ソラトロ本」掲載

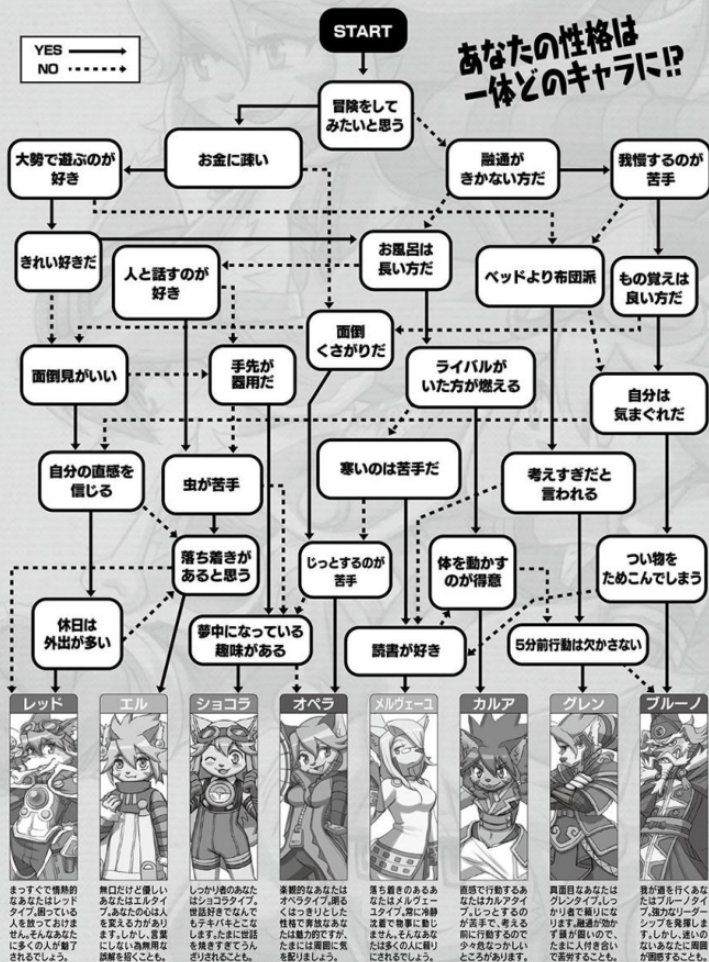
ソラトロボファンブック第4号「VERMILION」掲載

ソラトロボ
妄想イラスト
サイバーコネクトツースタッフによるラクガキコーナー。
「ソラトロボ」キャラクター達を好きに妄想しちゃいました!!
セクシー系から男女逆転、シチュエーションものまで、
個性溢れる妄想キャラクターの集合です♪
エロ崎
普段はリードアーティストとしてマジメに勤務。
"エロ崎"になるとその妄想力は計り知れない。
大人に成長!!
大人になったエルとショコラ。そして
ココナちゃん!みんな女性らしく
成長しました!!
おんなのこ
♀に変身!?
女の子になったベルーガ特集(!?)
エルとの2ショットがセクシー♥♥
ためしに
ベルーガ兄さんを
女体化
してみる実験

性格が…？
ビシッ！とまじめなカルアと、チャラ～いグレンの妄想までも(笑)
メルヴェーユ(男性)
オペラ(男性)
性別反転!?
あのメルヴェーユとオペラが女性ファン多しのイケメンルックスに！！そして、おしゃれなレッド姉さんと、かわいい弟ショコラ。弟の方がしっかりしてそう。
姉レッド
弟ショコラ
そんなコトはない
まめ助
「Solatorobo　それからCODAへ」では3D背景・2Dイラストや、ユーザーズサイトに掲載された「ソラトロボ4コマ」を担当したアーティスト。
こどもに変身!?
顔に傷のない幼少期ベルーガ。お姉ちゃんっ子という妄想がっ…！
ぽっちゃり化
エルがぽっちゃりとした体に！視線の先には美味しそうな魚が？
大人に成長!!
chamの場合で大人バージョン。エルはなんとメガネ付き！！
壁ドン
OMAKE
cham
ゲームのモーションを手掛けるアーティスト。今回は「ぽっちゃり」や「壁ドン」など個人の趣味が反映されているよう。

キャラクター診断

あなたは誰タイプ？
「ソラトロボ」のキャラクターにたとえてあなたの性格を診断します！
「YES or NO」にしたがって進みましょう！！

たにめそ＆WAKA スペシャル対談
SPECIAL TALK

「Solatorobo それからCODAへ」の発売5周年を記念し、メカイラスト担当のたにめそ氏と、ディレクター・デザイン原案担当のWAKAの対談を実施。開発時の思い出やデザインのこだわりから、2人のロボ愛まで盛りだくさんの内容です！

たにめそ Profile

イラストレーター・メカデザイナー。「Solatorobo　それからCODA へ」では、メカイラストレーションを担当。代表作品には「スーパーロボット大戦」シリーズ（オリジナルメカデザイン）や、「サモンナイト」シリーズ（召喚獣デザイン）

WAKA Profile

磯部 孝幸。サイバーコネクトツーの制作ディレクター。「Solatorobo それからCODAへ」のデザイン原案も担当。イラストレーター「WAKA」としても活躍中。

イヌもメカも大好き！ これやりたい！って 思っていました(笑)。

WAKA　2015年の10月で発売から5周年、早いものですね。「ソラトロボ」の企画を初めて聞いた時のファーストインプレッションって覚えていますか？

たにめそ　私がお話をいただいた時にはすでにサイバーコネクトツーさんの中でかなり緻密に世界観が組みあげられていました。企画書を拝見して、一目で伝わるワクワクする感じに惹かれて手伝わせていただきましたね。

WAKA　そうでしたね、企画書ができていたのでそれを元にお話をしました。その時は確かまだタイトルが「CODA」だったんですよね。

たにめそ　実は、もともとは別の作品のデザイン制作でお声がけいただいていて、その中でいくつか絵を提出していたら「今動いている別の企画（「ソラトロボ」）のほうが向いていそう」という感じで、ソラトロボチームの方と顔合わせさせてもらったんですよ。

WAKA　そうでしたね（笑）。ばっちりテイストが合っていましたので、顔合わせ後すぐお願いしました。

たにめそ　イヌもメカも大好き！これやりたい！って思っていました（笑）。制作を始めてからは、デザインのイメージはかなり詰められていたので、あまり苦労はありませんでした。ただ部分的に、簡単なラフとゲーム中の3Dモデルしか存在しないものもあり、そのあたりは細部を描き足したりして手を加えさせていただきました。『「サラマンデル」の腕からシリンダー出していいですか？』とか、『出すならここから出しましょう』という感じで確認しながらやりましたよね。

WAKA　序盤は社内である程度デザインを決めてからブラッシュアップをお願いしていたのですが、ゲーム内の世界観がしっかり共有できてからは、かなりたにめそさんにお任せしていましたよね。細かい部分を提案いただいたので、デザインにリアリティとか存在感がぐんと増しましたよね。

たにめそ　基本的には、ゲーム中に登場するメイン級のロボは「サラマンデル」を除いて〝ドラゴン〟がモチーフになっているので、その辺を押さえたうえでディテールを増やしました。あとは、ちょっと泥臭い、鉄と油のような雰囲気の前半ロボと、サイバーで上位文明的な後半のロボの描き分けは意識しました。

熱いですね…「ソラトロボ愛」を感じます！

でもそういう描き分けはラフの時点であったので想像しやすくてやりやすかったです。

WAKA　始めの段階で世界観が共有されていたので結構スムーズに進みましたよね。

たにめそ　そうですね。デザインで苦労した点というと…「ダハーカ」は腕が細かく関節の分かれた独特の形状なのでポーズをつけるのが大変だったところでしょうか。
あ、そうそう、オペラのロボ「ティアマト」はもともと全然違うデザインでしたよね。

WAKA　そうでした、始めはヘビっぽい感じにしようと話していましたが迷走して…最終的に高飛車で大人びたオペラの性格を表現し、「和」のイメージでまとめると決めてからは早かったですよね。

たにめそ　デザインは方向性が決まるまでが大変ですよね。決まったら早いんですけどね。

WAKA　そうそう！たにめそさん、弊社の開発室内で作業されたりしていましたよね(笑)。

たにめそ　一人で作業すると煮詰まってしまうので、同じ作品に携わっているみなさんが仕事をされている近くで緊張感を感じながら作業したかったのと、すぐその場で気になる箇所を話したり、チェックしてもらったりできるので…。

WAKA　たにめそさんは色んなメカイラストを手掛けられていますが、「ソラトロボ」の世界観ならではのデザインのこだわりなんかはありますか？

たにめそ　普通はロボってヒト型が多いですよね。ヒト型は背骨に沿って〝S〟型にデザインすると綺麗なのですが、「ソラトロボ」は前述のとおり、ゲーム中にメインで登場するロボはドラゴンモチーフです。前傾姿勢のフォルムを尻尾でバランスを取り、さらに前方に操縦席があるのでそれを踏まえてバランスを調整する、というところでしょうか。

A

対談中に描かれた、たにめそ氏の大好物全開の“3体合体”！ティアマトを軸にオーバーメフィスト、メフィストTAが両腕に可変合体した巨大ロボのイメージだ！

たにめそのらくがき

WAKA　そうですね、バランスは重要ですね。あとはゲームシステムとして〝掴む〟ということがポイントなので、手を強調したデザインにしてもらいましたよね。

たにめそ　そうですね。あと、勢力や所属別に視覚的に特徴があるので、描き分けがしやすかったです。「サラマンデル」のようにヒト型だったり、「テイルコンチェルト系」のように顔がなかったりするものは、主人公たち（ドラゴンモチーフ）とは別のグループだというのがパッと見た目でわかるので良いアイデアですよね。

WAKA　見た目で相関図が見て取れるようにしました。そんな色んなロボが出てくる「ソラトロボ」ですが、中でもお気に入りのものはありますか？

たにめそ　「ダハーカMk2」ですね。オレンジでちょっとやぼったいノーマルダハーカから、ボディの色調に一気に白の面積が増えて清潔感が増した金色の突起が、わかりやすくパワーアップを示していて一番好きです。あとは、「サラマンデル」。両腕のリボルバーと胸部ライフルギミックがたまりません！エアレース用のアタッチメント群も好きです！どれも個性的でわかりやすくてすばらしい！

WAKA　僕は「ダハーカMk2タイプΩ」が好きです。禍々しく威圧感のある漆黒と深紅のデザインが〝最強〟な感じですよね。

たにめそ　あと、好きなキャラクターは3バカ（オペラ・グレン・カルア）ですかね。特にオペラ様！カルアは途中まで女の子と思っていました。メルヴェーユさんの大人の魅力や、フロマージュさんのどこにでもいる感じも好きです!!

WAKA　熱いですね…「ソラトロボ愛」を感じます！ところで、たにめそさんは絵を描くときに参考にしているものとかってありますか？

たにめそ　上手いなと思った方の絵はちょいちょい保存しておいて塗り方とか参考にします。空想の生き物やロボなんかも、近い生き物や現実のバイクや重機を見て部分的に使えそうなら落とし込んだりしていますね。

WAKAのらくがき

C
WAKAによるらくがきイラスト。ゲーム本編では見られなかった近接武器を持ったミリタリー色の強い雰囲気で描かれている。

B
これまた、たにめそ氏がエアロボ仕様の飛行形態に変形できるイメージで描いたもの。しっぽ部分が機首になるなどアイデア満載！

WAKA　僕も結構インターネットで調べた写真などは参考にします。

たにめそ　インターネットは便利ですよね。

WAKA　では最後に、「ソラトロボ」の世界に最新ロボが登場するならどんなものになると思いますか？

たにめそ　何と言っても3バカのメカをバージョンアップさせて〝3体合体〟ですね。オペラ機を中央に、カルア・グレン機をそれぞれ腕にすればわりと簡単に実現できそうかなと思います（図A）。あとはエアレースモードに変形する「ダハーカMk3（仮）」とか（図B）！ロボット物のパワーアップといえば〝変形〟と〝合体〟がお約束なので！メルヴェーユ様の科学力ならなんとかなるでしょう。

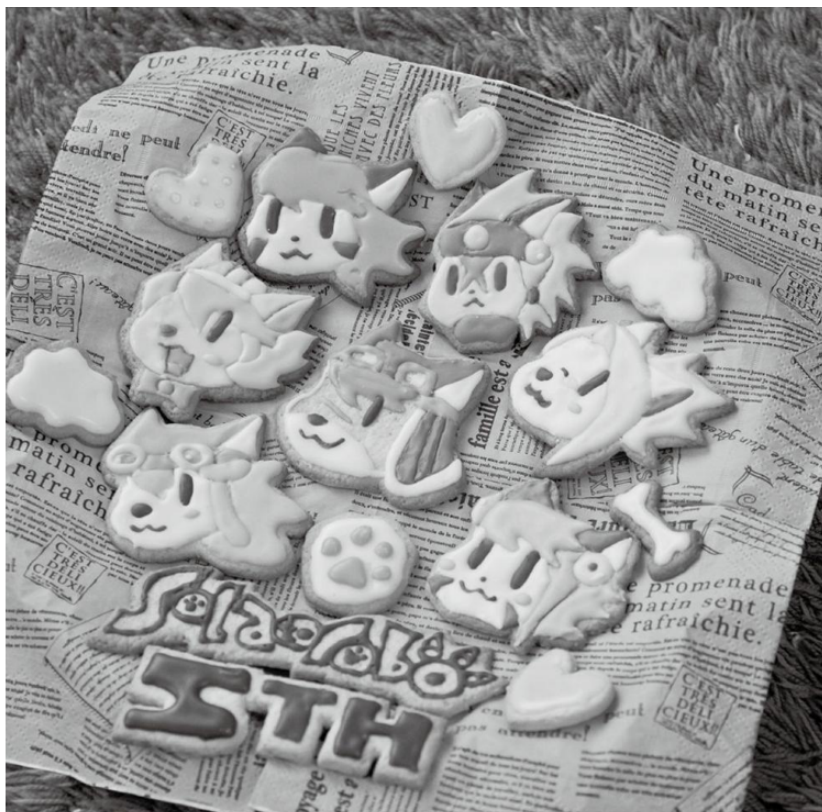
WAKA　変形と合体はロマンですよね！〝3体合体〟機いいですね！でも、「ここはこう変形して、こっちと合体してこうなるから…」とか考えていたらデザインが難しそうです…。
僕はロボを描くときはフォルムから描くんですよ。粘土をこねるような感じで、大きなところから細かいパーツを付け足していくイメージです。

たにめそ　描き方も人それぞれ個性が出ますよね。

WAKA　僕が描いたロボはミリタリーぽい感じで、持っている剣で攻撃します（図C）。
作品中では、〝掴む〟というゲームの性のこともありほとんど武器を持たせていなかったので剣を持たせました。

たにめそ　いいですね、カッコいい！いやーロマンが広がりますね（笑）。この続きは飲みながら「ロボトーク」でもしますか！

WAKA　いいですね、少年の心が蘇ります！「ソラトロボ」開発当時もこんな感じで「ここはこうじゃなくて、こういうパーツを付けた方がカッコいいんじゃないか」など色々話しながら作っていたのを思い出しました。
まとめますが…（笑）、あれから5年、僕たちがこうやって愛情込めて作った作品をたくさんの方に遊んでいただけて嬉しい限りですね。

たにめそ　本当に長く作品を好きでいてくださっている皆様に感謝です！

ソラトロボ 5周年記念 アイシングクッキーを作ろう！

シェパルド共和国のみんなをカラフルなアイシングクリームでクッキーにかわいくデコレートしたよ！
簡単にできる手作りクッキーにチャレンジしてみよう！

道具

<クッキー>
- めん棒
- ラップ
- クッキングシート

<アイシング>
- 紙コップ
- 絞り袋
- つまようじ
- ティースプーンなど（かき混ぜる物）

材料

<クッキー>
- クッキーミックス ×200g
- 無塩バター ×40g
- 卵 ×1個

<アイシング>
- 粉糖（シュガーパウダー）×200g
- 卵白　卵２～３個分
- 食用色素（黒・赤・黄・青・緑）× 各１
- レモン汁 × 適量

※道具はだいたい100円ショップで揃います。材料はスーパーの菓子材料コーナーで手に入るものばかりです。

クッキーを焼く

① クッキーミックスと無塩バター、卵を混ぜてなめらかな生地になるまでよくこねます。

② オーブンを170℃に予熱しておきます。

③ 丸めた生地をめん棒で4mmぐらいの厚さに薄く伸ばします。
ラップ越しに伸ばすと、生地がめん棒にくっつかずにスムーズに伸ばせます。

④ 伸ばした生地に、切り抜いたキャラクターを置いて型どおりに切り抜きます。

⑤ クッキングシートを敷いた天版に④を並べ、170℃のオーブンでおよそ15～17分焼きます。

下準備

① キャラクターのイラスト素材を準備します。

② 作りたいクッキーの大きさに出力します。今回はキャラクターの顔が6～7cm前後ぐらいの大きさで出力しました。

③ キャラクターを切り抜きます。

アイシングでキャラクターを描く

① 紙コップに粉糖を入れ、卵白を少しずつ加えながら練っていきます。縁取り用の「かため」を意識したアイシングクリームを作ります。アイシングクリームが硬すぎる場合は卵白を足すかレモン汁を加えて硬さを調整します。

② ①に食用色素で色を付けます。つまようじの先に少しだけ食用色素を乗せて混ぜるだけで色が付きます。少しずつ加えて色の濃さを調整しましょう。ちょっと色が濃いかな?と思うぐらいがちょうどよい色味になりました。逆に、色が淡いとパステル調でやわらかい印象に仕上がります。色の濃さはお好みで。

③ 冷まして熱を取ったクッキーに、「かため」のアイシングクリームでキャラクターの縁を描いていきます。
絞り袋に入れて描く、というのが主流ですが、自己流でつまようじを使って描きました。
1パーツずつ、見本のイラストを見ながら慎重に。

④ 縁を描いたら、次は中に「やわらかめ」のアイシングクリームを絞り袋に入れて流し込みます。狭い範囲はつまようじでアイシングクリームを乗せてもOKです。
アイシングクリームは、「かため」「やわらかめ」と言っていますが、作っているうちに自分で描きやすい硬さを心得てきますので、最初はいろいろ試してみましょう。

⑤ 同じ色を使うキャラクターが複数ある場合は、並行して描いていきます。細かいところをつまようじで整えます。

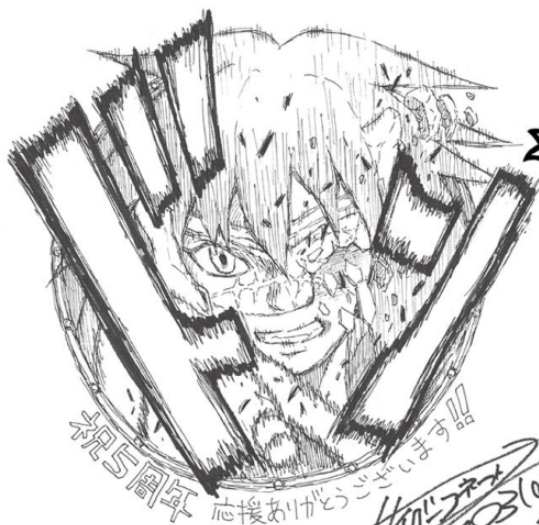
⑥ ①～⑤を繰り返し描いて完成。「5TH」の文字も飾って、5周年記念アイシングクッキーの完成です!

簡単!色の作り方

ベースのアイシングクリームに食用色素を微量ずつ加えながら色味を作ります。
白→クリームの素の色
ピンク→赤
グレー→黒
紫　→赤・青
薄橙→黄・赤(黄が多め)
オレンジ→赤・黄(赤が多め)
茶　→緑・赤・黄

ポイント

・時間が経つとアイシングクリームが固まってしまうので、同時に何色も作らずに、1色ずつ作ります。

・1キャラクターずつ色を作るより、複数のキャラクターの同色を並行して塗りながら作ると効率よくできます。

サイバーコネクトツーのスタッフによる5周年記念メッセージ!!

『Solatorobo それからCODAへ』も発売から5年！
当時のサイバーコネクトツー開発スタッフより、
応援してくださっているファンの皆様へ
感謝のメッセージをお贈りします！

※「ソラトロボファンブック コンプリートコレクション」に掲載されている夏村の担当コーナー。

祝 Solatorobo 5 anniversary

ソラトロボファンブック「LAST ORDER」でコメントを
書かせて頂いてから早3年! ソラトロボ5周年!!
開発当時の事を思い返すとやっぱり「楽しかった」と
いうのが1番に出て来ます。懐かしいなぁ。
皆さまの心に何かひとつでも思い入れのあるクエスト等が
あると嬉しいです。

Solatorobo 大好き!!

プログラム担当 宮寺美由紀

ソラトロボ5周年!
いつも応援ありがとうございます。
もう5年もたったのか、というのが正直な感想です。
色々と苦労をしながら"想い"を込めて作った作品の
そんな"想い"を受けとめて下さる人達がいる。
とても幸せな事だなと感じています。 プログラム担当 そやの

ラフテース!
5周年を迎えました。
応援ありがとうございます!
これからも皆様あってのソラトロボです!
グラフィックデザイン担当 TOMI NAGA

祝 5周年!!

ということでソラトロボのプロジェクト
フォルダをのぞいてみました。
一番最初に作った曲は、なんと
「緑の音 ビズテ」
作曲日は2007年4月20日。もう8年も
経っているんですね。
長く愛される作品に関われたことが
とても嬉しいです。
LieNの歌「それから CODAへ」共々
これからも長く愛されますように♪

LieN-リアン-作詞・作曲 chikayo

5年ですかー!! 早いですね、ほんと。
あらためて過去4周ソラトロ本読み返しました。
やはり"愛"にあふれた作品という
印象は変わらずとてもほっこりします。
ちなみにキャラクター診断はオペラでしたが
まあ何と言っても「LieN = ココナちゃん」でしょう(笑)
またみんなでココナちゃんコールで
盛り上がる日を楽しみにしています。

LieN-リアン-ボーカル mizuki Tomoyo

祝5周年!
もうあれから5年ですね…
今まで応援して頂いた皆様
に感謝! そしてこれからも
引き続きヨロシクです!
サウンド担当 ろくだ

祝5周年!
多くのお客様に応援を頂けて
Solatorobo は幸せな作品です。
この作品に携われた事を光栄に思います。
応援して頂いた皆様の声を胸に
これからの開発をガンバっていきます。
今までたくさんの応援をありがとうございます。
これからも Solatorobo の世界を
好いて頂ければ幸いです。
篠本 秀基
グラフィックデザイン担当

ソラトロボを応援し続けて
下さっている皆さまには
本当に感謝です!
このタイトルの開発に
参加出来て本当に
良かった!!
グラフィックデザイン担当 久保良一

to be continued...

開発者たちのよもやま話

Twitterにて募集したユーザー様からの質問にお答えしながら、当時の開発秘話や今後の野望について、熱く語り合います!!

Q「リトルテイルブロンクス[※1]」の新作はまだですか?

（がんこちゃん（四つ脚 @Zaki86560723 さん、瑞扇 @shanha_ineet さんなど他数名）

松　現実的な話をすると、やるんだったらまず『ソラトロボ』でちゃんと実績をつくってからじゃないと、難しいね。

ケ　確かに。

松　で、『ソラトロボ』ってみんなもう忘れてるかもしれないけど、これニンテンドーDS（以下DS）用ソフトだからね?

W　5年前ですもんね。

松　New 3DSでもなく3DSでもなく、DSだからね!?

ケ　そうですね（笑）。

W　……（やりたい表現に対して）スペックがカッツカツですよ。

松　そもそも。あのころの時代……開発期間が長すぎたっていうのもあって。着手自体は早かったんだけど、そこから3年やった。

ケ　その間にプラットフォームが次々と新しくなり……。

松　そう、3回ぐらいプラットフォームが変わって。DSだけでね。で、途中でDS Liteも出て。

ケ　DS iに対応してくれませんかっていう要望もありましたね。

松　そうそう、途中で。3年もかけりゃね、そりゃハードも進化するよ。

W　なりますわな（笑）。

松　DS用ソフトとしては後期に出たタイトルだったからさ、だから発売から5年経った今となってはずいぶんとハードも進化もして。

W　当時のゲーム機のスペックの範囲内では、『ソラトロボ』の構成だったり物語だったり、遊びの幅を最大限に出すことがなかなか難しかったですね。

松　基本キャッチして投げ返して、掴んで持ち上げて投げ飛ばすっていう、それの繰り返しでゲーム性がすごく幅狭いものになって。その中でやれることをカスタマイズ含めて思いっきりやったけど、なかなかこう……たとえば今3DS・New 3DSでリメイクするってなるとやれることがいっぱいある。

W　そうですね。

Member

ケモノヅチ
ゲームデザイナー
（開発当時：シナリオ担当）

WAKA
ゲームデザイナー
（開発当時：ディレクション＆デザイン原案担当）

松山洋
代表取締役
（開発当時：エグゼクティブディレクター）

Solatorobo

松　そういうゲームとしての部分を、ちゃんと作りこんだ『ソラトロボ』のリメイク……そして続編は開発者としてはつくりたい気持ちはあるね。据え置き機でリメイクしてさ。

ケ　DSって2画面仕様になってるじゃないですか。なので縦画面ムービーを作りましたし。そこは…

松　それは据え置き機で演出し直さないといけないよ。リメイクだから、つくり直すことになる。リマスターじゃないからさ。

ケ　正直、つくり直した方が早いですね。

松　つくり直した方が早いし、そういうのはアリかなって思うけど。
……ただ現実的な話をすると、まともな正攻法じゃ『※1リトルテイルブロンクス』、そして『ソラトロボ』のリメイクや続編というのは権利や市場を考えると難しいね。
だったら、完全に新しい世界、〝『ケモノ』と『浮島』と『ロボ』の世界〟で、完全新作をサイバーコネクトツー(以下CC2)でパブリッシングをして作るのが一番近道だと思うよ。その代わりリスクは全部自分たちのものだからさ。

ケ　リスクを考えると、スマホアプリになってくるんですかね。

松　うーん、だけどそっちは求められてないことはこれまでの実績でわかった。やっぱりマニアックな世界じゃん。『ケモノ』はさ。これは自覚しないといけないことなんだけど、ソーシャルゲームにマニアックは合わない。ソーシャルはソーシャルだよ。

ケ　わかります。

松　日々お客様が入れ替わるソーシャルゲームだからこそ、〝マス向け〟というポイントが大事で。つまり、ひとたび広告を打つと大多数に対して響くから効果があって。広告を見て何万人何十万人という人たちが新しいお客様になってくれるからこそ、広告費用をかけられる。何億もお金をかけてドーンと広告を打ったところで振り向くのはほんの何人か、それがマニアックだからさ。
だから、『ソラトロボ』のような作品は家庭用ゲームで一部の熱量の高いお客様に向けて色濃く、それでもちゃんと商売としてできる座組みで企画をしないと。だからソーシャルゲームには向いてないよ。家庭用ゲームでガッツリ作って、あとはどう採算をとるかっていうつくり方でいかないと。

W　そうなるとダウンロード専売ですかね？

松　うーん。

ケ　リスクを考えると……。

W　PlayStation®Vita(以下Vita)も対応してXbox 360(以下360)も、PlayStation®3(以下PS3)も基本的に……そこまで対応すれば客層的には……。

ケ　……※2STEAMも。

松　確かに。日本国内での客層のことを考えるとスペック的にVitaベースでつくって、それでPS3でも動くから、イコール360でも動くし。まぁSTEAMもいいけど、なかなか海外は厳しいと思う。本当に日本のニッチな世界だから。
同じ感覚のものをいうと、他社が出した、ある美少女モノのゲームがあってさ、マニアック中のマニアックだよ。そんな作品だけど3機種対応で出して成功してる。十分に採算が狙える作品になってる。それは、パッケージ売りだけどね。その会社はシリーズものも含めて一つのこと(美少女モノのゲーム)をずーっとやり続けてるから、ノウハウもたまるし。

ケ　女の子キャラクターの扱いなら任せろっていう感じですね。

松　いや、俺の方がもっと良くしてみせる。

W&ケ　(笑)。

松　だから、打ち出し方は工夫しないと。で、ダウンロード専売だと足りないと思う。ダウンロードって、海外の方たちのお財布は主にクレジットカードだから払うことに全然抵抗がないんだけれども、日本って結局パッケージが主流なんだよ。
日本って狭い島国だからお店が近くにあるけど、海外ってお店が遠い。車でいちいち……しかも週末にならないとお父さんが車を出してくれないとかっていうのがあるからすぐに買いに行けない。だから、今日発売で、今ネットにアクセスすると買えるっていうんだったら、今買いたいから、今遊びたいからダウンロードして買う。しかもクレジットカードをみんな持っている。だから海外はダウンロード販売が合ってるんだよね。日本って結局お店で買う文化が主流で、ダウンロードでクレジットカードで買うってなるとみんな嫌がるじゃない。
だから、もしWAKAが言う複数機種対応でいくのであれば、販売方法は基本パッケージありきで。まぁ、今からPS3のパッケージを出すのかっていうのはちょっと気になるけども、人がなるだけ持っているハードでってことならやってもいいかなと思う。ケモノジャンルがマニアックっていうのは認めたうえで。だから、複数機種対応。

W　フルで行くとPS3・Vita・PS4・Wii U…ですかね。

松　そうだね。
ただ、移植することが容易くやれるんだったら、機種はなるだけ増やしていいし、それに加えてダウンロード販売もやっていいと思う。
複数機種対応にして、合計販売数で採算が取れる座組みでスタートしないと難しいね。
で、『ソラトロボ』が狙い目なのはこれから先だと思う。今もう発売から5年でしょ？5年経ったってことは、中学生の時に『ソラトロボ』を遊んで、それからゲーム会社に入社する人が出てくる。

W&ケ　そこですか(笑)。

※1 リトルテイルブロンクス…CC2が贈る、イヌやネコが擬人化された世界観。
※2 STEAM…PCゲームやPCソフトウェアのダウンロード販売を行うプラットフォーム。

松　そうそう、そこだよ?そういう人たちを仲間にしないと。

ケ　ウチの社内にも結構いますからね。

松　そう、学生の時にCC2のタイトルを遊んで、CC2に入社したいと思って入ったスタッフはたくさんいる。それだけ時間が経って、長くやってるっていうことはそういうことなんだから。で、"もし『ソラトロボ』をやるのならCC2だ"ってみんなわかってくれてる。『ソラトロボ』はパブリッシャーであるバンダイナムコエンターテインメントさんのものだけど、みんなCC2じゃないとつくれないってわかってくれてるからさ。だったらこれから入る新しい人間を巻き込んで、その人の熱量とCC2の熱量で新たな立ち上げをやるっていう気持ちでやってかないと。これまでインタビューやブログ、あと手記でも書いたかもしれないけど、5年10年は待つ気持ちでやらないと。俺らが選んだ『リトルテイルブロンクス』の道っていうのは、それぐらいハードルの高い道だから。それでも諦めないんでしょ?お前ら。馬鹿だから。

W&ケ　そうですね(笑)。

松　ね、俺とおんなじで(笑)。じゃあそこは時間かけたっていい。ファンの方々には、お待たせすることになるかもしれないけど。いい作品で返せばきっとご理解いただけると思うし、「今じゃないと遊ぶ気はないよ」って言うような方たちでもない。俺らだってそう、「今年つくらないんだったらもうつくらない」なんて思わないでしょう?諦めるつもりだけはない。この世界を、『ソラトロボ』が10年かかったように、虎視眈々とその次のウェーブを見据えて、俺らが諦めなければ新作は必ずつくる。やるでしょ?

W　やりますね。

松　でしょ?ってことは『リトルテイルブロンクス』はいずれ形にするから。

W　そうですね、虎視眈々と。

松　時代は少しずつ変わってくる。5年前の『ソラトロボ』が発売された時スマホはなかったし、市場も今とは違ってた。これからも市場は変わると思うから。それぞれの市場に最適化した形でつくっていきたいね。ただどの道、俺らがやる『ソラトロボ』……『リトルテイルブロンクス』に持っている熱量、世界観だったり、ドラマだったり、遊びの部分の根っこのところは変えるつもりはない。ケモノがいなくなることはないし、ロボがいなくなることもない。そこはブレないと思うから。最大限に効果が発揮できるタイミングと座組みっていうものを目指して虎視眈々と狙っていきましょう?

ケ　はい。

W　ですね。

Q 海外からの反応で、印象的だったものがあれば教えてください。

(タモ @akvo_planedo431 さん)

松　海外販売はアメリカ4:ヨーロッパ6くらいの割合かな。

ケ　フランスが多めなんですね。

松　市場的にヨーロッパではフランスが一番大きいから。海外販売は、ゲームとしてクオリティが高くてすごくよくできてると評価されて決まったんだけど。でも、クオリティの高いゲームとして評価されても、さすがに『ケモノ』って……(苦笑)。

ケ　やっぱりそこですか(笑)。

松　フランス人もドイツ人も、ヨーロッパの方々……結局一般の人にとってはハードルが高すぎた。

ケ　海外の方がケモノジャンルはいけるかなと思ったんですけどねえ。意外とそうでもなかった。

松　『ケモノ』じゃなくて『動物』だったらいけるんだよ。

ケ　ああ。ケモノ度合いが……。

松　DisneyとかPIXARの作品を見ると、動物は動物として出てくるよね。『ソラトロボ』は違う、イヌヒトとネコヒトといった"人間と動物の間にいるもの"なんだよね。この時点でファンタジーが過ぎて、海外のほんっとうに一部の方達しか振り向いてくれなくて。

ケ　なるほど(笑)。

松　だから、これはもう認めよう。どうやら世界的にも立証されたのが、俺らが大好きなこの世界観っていうのは……

ターゲットが狭すぎる。

どこでメジャーを目指していくか。この世界で。そこは、『ソラトロボ』に限らず、『リトルテイルブロンクス』がずっと持っている大きな課題だと思う。で、時代のタイミングとハードの違いもあるけど、それぞれの反応を比較してみた結果、『ソラトロボ』より『テイルコンチェルト』の方がメジャー感はあった。遊べる冒険の幅ってところも含めて。『ソラトロボ』はもちろんそれ以上を目指してやった……

W　戦艦つりとか、いろいろやりましたね。

松　ああいう破天荒なことこそ、据え置き機でやりたい。左腕のアンカーのチェーンでバーンとヤドカリに投げて打って、そこからガバアっと釣り上げる豪快な感じって携帯ゲーム機の小さな画面で出すのは難しい。

W　限界がありますからね。

松　大空を飛ぶっていうことも含めて。携帯ゲーム機としての戦略はもちろん持ってたけど……。まぁ、俺ら、携帯ゲーム機向かないのかもね(笑)。

W　据え置き機のほうが、僕達のこだわりを形にしやすいというのは確かかもしれません。

松　どうしてもお金がかかってしまうけど。……時間もね。ガッツリやるつもりで、それだけの覚悟を持って、やらないと。で、海外でもこの世界観が好きな人は多数派ではないってことが分かったから。

W&ケ　(苦笑)。

松　日本国内の濃いお客さんをまず中心に。その後、世界中のケモノ好きに振り向いてもらう。そういった人たちが絶対に振り向く内容でなおかつ……『ソラトロボ』より『テイルコンチェルト』のようなメジャー感を出す。マニアック度数は振り切ったと思う、『ソラトロボ』で。

W&ケ　そうですね(笑)。

松　やりすぎたから。だって時間があったんだもん。10年やったからさ！

W　アハハ(笑)。

ケ　ここまでやったら危ないよっていう境目はわかりました。

松　そう、分かったよね？もう分かったよね！
だから次はもう少しメジャー感を出して戦略を持って広めないと、ビジネスにならないよ。
……述べで何万人いるかな……。

W&ケ　ふふふ(笑)。

松　またそろそろ『リトルテイルブロンクス』の定例会をちゃんとやっていかないと。

W　確かに、最近できてないですね。

松　こういう諦めない気持ちを改めて感じさせてくれる、この企画がそのきっかけになったんだったら……。より、この企画は意味があったんじゃない？

W　そうですね。

松　どうしても、今目の前にあるプロジェクトに日々追われて、忙しくってたくさん仕事してる。けどね、結局は〝現場のやりたい〟が物を生み出すのは間違いないから。同時に〝お客様の欲しいっていう声〟が成立しないと駄目だけど。
でもお客様に欲しがってもらうためには、俺らが作りたがらないといけない。その片鱗をお客様に伝えないと、何もないところからお客様はこんなのあったらいいなとか言わないから。それは作り手の使命だから。ちゃんと妄想は続けないと。

ケ　『ソラトロボ』開発チームのメンバーは、『テイルコンチェルト』をつくった人が中心でした。そんな風に、次の世代のケモノ好き開発者をどんどん増やしとかないと。

松　他のタイトルでも必ずある、一方で勝負どころはあるんだけども、一方ではどこか弱点になっちゃう部分。このプロジェクトに関しては三重苦だからさ。1個じゃないから、ハードルが。

ケ　ケモノ、ロボ、浮島。

松　そう。とにかく人に受け入れられにくい世界だから。
……**どっかで裏返してやる(ゲス顔)。**

W　……(顔が)怖い(笑)。

ケ　なにか……もう1つ要素を増やせばいいんじゃないですか？

松　足し算!?それ、業界的には〝不安の足し算〟だよ？

一同　(笑)。

松　不安だからどんどん足して、何を作ってるか分からなくなってしまう。
気をつけないといけないことだけど、次やるんだったら、〝ケモノ・浮島・ロボ〟で、1番推すところはちゃんと決めないといけない。もしケモノを推すなら、ケモノをどーんと出す。ロボは、それに寄り添う形で、ケモノを助けるためのロボじゃないと、要素としては。ケモノ

もやりたい、ロボもやりたい、浮島の世界観もやりたい……ってやると結局どれを楽しめばいいのかイマイチピンとこない。そこの絞り込みと、掘り下げ方は次はもっとちゃんと考えてやらないと。まぁ、当時も考えていたと思うけど。

で、10年かけて無理だったら多分20年でも30年でもかかると思うけど、気をつけないとお前ら死ぬよ？ いや、俺は生きてると思うけど。

W すごいな。気をつけないと（笑）。

松 だからタイミングを虎視眈々と狙っていかんとあかんし、こうやって発売から5年経ったタイトルに質問を送ってくれるお客様がいて、これを勇気といわず、なんと言う。

W **本当に、嬉しい限りです。**

松 勇気が湧いてくるよね。ちゃんと、動かさないと。……定例会やるか？本当に、忙しい忙しいって言ってたら、キリがないよ！

Q 成長したレッドたちの動向について

（Ana Iida @SoftKeychains さん、かーくん○メタカビクラ @低浮上 @2525kirby さん、ジン・オルソフ @JinOrzhov さん、ゆにこん @shimga8810_1 さんなど他数名の方から、各キャラクターたちのその後について、たくさん質問をいただきました。）

松 発売してから5年の間、小説をその後の物語として展開したり、ゲーム本編から進んでる話・進んでない話の線引きをそれぞれやってきたけど、これ以上は語るべきじゃないと思う。

ケ 同感ですね。

松 『ソラトロボ』の作品の中で描くべきものは、もう描いているし、その後日談をファンブックシリーズでサービスとして描いたところまでの範囲が『ソラトロボ』の世界観。

ケ ギリギリかなぁと。正直、これ以上踏み込んでしまうと……。

松 これ以上踏み込むんだったら、それは別の新作で語るべき。その後の世界の物語はその後の世界としてちゃんとやらないと。

W そうですね。

ケ ネクストジェネレーション。

松 もちろん皆聞きたいと思うし、俺らも妄想してるしね、その後のレッドやエルやベルーガたちっていうのはもちろんあるけど。それは、半分は楽しみで、半分は俺らの今後の新しいプロジェクトの展開に期待をしてほしいなって思う。

ケ ご想像にお任せしますってことで（笑）。

松 そうだね。その他のいただいている質問には、「ソラトロボクエスチョン」コーナー（P40）でケモノグチが答えられる範囲で答えているから。

ケ はい。

Q ズバリ！「ソラトロボ」のすべてを一言で表すなら！

（ケモニー @Kemonyi さん）

ケ ……〝**執念の結晶**〟。

一同（笑）。

松 まぁ、ある意味そうだな。

W 〝**空想冒険活劇**〟**ですよね？**
…………です。

松 俺は、というか、俺らは、会社をつくって、創設メンバーで『テイルコンチェルト』をつくって、あれから20年経った。

ケ ですね。

松 その間に、『防災キャラクター・まもるくん』があったり、『ソラトロボ』があったり、『リトルテイルストーリー』があったり。言うと、『テイルコンチェルト』から始まって、定期的に戦い続けてきた。なんだろう。……特に俺ら3人そうだと思うけど、ある種特別な使命感を持ってる。気持ちの中で。これは、俺自身にとっても、『呪いを解く物語』だと思う。

ケ 執念とか呪いだとか（笑）。

松 **呪いはね、解かなければならない。**
結局俺らも呪縛に囚われてると思う。この世界で成功させなきゃいけないと思うよ。じゃないと、俺らの戦いは終わらない。終わらないどころか始まらない。だから、『ソラトロボ』もその1つだけど、『リトルテイルブロンクス』っていうこの世界のこの物語っていうものが、俺らにとっての、呪いを解かなければいけない物語の中心というか……。ある種生きている限り挑み続けるものだと思うから。

ケ　クリエイターとして定められている感じですかね。

松　**呪いは……**
解かなければならない。

ケ　呪いがかかってるっていうことに、気付いてないんです、僕らは。気持ち良くなってる（笑）。

一同（笑）。

Q 最後に応援して下さってるユーザーさんにメッセージを！

ケ　5年間応援し続けてくれて……。

松　**もう分かってる！**
皆同じメッセージになると思うよ！『一同』という感じで書くしかないと思うんだけど。

ケ　質問は、特に設定周りとか、世界観周りのことがたくさん集まって嬉しいですね。

松　少し不思議なのがさ。
みんな、今遊んでるの？違うよね？

ケ　DSのソフトですからね。初期型の3DSなら、ソフトを持っていればプレイできると思うんですけど。

松　それが、DSを引っ張りだして遊んでくれてるかだよね。みんな3DSやNew 3DSに切り替えてるから。今は中古ソフトなどでしか新しいお客様って増えようがないし、5年前に遊んだ思い出だけでそんなに質問って出てくるものなんだね？今プレイしているお客様とか、今知ったお客様とか、昔からプレイしている方も含めて、こういう質問を送ってくださったと思うんだけど、この熱量も呪いだよね？

ケ　みんな、みんな同じ呪いに…

松　呪われているよね？一緒だよね。

W　呪われし者……。

松　そういう熱量で、発売から5年経っても一緒に追いかけてくれてることが嬉しい。

ケ　ですね。

W　そうですね。

松　これを糧に俺らはね、裸で砂漠を歩かないと……。

ケ　世界観に関する質問がたくさんあるので、この方たちは**この世界で生きてるんだろうな**っていう気すらするんです。

松　そうだね！そういったところを楽しんでほしくて作ったものでもある。そこは響く人には響いてるわけだからさ。あれってどうなってるんですか？っていう全てを語ってるわけじゃない、ゲーム本編の中で。膨大な設定はね、御覧の通りあるけど。そこを、拾ってこうやって質問してくれることが嬉しい。この世界を広げるためにまたメンバーを集めたいね。募集して。

W　やりますか。

ケ　呪いにかかりたいやつらは……。

一同（笑）。

松　**いろんな呪いを混ぜるとね、**
たまに甘い味がしたりとかするんだよ。

ケ　完全にダメじゃないですか（笑）。本当は苦いのに、みたいな。

松　**世界中に呪いをかけようぜ？**
呪いを！

ケ　**みんな、**
ケモノを好きになれ～。

松　……そのためにはね、勝算と戦略を持たないと。ただ適当に頑張って、俺らがやりたいだけでやっちゃいけないと思う。それだと、また同じ目に遭うから。お客様も次を待ってるのに、全然出してくれない！ってまた悲しい思いさせちゃうから。俺らもやりたくなくてやってないわけじゃない。

（一同頭を抱える。）

松　**くぅううううう！悔しい!!**

ケ　呪いにかかってるんで、しょうがないです（笑）。

松　当たり前に言うと、発売から5年経った今でも、こうやって熱量持ってくれてるお客様がいるっていうことが本当に我々を動かす原動力になる。あれからもう5年経っても今再び人が集まってくれてることを嬉しく思う。
5年経った今、再び約束をするけど、この『リトルテイルブロンクス』の世界を諦めることだけはないから、俺らは。
俺らもお客様も同じ熱量を持ってる人たちだと信じて、次をまた待ってもらえると思っている。一緒にこれからも、向こう5年10年、20年……お互いに長生きしましょう。

応援、よろしくお願いいたします!!

今しか聞けない！ Q&A

開発者に聞く！ソラトロボ クエスチョン

2015年10月、皆さまから「ソラトロボ」に関する質問をTwitterにて大募集しました。たくさんのご質問、ありがとうございました！
素朴なものからマニアックなものまで、採用した合計25の質問に開発者がお答えします！

回答者：ケモノグチ

με@448Ueyuki

Q いま現在ラグドール跡地はどうなっているの？

A 歴史と地図から消え、寂れ切っているはずです。エルもベルーガも、悲しい思い出しかないため近づく事はなかったのですが、そろそろ気持ちの整理もつき、里帰りしてみようかと考えているかも……。

なめこ付き@Namekotuki

Q ボイスがフランス語になっていたり、ゲーム内にもフランス語と思われる表記があったりするけど、「リトルテイルブロンクス」の世界観で使用されている言語はフランス語？どうしてフランス語なの？

A シェバルド共和国がフランスゆかりの島で、プレーリー王国はベルギーゆかりの島です。そう言う事もあって、この両国ではフランス語（この世界ではシェバルド語）が主に使われています。プレーリーではその他にオランダ語やドイツ語も話されている地域があるようです。

Tossy@tossy_shun

Q クレープのパーツ屋の経営は成り立っているの？近くでダートもパーツを売っているし、レッド以外にお客さんは来るの？

A 腕のいい機械屋は引く手あまたなので、十分生活できています。ダートのパーツが必要な高度なロボは、逆にそれほど需要がなく、特定のハンターしか客がいないのではないでしょうか？

flak226@flak2261

Q やっぱり牛丼ならぬ「ギウ丼」みたいなものがシェバルドなどのサラリーマンやハンターの胃袋を支えていたりするの？

A ギウ丼はニポン国名物と思われます。きっと近いうちに世界進出を果たすことでしょう！

2月9日 ○○曜日 ケモノグチ

齋斎斉ver5.5@jettodoom

Q あれから5年、ゲベックはショコラに彼女の父親の真実を伝えたの？（受け入れる年になったら伝えるとあったので）もし伝えていたら彼女はその時どんな反応をした？

A 伝えようとした、という風にゲベックさんから聞いておりますが、詳しくは教えてくれません。

かよよ十五夜うさぎ@△@kayoyo15

Q もしショコラに彼氏が出来たら…その時、お兄ちゃんの反応は？

A レッド「**お、お兄ちゃんは許しませんよ！**」
エル「あなたも妹ばなれしないといけないのでは……？」
うーん、かなり頑固そう……。
まずお兄さんを攻略しないと難しそうですね！

※Twitterのユーザー及びアカウント名は、集計当時のものです。

ロボ@hit_ton_ton

Q ファラオの街並みの画面手前に見えてる壁飾りの写真が、**とあるキャラ**に見えるのですが…もしかして？

A シェパルドで放送しているテレビ番組のキャラの様ですが……何でしょうね？資料によると、**ハセニャン**とか呼ばれているようです。
これに限らず、ヒトの世界で起きた記憶や事件、娯楽が、類似する形で再現される事もあるとか……。

ザキ：社会人に進化@zaki4128

Q バイオンとメルヴェーユはいつどこで初めて会ったのですか？さらに何がきっかけで一緒に研究をしていたのですか？

A 若いころから天才と名高かったメルヴェーユが、知識を求めた結果バイオンに巡り着いてしまった、ということしか今のところお伝えできません。

ノラ@nora_ca33

Q アスモデウスやアジ・ダハーカなど、なぜ悪魔の名前を使っているの？レッドは悪魔とはかけ離れた存在のように思うのですが……。

A アスモデウスの命名は、レッドの師匠であるカーマインで、アジ・ダハーカはメルヴェーユの命名です。なぜ悪魔や竜の名前が使われているのかというと、強さの象徴としての記憶が受け継がれているからなのかもしれませんね。

タモ@akvo_planedo430

Q イヌヒトの嗜好品「カムボーン」には味があるの？もしも味があるのなら、レッドは何味のカムボーンが好きなの？
やっぱり"とんこつ風味"？

A カムボーンは淡白な味なので、長い時間食べても飽きないのです。味的にはギウのダシが薄くついているのがプレーンタイプで、コショウが利いたホットタイプもあるようです。

輪在 @solabikyaku
犬耳次郎@お腹すいた @4884_wolf

Q ロボ１体は何リグで買えるの？税金かかるの？車検ならぬロボ検はあるの？ファウスト級、オロチ等小型、ティアマト等大型で運転免許やナンバープレートは違うの？

A ロボの価格はまちまちです。原付バイクよりは高い感覚ですが、高級スポーツカークラスの物も当然存在します（クーバースの一点ものとか）。フォークリフトなどの重機くらいが相場ではないでしょうか？ Lv.５以上のクリステルドライブを使用する機械には定期検査の義務があります。免許も使用されるクリステルドライブのグレードで異なります。

DP Hiyoko@DPHiyoko

Q 資料に「イッビシ重工」という企業名を見かけたので、劇中に登場するロボや車両や航空機などの、製造元になる企業・組織・個人等について、何か設定があるならぜひ聞いてみたい。

A 「イッビシ重工」はその響きの通り、ニポン国の企業で、主に車両、家電に強いメーカーです。ただし、ニポン国は現時点ではロボの開発は行われていないのですが、ロボの有用性がニポン国にも伝わっており、これから徐々に開発されていくのではないかと思います。

με@448Ueyuki

Q エルの受難の時にレッドが「なにそれ？」って言っていたけど**ナニを見たんですか?!**

A エル「ナンですか、この質問は……」
レッド「ナンのことだか俺にもさっぱり……」
エル「ナンのことだか分からない方がお互いに良いと思いますよ？」
レッド「ですよねぇ、あんなちぃ」グシャッ

まえあし@秋@maeashi_kemo

Q トランスで露になるレッドのからだの傷は、いつ負ったものなの？

A それについては、メルヴェーユさんの表情が曇るので私にはお答えできないです……。

Tossy@tossy_shun

Q レッドに「サハラン（Savarin）」というラストネームがつけられた経緯は？親が存在しないはずのセブンチルドレンの中で、なぜ彼だけ苗字があるの？

A 名字は孤児院でつけられた、孤児院限定の名字だと思われます。レッドはそれをそのまま使い続けているようですね。

DP Hiyoko@DPHiyoko

Q レッドはハイブリッドという「一味違う人種」だけど、一般的なイヌヒト・ネコヒトの女性との間に子孫を残せるの？その場合、ハイブリッドの遺伝子は子孫に継承されるの？

A 実に興味深い質問ね……フフフ。レッド、ちょっと試してくれるかしら？……という訳で、前例がないので分かりません！

ちるた@mottiru1

Q エルちゃんの**スリーサイズ**は……？（小声）

A エル「オシラサマが教えてくれたので、小声でも聞こえましたよ」
レッド「お、おいアンタ！　早く逃げろ！」
エル「ひとつ言えるのは、これからの成長にご期待下さい、という事で」

flak226@flak2261

Q 本編終了時点で「ハイブリッド」という存在と、レッドがハイブリッドという事実について、シェバルド共和国の国民はどの程度まで知っているの？

A 関係者（クーバースや知人）以外、ほとんど知らないと思います。「うしお●とら」で、「獣の槍」や、潮が獣の槍を伝承していると知っている人があの世界にどれくらいいるでしょうか？それくらいの感覚かと。

flak226@flak2261

Q レッドとショコラは、孤児院閉鎖～本編開始までの期間はどのように暮らしていたの？もしや10歳からずっとハンター暮らし…？

A 本職はハンターとして頑張ってきました。ただし、それほど重要な仕事が貰えるわけもなく、苦労していたようです……。

μεε@448Ueyuki

Q カーマインとロゼの旅の詳細が気になる。

A カーマイン「そうだな……ま、気が向いたら話すとしようか」
ロゼ「もったいぶるほどの事、してないと思うけど？」
カーマイン「ま、そうだな！レッド達に比べたら温泉旅行みたいなもんだ」
ロゼ「それほど悠々自適な旅でもなかったんじゃない？」

輪在@solabikyaku

Q 日本のジュノおよびハイブリッドもしくは結晶石、ティタノマキナはどこにあるの？プレーリー王国とレトリバー王国のティタノマキナはどこのジュノ所属？ニポン国は現在の日本でいうとどこ？

A ニポン国は現在の日本をほぼ網羅している国々とお考えください。日本はJ0のアーツグレードのジュノを保有している、という事以外はシークレットですが、ティナノマキナを用いて人類最後の戦争には参加していなかったようです。

テイルス@twinsfoxtail

Q クレープの生い立ち、レッド達との出会いはどうだったの？

A 機械オタクのクレープが、エアデールでダハーカに一目惚れしたのが最初だと思います。レッドやショコラだけでは手に負えない部分も修理してもらえるし、クレープも趣味と実益を兼ねて高性能なロボをいじれて、お互いにメリットがあったので、良好な関係が結べたようです。

ノラ@nora_ca33

Q バイオンは旧人類？
それとも彼もイヌヒトかネコヒト？？

A バイオンは旧人類がティタノマキナのコントロールのために作った人造人間です。イヌヒト、ネコヒトの因子は持っていません。

齋斎斉ver5.5@jettodoom

Q レッドは故郷であるファラオの南にある田舎町に時々里帰りはしてるの？

A それほど頻繁には帰っていないようですね。孤児院はなくなってしまったので……。

かよよ十五夜うさぎ@△@kayoyo15

Q ベルーガは「空気が読めるキャラクター」に成長出来そう？

A 300年空気が読めなかった彼が、ちょっとやそっとで空気が読めるようになるとは、思えないのです……。

ベルーガ「俺は、気にしない……」

サイバーコネクトツースタッフから「ソラトロボ」ファンの方々へ感謝のメッセージ!!

「Solatorobo それからCODAへ」も発売から5年!
今もなお、「ソラトロボ」を愛してくださっているファンの皆様へ、
サイバーコネクトツースタッフより感謝のメッセージやイラストをお届けします!

祝5周年！
ネロとブランクをなんとか救えないずカサンドラクロスの背の上で右往左往してから早5年…同じ経験をお持ちの方はぜひ「ソラトロボファンブックコンプリートコレクション」の外伝小説「黒と白のボーダーライン」を…！泣けます…！
ナビヲ
5周年
おめでとう＆ありがとうございます!!
ショコラ大好きです！
これからもよろしくお願い致します！
しまこ
応援ありがとう
これからもよろしくお願いします
ソラトロボ 祝
5周年
おめでとうございます！
応援してくださった皆様に
感謝
アーティスト
Hita
5周年！
おめでとうございます！
5周年
ありがとう!!
たっしー
ソラトロボ
祝5周年
スズドリ
むっちり
キュートです！
祝!!
5周年
5周年
おめでとうございます！
5周年おめでとう!!
ずっとずっと応援してくださり
ありがとうございます!!
ところで「ソラトロ本」って
良い名前だね。
わたしはネコ派です。
by：くまサン
5周年
おめでとー!!
5周年
おめでとう!!
5周年
おめでとう
ございます！
綾鷹
祝5周年
漢なら
黙って
ドシフン
しまこ
祝
ショタ好きなので推しキャラのフランクくんです。
5周年という長いようで短い期間ですが、お祝いできてよかったです。
おぐりん
祝 5周年
ショコラ可愛いですよネ。ファンの皆様、
これからもずっとずっと応援して下さい。
これからもお願いします♡
よろしくお願いします！
皆さんの応援がチカラになります！
ぺっちな

PROFILES

※過去の内容を一部抜粋して掲載しております。

P31

電蝶【でんちょう】

(P31)奥行きと寒さを絵から感じてもらえたらうれしいなと思います!これまで版権キャラクターを描く事があまりなかったので新鮮でした!
HP : http://dentyou.tumblr.com
Pixiv : 4204137

P34 P141

デエタ【でーた】

イラストレーター兼デザイナー兼漫画描き。
(P142)なかなか難産でしたが、恥ずかしがるエルを描けたので何かをやり遂げた感じです。ラッキースケベは男のロマンですね。
HP : http://remmings.com

P36

トカク【とかく】

ケモノとか人外とか描いてる絵描きです。
(P39)ずっと描きたかったクーバース三人組を描けてとても満足しております。
HP : http://toka9.tumblr.com/

P42 P150

新涼れい【しんりょう れい】

東京は赤羽出身の絵を描くパンダのようなもの。テイルコンチェルト以来ずっとCC2作品が好きで仕方がないので、嬉しさのあまり笹を食べる事を忘れるほどです。
HP : http://shinryo.zashiki.com/
Twitter : shinryo

P48

BOB【ぼぶ】

自称モフナー、お絵描き生活をしております。
(P51)夏・第一部というテーマで描かせて頂きました。描いているとだんだんとレッドに心を開いていくエルちゃんにときめいた思い出が蘇がえってきました。
Twitter : tarbobun

P52 P127 P159

DANGAN【だんがん】

漫画家、イラストレーター。漫画作品についてはゲーム本編の設定とは必ずしも一致しないことをお断りしておきます。「こうだったらいいなあ、と作者は思っている、ということです。
HP : http://ninini.jp/
Twitter : dangan

P54

んめ

駆け出しのフリーランスイラストレーター。個人サークル「GREONE」にて創作漫画をメインに同人活動中。(P54)夏と言えば「花火」!打ち上げに協力しているのはゲベック達だとか。
HP : http://greone.x.fc2.com
Twitter : nme_greone

P56

しあ

フリーランスでちょこちょこ絵のお仕事をしています。好きなキャラはショコラちゃんとオペラさん。蒸し暑いようで爽やかな『夏』を感じていただけたら嬉しいです!
Pixiv : 42907
Twitter : I0x0b

P57 P143

智【とも】

長崎県在住の漫画家。「ソラトロボ」の世界が大好きです。エルが可愛くてしかたないです。我が家にも猫族がいるので、ネコヒトの姿を想像してしまいます。
Twitter : tomobeya

P48 P42 P36 P34 P31

P57 P56 P54 P52

P58 P135 P173
koto【こと】
自由気ままに好きな作品の絵を描いている者です。レッドさんやエル、ショコラの他…メインもサブもハイブリッドも皆大好きで…暇さえあれば落書きしています。ずっとずっと大好きな作品です。
Pixiv : 593409
Twitter : 000koto000

P63
ヤドリ
フワもふ好きなケモナーで、言うまでもなく『ソラトロボ』は大好物です。凛々しいレッドを試してみようと、思うままに描きました。
Pixiv : 220146

P64 P177
黒井ももや【くろい ももや】
うら若きデザイナーの卵。ベタと蛍光色がスゴク好きで、それなしでは生きてゆけない身体にされてしまったのが近年のハイライト。
Pixiv : 3035059

P69
明香【あすか】
獣人と自然と青色が大好きなしがない絵描き。ソラトロボではベルーガとエルの兄妹が好き！
Pixiv : 2003857

P70
雨山電信【あめやま でんしん】
運命に導かれやってきたエグゼクティブ無職。うっかり漫画やイラストでお金を稼ぐこともあるらしい。ゲームは人生の羅針盤。飢えない暮らしを夢見て今日も描く。
HP : http://ameblo.jp/ameyamatelegraph/
Twitter : ameyamadenshin

P72
のたま
イラストを通して「ケモノキャラなりの生物としてのリアリティ」を探求中。(P72)「ソラトロボ」は人生で初めて徹夜をしたゲームで、大変思い入れが強い。
Twitter : _notama

P74
MASH【まっしゅ】
シャーペン、色鉛筆絵描き。(P75)どこまでも広がるソラの青さとカッコいい&かわいいレッド君とエルさんでスカッとするような爽快な絵を目指しました。
HP : http://yugamiaru-mash.tumblr.com
Pixiv : 143620

P76
Nokko【のっこ】
商業で活動中のイラストレーター。本企画へ寄稿出来た事をファンとして絵描きとして、心より感謝。
Twitter : Nokko_Cheshire

P77
畑【はたけ】
漫画家アシスタントや出版社への持込等をしつつ同人活動をしています。色んなキャラをたくさん詰め込んでみました。2012年12月　月刊少年ライバル月例賞　期待賞受賞。
Pixiv : 76108
Twitter : hatake1216

P58 P63 P64 P69 P70 P72 P74 P76 P77

PROFILES

P78 ミヨシ

CC2のアーティスト。(P78)「ソラトロポ」といったらダハーカ!実にバリエーション豊かなフォルムとカラーリング、すべて良し!
Twitter : miyoshi_cc2

P89 ヒガシ

CC2のアーティスト。(P89)好きなキャラクターの中でも、特に好きな三人を描きました!テーマは「お祭り」で、中華風に仕上げています。
Twitter : higashi_cc2

P98 ヒダヤト・リアンティ

キャラクターの服装がファッション雑誌のモデルになってもいいぐらいかっこいいと思い、ソラトロポのファッション雑誌「ソラモード」を描きました。

P99 P152 まめ助【まめすけ】

『ソラトロポ』では3D背景・2Dイラストや、ユーザーズサイトに掲載された「ソラトロポ4コマ」を担当。

P104 P183 星 樹【ほし いつき】

CC2のアーティスト。(P104)賑やかな作品が多そうだなと思い、少し沈んだものをとレッド達と会う前のエルをイメージしました。ずっと一人で歩いてきた…可哀想だけど強いエルが好きです。
Twitter : prankstar_ih

P105 吉岡克朗【よしおか かつろう】

レッドとダハーカ描きました!いざ描くとなると細部でかなり苦労しました。ロボを描くのは大変でしたが、楽しく描けました!ダハーカは丸っこいデザインがとてもかわいいと思います。

P106 cham【ちゃむ】

CC2のモーション担当。(P108)カーマインの帽子をかぶって喜んでるロゼを描きました!幸せそうなロゼをかけて私も幸せです!!
Twitter : fujii_CC2

P109 熊本秀基【くまもと ひでき】

CC2の背景アーティスト。(P113)季節外れに狂い咲きしている桜があるという情報を聞いてやってきたレッドの前に広がっていたのは、空魚の稚魚の群れ。こういうシチュエーションも作りたかったな。
Twitter : kumamoto_cc2

P114 大財強平【おおたから きょうへい】

CC2のアーティスト。エル「こんな寒い中遊ぶなんてイヌヒトは変ですよ!クレープさん入れて下さいッ」クレープ「ちょっ、これはうち一人用やって!」クレープ作・冬仕様(ヒーター付)ロボはネコヒト専用機です。きっと。

P116 あんざいくん

CC2のアーティスト。サラマンデル!かっこいい!サラマンデる!サラマンどる!!あんな機体になりたい!サマランデル!サラマミた!今回は初参加となりまくりました。
Twitter : ankate_CC2

マシュー

(P117)最近、お姫様だっこされている絵を見るのがマイブームでしたので自分でも描いてみました！お姫様だっこされて赤くなるエルを描いている最中は、常にニヤニヤしてました。

ミケ

やっぱり秋は読書の季節。ということで、毛布をかぶって読書していたらそのまま寝てしまっていた実体験をキャラの中で一番好きなエルに体験してもらいました(笑)。

後藤千尋【ごとう ちひろ】

CC2のアーティスト。謎の少年と表記されるなど何かとボーイッシュな面がうかがえるエルちゃんですが、せっかく描くからには普段とちょっと違うところを妄想して描こうと思い、女の子らしいエルちゃんを目指してみました。

佐藤敦弘【さとう あつひろ】

オリジナルの切り絵を制作している切り絵作家。蒼山日菜先生に憧れ、切り絵を始める。『ソラトロボ』の切り絵は思い出深く、CC2さんと初めて関わった切り絵が『ソラトロボ』です。
Twitter : link_papa

しょこ

新潟生まれ。姉、兄と三兄弟の末っ子。新潟デザイン専門学校の雑貨デザイン科に入学。専門学校卒業後、上京。イラストレーター／デザイナーとして活動中。
HP : https://shoko.myportfolio.com/

山崎けい【やまさき けい】

CC2で秘書業務や、東京スタジオブログも担当。レッドとエルはクリア前も後もさほど差が出ることなく、暮らして居そうな気がしています。
Twitter : yamakei_cc2

せんた

司会のお姉さんとレフェリーが特に好きなので、今回お話をかけて嬉しいです。ネコヒトの特徴に寒がりが多いとあったので、これだ！と思い描きました。
Twitter : wako124

？？？【はてなはてなはてな】

自由気ままな小説書きです。(P186)今回はエンディングをヒロイン目線で作ってみました。
Pixiv : 11119181

ケモノグチ博士【けものぐちはかせ】

CC2にて、シナリオ担当をしております。(P207)まさかのガレット艦長後日談です。これを書いておかないと、あの小憎らしいおじさんは死んだ事になってしまいますので、きっちり書かせていただく事にしました！ゲーム中のキャラクター達は、本編中で出来るだけ死なせない様にこだわっていましたので無事にフォロー出来てよかったです！
Twitter : Nogmung_CC2

2019年8月 9日 初版発行
2021年6月25日 デジタル版発行

発行所・発売元 株式会社サイバーコネクトツー

完全監修 松山 洋

編集・デザイン 東 涼子
林 香織／株式会社フェローズ

編集・監修 田島 和
池田 有里
湯地 愛実
小串 朱里
鈴木 沙理
川添 亜希子／株式会社フェローズ

編集協力 サイバーコネクトツー スタッフ一同

監修協力 株式会社バンダイナムコエンターテインメント

⚠ デジタル版に関するご注意

本データに掲載されております情報につきましては紙版発刊当時のものとなります。現在の内容・状況などとは異なる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

本書についてのお問い合わせ先

ご質問内容によっては、ご返答までにお時間をいただく場合がございます。また、本書の内容以外に関するご質問には一切お答えできませんので、あらかじめご了承ください。

株式会社サイバーコネクトツー CC2STORE
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前 1-5-1
TEL：092-483-5848
受付時間：月曜日から金曜日 10：00 ～ 17：00
※祝日・夏期休業期間・年末年始を除く
E-mail：cc2store_info@cc2.co.jp
URL ：http://www.cc2.co.jp/

ソラトロ本
コンプリートコレクション

著者　サイバーコネクトツー

販売協力
株式会社ナンバーナイン
@no9team

No.9

4562382723329
2019年8月 9日 発行
2021年6月25日 デジタル版発行
©BANDAI NAMCO Entertainment Inc.